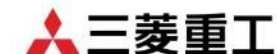


MHI 社員図鑑



※当社採用マイページには、ここにはない社員のシートもご用意しております。
ぜひ当社採用マイページにご登録ください！



Contents

- 1 発電システム
 - 1 設計
 - 11 生産技術・管理
 - 12 サービスエンジニア

 - 13 工業プラント用大型コンプレッサ
 - 13 設計
 - 15 生産技術・管理
 - 16 品質保証
 - 18 サービスエンジニア

 - 20 原子力発電（脱炭素・水素インフラ設備）
 - 20 設計
 - 32 生産技術・管理
 - 34 品質保証
 - 37 プロジェクト管理

 - 41 船舶・海洋（商船）
 - 41 設計
 - 45 システム開発

 - 46 G X（化学プラント・脱炭素・交通システム）
 - 46 設計
 - 51 システム開発

 - 52 機械システム
 - 52 設計

 - 57 エンジン・エネルギー／ターボチャージャ
 - 57 設計
 - 58 生産技術・管理
 - 60 品質保証
 - 61 サービスエンジニア
-

※当社採用マイページには、ここにはない社員のシートもご用意しております。
ぜひ当社採用マイページにご登録ください！



Contents

62 サーマルエンジニアリング／冷熱

62 設計

69 生産技術・管理

70 知的財産

71 航空・宇宙

71 設計

88 生産技術・管理

103 品質保証

110 サービスエンジニア

111 システム開発

112 プロジェクト管理

114 特殊車両

114 プロジェクト管理

115 艦艇・特殊機械

115 設計

120 生産技術・管理

124 サービスエンジニア

125 総合研究所

125 研究開発

154 デジタルイノベーション

154 研究開発

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	電気・電子	新卒	1994年



技術を深く理解し専門家として大成し、社会に貢献する

理系として技術を深く理解し、社会への貢献を目的にその技術を活用・応用していく。



為せば成る。失敗は成功のもと。石の上にも三年。

困難があってもあきらめず前を向いて進み続ければ、一歩一歩は小さくとも、必ずゴールにたどり着ける。

入社動機

- ①自身の興味分野である発電事業に携われること
→発電事業に関連する製品を有しており、電気系出身でも活躍の場がある
- ②地元、または地元に近い場所で職に就けること
→地元にも事業所があり、地元またはその近郊で勤務できる可能性がある
- ③給与の水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与の水準が高い

経歴

1994年～1998年

→発電所向け計装制御設計に従事。1995年から1997年までは海外プラント向け制御装置の調整業務も担当し、約1年間の現地駐在も経験。

1999年～2007年

→発電所向けの制御装置のソフトウェア・ハードウェア設計に従事。2000年以降は、新たに開発された内製制御装置の技術支援も担当し、複数オーダにまたがる横断的な対応も行った。

2008年～2010年

→グループ会社へ休職派遣され、より詳細なレベルでのソフトウェア設計に従事。開発および検証に関するノウハウを習得。

2011年～2025年

→休職派遣から復帰後、発電所向けの制御装置のソフトウェア・ハードウェア設計に従事。生産オーダ対応に加え、拡販やアフターサービスにも携わり、業務領域を拡大。

現在の仕事内容

内製制御装置の更新工事における拡販、設計、アフターサービスを担当している。

拡販業務では、見積りや顧客との交渉を経て、受注に至った際にやりがいを感じる。設計業務では、日頃の地道な設計や顧客・パートナー会社・社内の関係者との綿密なやり取りを経て、無事に出荷し、出荷先の現地でも現地作業を経て無事に顧客に引き渡して感謝の言葉をいただけたときに達成感を得ている。

職場環境

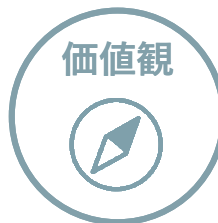
有休やフレックス勤務、在宅勤務を利用しやすい環境にある。また、家賃補助や社宅、寮などの制度も充実しており、働きやすい環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	機械	新卒	2004年



ガスタービン開発を 統括できる人材に

ガスタービン全般の知識と、各要素を理解できる程度の専門性を持ち、ガスタービン開発全体の取り纏めができるようになりたい。



気力・体力・時の運を大切にする

論理的思考力、知識、経験は当然必要だが、開発をやり切るには気力と体力が不可欠。全力を尽くしても失敗はつきものなので、そのときは運が悪かったと割り切り、すぐに切り替えることを大事にしている。

入社動機

- ① 日本を代表する航空・宇宙分野の企業であること
→宇宙ではH3ロケット、航空では次期戦闘機や極超音速ミサイルを開発しており、日本トップレベルの技術力を有している点に惹かれた
- ② 給与・福利厚生が充実していること
→大手メーカーとして給与・福利厚生が安定しており、安心して長く働ける環境が整っていると感じた
- ③ 都市近郊で生活できること
→通勤環境が良く、都市近くで生活できることも、プライベートを大切にしたい自分にとって魅力的だった

経歴

- 2004年～2014年
→日立製作所 タービン設計部にてガスタービンの開発に従事。性能向上機H25(35)、H25(42)の開発、世界最大出力2軸ガスタービンH100の開発に携わる。
- 2014年～2018年
→MHPS設立（その後MPA、MHI）に伴い、引き続きガスタービン開発に従事。性能向上機H100(110)の開発、シングルNOx達成に貢献。
- 2018年～2020年
→MHIAに海外外向。ガスタービン開発事務所のWO立ち上げに従事。
- 2021年～
→引き続きガスタービンの開発に従事。H100海外初号機の運転開始、H25の水素100%運転達成に携わる。

現在の仕事内容

ガスタービンの開発業務に従事。新たな技術の開発、ガスタービンの設計、試験、現場運用までを担当。常に新しいことに挑戦できる点に魅力を感じている。自分が設計したガスタービンが、実際に試験で動き、客先で運用される場面に立ち会えることに大きなやりがいを感じている。

職場環境

育休を取得する社員が多く、働きやすい環境が整っている。海外赴任の機会も多数あり、成長できるチャンスが豊富にある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	機械	新卒	2005年



課題を解決できるエンジニアへ

発電分野において顧客から頼りにされるエンジニアになれるよう、課題解決力を伸ばしていきたい。



モノ売りからコト売りへ

プロダクトアウトではなく、顧客視点で課題に向き合い解決していくことが重要だと考えている。

入社動機

- ①スケールの大きい仕事に携われること
→発電システムで、出力1000MWを超える大規模な発電所の設計・製造を担当していた
- ②グローバルに活躍できるフィールドがあること
→若手であっても、海外で積極的に活躍できる環境が整っていた
- ③技術的難易度が高いこと
→発電システムは多数の機器で構成されており、技術革新も日常的に行われていることから、常に学び続ける必要があると感じた

現在の仕事内容

エナジートランジションの時代において、管理職は組織の方針を明確に打ち出す役割を担っている。変化のスピードが速く複雑な状況でも、社員が迷わず動ける環境をつくることが求められる。
配下の社員のモチベーション向上にも力を注ぎ、一人ひとりが自分の役割にやりがいを感じられるようサポート。これにより、組織全体の推進力を高め、変革を着実に前進させることができる。

経歴

- 2005～2009年
→国内産業用ボイラの受注部隊に所属し、製紙・製鉄・製油会社向けの自家発電設備案件を担当。
- 2009年～2012年
→海外向け事業用ボイラの実行部隊として、ベトナムおよび中東各国のプロジェクトに従事。
- 2012年～2017年
→東南アジア諸国やスペイン向けのアフターサービス技術営業を担当。
- 2017年～2022年
→フィリピン駐在中、現地における海外アフターサービス事業会社の立ち上げを主導。
- 2022年～
→管理職を務めている。

職場環境

出張や駐在で長期間海外に滞在する中で、他の日系企業の方とも知り合う機会があったが、海外出張（駐在）時の処遇（手当、日当、航空券やホテルのグレード、安全面）については、他社と比べて良いと感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	航空・宇宙	新卒	2008年



チーム一体となった成果の最大化

製品の全体最適を考えながら市場ニーズにマッチするGT設計業務を推進する。一体感を大切にチームで仕事を行いアウトプットを最大化していきたい。



責任感

全体最適を考え、責任感をもって業務をやり遂げる。また、一体感を大切にチームメンバーで仕事を進める。これらを働くうえで大切にしている。

入社動機

- ①世界一の技術で世界と勝負していること
- ②自社の技術で開発を行い製品を生み出していること
- ③社会貢献につながること
 - 大型ガスタービンを自主技術で開発し、世界の競合他社と世界一を争う製品を有しており、技術力で世界と勝負できる会社である。

現在の仕事内容

新型ガスタービンの構造検討を担当し、上流部門の仕様を設計に反映しながら、構造強度と製造性、コストのバランスを考慮した設計を行う。先行機のトラブル事例も踏まえ、信頼性の高い製品を目指す。性能開発部門や製造・サービス部門と連携しながら業務を遂行。自ら設計した製品が世界一の性能を達成し、CO2排出低減など社会貢献につながることや、工場で形になる過程を目にすることで、大きなやりがいを感じている。

経歴

- 2008年～2011年
 - ガスタービン技術部ガスタービン構造設計グループ燃焼器チームにて燃焼器の構造設計に従事し、新型ガスタービンに搭載される燃焼器の設計を担当。
- 2011年～2018年
 - ガスタービン技術部ガスタービン構造設計グループ強度チームにて既設プラントでのトラブル対応を実施し、知見を改良設計へ生かす業務を担当。
- 2018年～2023年
 - ガスタービン技術部ガスタービン構造設計グループ本体1チームにて新型ガスタービン本体の構造計画取り纏めとして、新型ガスタービンの設計を担当
- 2023年～現在
 - ガスタービン技術部ガスタービン構造設計グループ設計4チームにて新型ガスタービン本体の構造設計チーム統括としてメンバー取り纏め業務を担当。

職場環境

風通しの良い職場を目標としており、技術の議論が闊達である。フレックス・在宅勤務への理解があり必要に応じて各自取得している。男性の育休取得率も上がってきており、非常に働きやすい環境であると思う。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	電気・電子	新卒	2013年



幅広い業務領域を網羅する人材になる

現在のチームが取り扱う業務が非常に幅広いため、その全てに対応できる人材を目指す。



「速さ」が生む信頼と効率

業務の期限を守るのは当然として、問い合わせ対応もできる限り速く対応することを心がけている。そうすることで他者の時間を生み出し、万一のミスにも迅速にリカバリーすることができると思う。

入社動機

- ①給与面や福利厚生観点で安心して働き続けられること
→三菱グループ傘下の大手企業であり、福利厚生など充実している
- ②これまでの知識を生かせる職種であること
→電気電子専攻であり強電の知識があったため、自らの知識を生かせると感じた

現在の仕事内容

ガスタービン、蒸気タービン、BOPといったプラント全体の制御および計装に関わることができる。また、専門的になりがちなそれぞれの制御知識を一括して理解することができる。幅広い知識を身につけることにやりがいを感じている。

経歴

- 2013年～2017年
→高砂計装制御設計課(当時)にてガスタービンの制御設計に従事。海外案件のGT制御設計を担当。
- 2017年～
→計装制御設計課にてプラントBOPの制御設計担当。並行して海外案件の計装業務、蒸気タービン制御計装などを担当。

職場環境

業務は忙しいことも多いですが、休暇取得の推奨や定時帰宅日の設定など、体調面にも配慮がなされている。

事業分野

発電システム

職種

設計

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

2013年



信頼される設計者に

PJを進める中で〇〇さんが担当なら安心だと思って頂けたり、何か困ったことがあった際に、相談してみようと思ってもらえるような、社内だけでなくお客様にも信頼される設計者になりたい。



好きこそものの上手なれ

自分の好きなことの情報はいつのまにか暗記してしまうように、興味関心を持って深掘りすることで、自分の知識として定着させることができる。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→世界最高効率のガスタービンや高環境性能の石炭火力など、技術力が高く、自身も成長できると感じた。
- ②業務を通して、日本だけでなく世界規模での社会貢献につながること
→震災を通じて電力の重要性を実感し、世界中の電力供給に貢献することで広い社会貢献を果たしたいと考えた。

現在の仕事内容

火力発電プラントの計装品手配と制御設計を担当。プラントの状態を踏まえ、材質や計測原理を考慮して計装品を選定。また、あるべき運転状態を実現するために、本体設計・運用担当と議論を重ね、制御回路に反映。本体設計に起因する課題を制御回路の工夫で解決できた時や、リスクを見越して制御回路を設計し、試運転時のトラブルを未然に防げた時に、大きなやりがいを感じる。

経歴

- 2013年～2015年
→国内GTCC案件および国内スチームパワー案件の工場検証および現地試運転に従事。特許取得も経験。
- 2016年～2019年
→国内スチームパワー案件の計装制御設計主担当に従事。
- 2020年～2021年
→国内IGCC案件の計装制御設計に従事。
- 2021年～現在
→国内バイオマス発電の計装制御設計主担当に従事。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務をはじめ、育児休暇など様々な働き方が認められているので、働きやすい環境。また、有休も取得しやすいですが、そもそもの休日も多いので、長期休暇での計画が立てやすい。

事業分野

発電システム

職種

設計

専攻

機械

新卒・中途

新卒

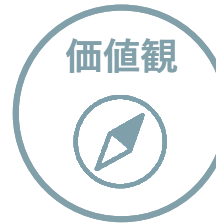
入社年次

2014年



プロジェクト全体を束ねる存在に

GTCCの全体像を深く理解し、最終的には数百億円規模のプロジェクトを牽引するマネージャーとして、全体をハンドリングしたい。



お節介くらいがちょうどいい

技術取り纏めという立場上、各部署の検討状況にあえて踏み込み、前提の整合や意図を確認するよう心がけている。

入社動機

- ①規模の大きな製品・プロジェクトを扱えること
→発電プラントという大規模製品を扱っており、スケールの大きな仕事に携われる
- ②世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→GTCC事業では世界トップクラスのシェアを誇り、MHI内での主力製品であることから競争力も高い
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与水準や福利厚生が充実している
- ④社会貢献に繋がること
→GTCC発電は、世界の人々にとってなくてはならない製品である

経歴

2014年～2020年

→プラント技術部 高砂プラント設計課にて、GTCC発電プラントの詳細設計業務に従事。主に国内プロジェクトを担当し、仕様検討・配置設計・関連部門との調整等を行う。加えて、海外プロジェクトの現地試運転対応も経験し、実機での立ち上げや調整対応を通じて知見を深めた。

2021年～2025年

→プラント計画部 GTCC計画課にて、受注前のプラント基本計画業務を担当。プロジェクト初期段階において顧客要求に基づく最適構成の提案やコスト試算など、より上流の業務に携わる。国内外問わず複数案件を経験し、設計業務で培った技術基盤を活かして幅広く対応している。

現在の仕事内容

GTCC基本計画では、数百億円規模のプロジェクトにおいて技術取り纏めとして前線に立ち、各分野のエキスパートと連携しながら、最適なプラント構成を策定。顧客要求の把握からシステム構成案の検討、コスト試算、各部門への展開・調整まで、計画全体の品質・スピード・整合性を担保する立場である。

技術的知見に加え、関係者を巻き込む調整力や意思決定力も求められる業務であり、就職活動時に重視していた「大規模な製品・プロジェクトを扱える」という観点からも、非常にやりがいを感じている。

職場環境

Web会議の活用も進み、フレックス勤務・在宅勤務への理解があるため、柔軟な働き方が可能な環境。また、自身も取得したが、男性社員の育児休暇取得率が高く、ライフイベントへの理解も進んでいる点に安心感がある。働きやすさと制度の充実が両立している。

氏名 **青柳 仁**

【2025/4/1時点の所属】

エナジードメイン GTCC事業部 蒸気タービン技術部 タービン翼開発グループ



事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	機械	新卒	2017年



周りを巻き込めるエンジニアに

専門技術を軸として全体を俯瞰した目線を持ちながら、周囲と協力して良いモノづくりのできるエンジニアを目指す。



仕事は大人数で！

製品は一人で作れない。一要素の設計担当だが設計変更があれば思ってもいなかった他要素に波及することも多く、部署を超えて協力し合いながら、全体最適となるような良い製品設計を目指している。

入社動機

- ①物理的に難しそうな製品を自分で設計したい
→数mの高速回転体という性能と信頼性の両立が難しい機械であるタービンに興味があり、なかでも世界トップレベルのシェアと技術を有している
- ②物理的にも社会影響的にもスケールの大きな仕事ができる
→発電機械をはじめ、扱う製品のほとんどは多くの人に関わって作り上げており、社会的な影響も大きい

現在の仕事内容

蒸気タービンの最重要要素の一つである「最終翼群」の開発・設計を担当している。数値計算（CAE）を駆使して性能向上と強度信頼性を両立させたタービン翼を設計。新たなアイデアを設計に取り入れた際にはその効果を確認するために検証試験を計画・実施している。
性能や信頼性には高いレベルの目標の達成が求められるが、それらをチーム一丸で乗り越え自分達の設計が形となった際に大きなやりがいを感じる。

経歴

2017年～2025年
→蒸気タービン技術部にてタービン最終翼群の開発設計や設計検証に従事。高効率・高信頼性を両立させたタービン翼の設計、縮小スケール化モデルタービン試験機や実証試験設備での検証試験。

職場環境

新製品開発のためには開発ツールのアップデートも必要という考えの下、業務効率化のために新しいツールも取り入れる。自ら簡単なプログラムコードを書くのもしばしば。最近は生成AIも積極的に活用している。フレックス勤務や在宅勤務への理解が進んでおり、利用者も多い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	設計	機械	新卒	2019年



タービン周辺の配管、 機器設計のプロフェッショナルに

タービン周辺の配管・機器設計と言えば自分に相談が来るような人材になれるよう、幅広い分野において専門性を深めていきたい。



日々勉強。常に謙虚に

火力発電プラント設計では求められる知識は多岐に渡り、先人達の歴史も深い。日々学び、謙虚に有識者の意見に耳を傾け、知識と経験を吸収していく姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①世界トップクラスの設計・開発・製造の技術力を有すること
→ガスタービン・発電プラントの開発、設計、製造まで自社で完遂できる高い技術力を有している。原子力、宇宙、防衛、航空事業等、幅広い分野において高い技術力を有している
- ②発電プラント設計を通じて社会貢献ができること
→人々の暮らしを支える発電プラントの設計を担うことで社会貢献に繋がる
- ③モノづくりに身近な状況でプラントエンジニアリングができること
→自社工場を有しているため、モノづくりに近い環境に身を置くことができ、製造を見据えた質の高い設計ができる
- ④給与水準の高さと充実した福利厚生
→大手メーカーであり、給与水準は他社メーカーと比較して高く、福利厚生も充実している

経歴

2019年～2023年

→高砂プラント技術部ガスタービン装置設計課にてガスタービン周辺の配管・機器・配置設計に従事。主に韓国案件を担当。

2024年～

→プラント技術部タービン装置設計課にてガスタービン及び蒸気タービン周辺の配管・機器・配置設計に従事。主に国内案件、韓国案件を担当。

現在の仕事内容

ガスタービンおよび蒸気タービン周辺の配管・機器・配置の設計を担当。社内の各部署、お客様やEPC、ベンダーと調整・協力しながら、より良いプラントとなるように設計を進めている。

自らの設計したモノができあがりお客様から「三菱のプラントは素晴らしい」と高評価を得られるときや、従来には無かったより良い設計を実現できたときにやりがいを感じる。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務を活用できる環境である。男性の育児休業取得者も多く、給与や福利厚生が充実している。

事業分野

発電システム

職種

設計

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2023年



他部署との信頼関係を活かし、 受注を勝ち取るリーダーに

より競争力のある提案で受注を勝ち取るため、他部署からの信頼を得て綿密な協力体制を築いていきたい。



情けは人の為ならず

「この人なら力になってあげよう」と思ってもらえるよう、周囲からの頼みには可能な限り応え、誠実に対応することで良好な関係を保つことが必要であると感じている。

入社動機

- ①その分野のリーディングカンパニー（シェア最大・トップの技術力）であること
→国内トップの総合重機メーカーであり、シェア・技術力ともに業界をけん引している
- ②海外にもシェアを持ち、海外出張の機会があること
→世界のトップシェアを争っており、海外出張の機会も少なくない
- ③知名度があること
→工学系の分野においては高い知名度を誇っており、信頼性のある企業である

経歴

2023年～2024年

→エナジードメイン AQCS事業部 触媒ソリューション部に入社。石炭火力向け脱硝触媒の設計業務（引合～設計～性能試験）に従事。主にアメリカ案件を担当。開発業務にも従事しており、原材料費低減や、製作時のCO²排出量削減の検討を担当。

2024年～

→エナジードメイン GTCC事業部 プラント計画部に異動。国内外のガスタービンの引合対応に従事。要求書の読み込みや交渉を通して、顧客に最適なガスタービンの提案を担当。

現在の仕事内容

客先の要求書を読み込み、実現可能な項目を提案に反映し、不要または対応困難な項目は説明を通じて理解を得ることで、価格低減・競争力向上を図っている。判断には他部署との連携が不可欠であり、最新の開発状況に触れる機会も多い。自らが検討する製品が、多くの人の生活の役に立つという実感を常に持てる点にやりがいを感じている。

職場環境

活気があり、追加業務が発生した際にも「よし、やるぞ!」と前向きに取り組む風土がある。互いに相談し合う文化が根づいており、上司も意識的に相談しやすい環境を整えている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	生産技術・管理	機械	新卒	2013年



ガスタービン部品の 新規サプライヤーを開拓

インドやベトナムなど海外拠点におけるガスタービン部品の
新規サプライヤー開拓に積極的に挑戦したい。



円滑なコミュニケーションと 迅速な対応

誰に対しても伝わりやすい表現でのコミュニケーションを心がけ、
依頼には迅速かつ丁寧に対応し、物事は常にシンプルに考える。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力・将来性があり収益性が良い
→ガスタービンの技術力が高く、競争力や将来性があり、収益性に優れている
- ②ガスタービンで国内トップの企業で、給与や福利厚生の水準が高い
→ゼネラル・エレクトリックやシーメンスとガスタービンで肩を並べている
- ③海外で働く機会があること
→事業特性から企業としての将来性・安定性が高いと考えたため

現在の仕事内容

ガスタービン部品の新規調達先としてインドメーカーを検討しており、
設計部門や調達部門と密に連携しながら、各要件を満たす形で導入に
向けた検討を進めている。
海外メーカーの調査や技術交流を通じ、国籍や文化の異なる関係者た
ちと対話を重ね、協力しながら一つの製品、製品を無事に完成させた
ときに大きなやりがいを感じる。

経歴

- 2013年～2020年
→高砂タービン製造部重機械課にて、製品(ガスタービン、蒸気タービン、熱交換器、
水車など)の製造技術者を担当。
- 2021年
→製造管理部ガスタービンSCMグループにて、ガスタービン部品の海外調達
(主に中国、韓国)の品質管理を担当。
- 2022年
→製造管理部SCM工事計画グループにて、ガスタービン部品の海外調達の発注前の業
務(購入仕様書作成など)を担当。また、コスト低減活動を担当。

職場環境

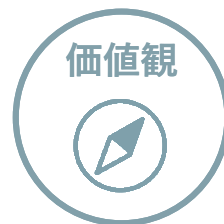
在宅勤務制度が活用されるなど、柔軟な働き方が認められている。子ど
もの学校行事などにも参加しやすい環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
発電システム	サービスエンジニア	金属・材料	新卒	2012年



国内のGTCC発電プラントはオレが守る

サービス技術の取り纏めを担当しており、お客様に運転や効率向上の提案を通して日本の電力安定供給に貢献していきたい。



価値観

雪に耐えて梅花麗しく 霜を経て楓葉丹し

楽しい事ばかりが業務ではありませんが、厳しい業務や逆境を乗り越えた先に大きく見事な成長が待っていると信じています。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を取り扱っていること
→新規参入障壁が極めて高いGTCC製品を取り扱っていること。
- ②自信の専攻に関する製品に興味があったこと
→専攻である超高温材料（合金）の特性に関する研究が使用されるガスタービン（陸用・航空機用）に興味があったため。
- ②震災による東北地区の学生への選考配慮
→震災によって、東北地区の学生が満足に就活ができないことを考慮し、面接スケジュールの調整等、業界に先立っていち早く対応していたため。

現在の仕事内容

既設GTCCプラントに対して、信頼性や効率向上を図るアップグレードパーツの提案・売込みを担当。トラブル発生時には技術的な取り纏め役として、原因調査や解決策の立案を行う。やりがいを感じるのは、自身が提案した改造案が採用され、既設プラントがより高効率・高フレキシビリティなGTCCシステムへと生まれ変わる瞬間に立ち会えたとき。成果が直接プラントの性能向上に結びつく実感が大きな励みとなる。

経歴

- 2012年～2016年
→原動機事業本部 タービン製造部にて生産技術職を経験。
- 2016年～2018年
→横浜プラント建設部にて火力発電所建設工事での現地工事施工管理業務に従事。
- 2018年～2021年
→高砂タービン製造部で生産技術職と現地工事での施工管理に従事。
現地での経験により業務の幅が広がり、アフターサービスや大型改造工事も担当。
- 2021年10月～現在
→GTCC事業部 サービス技術部にてGTCCのアフターサービス案件に従事。
再生エネルギー伸長の影響で運転パターンが変化しているGTCCの信頼性向上や更なる効率向上のためアップグレードパーツの提案、実装計画を担当中。

職場環境

グローバルな業務フィールドなので、非常に影響力の大きな仕事ができる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
工業プラント用 大型コンプレッサ	設計	機械	新卒	2007年



海外事業のリーダーに

国やマーケットによって価値観が異なる中で、強い想いをもち、周囲を巻き込み実現していくことが出来るようなリーダーになりたい。



有言実行

意思表示から始め、関係者と方向性を共有しつつ、自ら発信し修正を恐れず進めることで、周囲を巻き込み仕事を成功へと導いていく

入社動機

- ①世界トップクラスの回転機械技術・開発力を有していること
→世界での指折りのトップメーカーであり、最先端の技術力を有する。
- ②製品を通じた社会貢献度が高いこと
→タービンやコンプレッサなど、プラントの心臓となる製品に携われる。
- ③仕事を通して海外での業務経験が得られること
→海外向けの仕事が多く、海外出張や海外勤務などの機会もある。

経歴

2007年～2009年

産業用コンプレッサの基本設計業務に従事。ガスパイプライン向けコンプレッサをロシアメカとJoint Manufacturingする仕事を担当。

2009年～2013年

海外メカとのライセンス契約取り纏め、工場試運転設備計画に従事。また、米国大学にて、コンプレッサ開発に関連するシールの研究に従事。

2016年～2019年

ブラジル現地法人の立上げ、駐在。現地生産の仕組み作りや現地トラブルシューティング、技術フォーラム、商談対応を担当。

2019年～現在

技術営業として商談取り纏めを担当。商談の初期対応から契約までのエンジニアリング(技術・コスト・納期・リスク)を纏める仕事に従事。

現在の仕事内容

商談の初期対応から契約までの、技術・コスト・納期・リスクなどの観点を統括するエンジニアリング業務を担当。お客様との打合せや仕様書の読み込み、競争力あるコストの検討、リスク対応を行い、営業・設計・製造・品質保証・調達部門と連携して最適な応札仕様をまとめている。長期に及ぶ商談が受注に至り、お客様と握手を交わす瞬間に大きな達成感とやりがいを感じる。

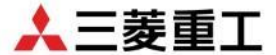
職場環境

職場では多くの外国人社員も働いており、メールや打合せも英語で行われる。英語が苦手な人も、いつの間にか自然と会話ができるようになる環境がある。また、宗教や価値観の違いを学ぶことができる。

氏名 **平岡 敦**

【2025/4/1時点の所属】

三菱重工コンプレッサ株式会社 技術センター 計装電気設計課 計装プロジェクトチーム



事業分野

工業プラント用
大型コンプレッサ

職種

設計

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

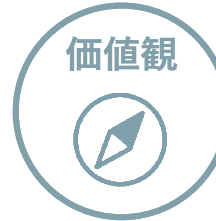
入社年次

2022年



海外のお客様と 当社の橋渡し役になる

お客様の仕様や信頼関係を大切に、ギャップなく繋いで満足のいく製品を提供したい。



因果応報を胸に誠実に 仕事に向き合う

誠実さは誰かに見られていると信じ、技術仕様の正確さが後の成果に直結すると考えている。

入社動機

- ①若手から挑戦できる環境がある
→若手でも海外出張の機会に恵まれる点に惹かれた
- ②会社の明るい雰囲気、リクルータの人柄
→インターンシップでお世話になった方の優しさを感じた

現在の仕事内容

計装仕様（計器・制御盤・工事材料）について海外顧客と連携し、要求事項を図面に落とし込み詳細設計者やメーカー担当者に繋ぐ。海外顧客や社内設計者の間を取り持ち、設計製品を近くで見られることにやりがいを感じている。

経歴

2022年～2025年

→MCO技術センター計装電気設計課 計装プロジェクトチームにて計画設計を担当。ドイツ、アメリカ、スペインの顧客とweb会議や面談を重ね、合意仕様を図面化し詳細設計者へ繋ぐ役割を担う。

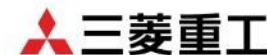
職場環境

寮費が他社より安価で、大型休暇が取得しやすい点を良い環境と感じている。

氏名 **秋吉 公貴**

【2025/4/1時点の所属】

三菱重工コンプレッサ 生産センター 生産技術G 生産技術T



事業分野

工業プラント用
大型コンプレッサ

職種

生産技術・管理

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2017年



営業から製造現場まで熟知した エンジニアに

お客様に物を売る現場から、それを製造する現場まで幅広く理解し、現場感覚を持ったエンジニアを目指したい。



実物を見て考えることを大切に

机上検討だけでなく、必ず現物を確認し、実際に品物を見て課題解決にあたることを重視している。

入社動機

①勤務地の立地

→地元近く、政令指定都市内に勤務地がある

②自身の専攻を活かせること

→学生時代に研究していた流体機械の一種であるコンプレッサを製造している企業であり、専攻を活かせると感じた

現在の仕事内容

鋳物に関する生産技術者として、基礎から鋳造の技術や現場知識を学んでいる。製造現場における課題解決を現物確認・現場重視の姿勢で進めており、実際のものづくりを通じて技術力を高めている。

経歴

2017年～2021年

→三菱重工コンプレッサ 生産センターにて、蒸気タービン内部品の生産管理を担当。

2021年～2024年

→三菱重工業（上海）有限公司 コンプレッサグループにて、中国地域でのアフターサービス事業拡大に向けた戦略検討等を担当。

2024年～

→三菱重工コンプレッサ 生産センターに復職し、鋳物関連の生産技術業務に従事。

職場環境

フレックス制度や在宅勤務制度が整っており、自由度の高い働き方ができる。

事業分野

工業プラント用
大型コンプレッサ

職種

品質保証

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2016年

信頼される品質保証の
プロを目指して

工業用コンプレッサ事業の品質保証担当として、社内外から信頼される存在を目指し、専門知識と技術の習得に努めていきたい。

お客様目線で考えることが
品質保証の原点

品質保証はお客様の立場で物事を判断する仕事。常にお客様目線を忘れず、最善の判断を下すことを日々意識している。

入社動機

- ① 高い技術力や独自の強みを持つこと
→世界トップクラスの技術と歴史を有し、多様な製品を生産している企業であること
- ② グローバルに活躍できること
→海外拠点多く、海外出張などグローバルな仕事ができることに魅力を感じた
- ③ 自身の学びを活かせること
→学生時代に学んだ知識が活用できる業務内容であると感じた
- ④ 安定した給与・福利厚生
→福利厚生や給与水準が安定しており、安心して働けると感じた

現在の仕事内容

工業用コンプレッサ製品の品質保証プロジェクト担当として、検査計画の策定からお客様との打ち合わせ、立会検査の実施、出荷許可までを一貫して管理。お客様の要求仕様や規格に基づいた品質保証体制の構築と実行を担っている。社内関係者やお客様と連携しながら、厳しい品質要求をクリアし、無事に製品を出荷できたときに大きな達成感を感じる。プロジェクト全体を俯瞰し、品質を担保し続ける責任の大きさもやりがいにつながっている。

経歴

2016年～

→三菱重工コンプレッサ (MCO) の品質保証部にて、コンプレッサ、蒸気タービン、その他周辺機器の品質保証業務に従事。検査計画立案、顧客打ち合わせ、立会検査の調整から、出荷許可まで、一連の品質保証業務を一貫通貫で担当。長期にわたり、プロジェクトごとに品質管理を実施し、顧客要求を満たした製品を安定して提供する業務に従事。

職場環境

若手社員の比率が高く、活気があり、成長の機会が多い職場。若手のうちから大きな仕事も任せられ、やりがいを持って働ける環境。MCOのオフィスは新しく、最新設備が整っている点も魅力。

事業分野 工業プラント用 大型コンプレッサ	職種 品質保証	専攻 航空・宇宙	新卒・中途 新卒	入社年次 2020年
-----------------------------	------------	-------------	-------------	---------------



コンプレッサ品質保証の
プロとして信頼される存在へ
コンプレッサの品質保証に精通し信頼される人材になる。



百折不撓
仕事をしていく上で挫けそうになることは多々あるが、諦めずに粘り強く対応し続けることが大事と考えている。

入社動機

- ①勤務地
→出身地である広島で勤務できる点に魅力を感じた
- ②給与や福利厚生水準
→機械系メーカーの中でも、給与や福利厚生水準が高いこと
- ③職場の雰囲気が良いこと
→インターンシップを通じて、社員の人柄や職場の雰囲気が良く、働きやすい環境であると実感した

経歴

2020年～2025年
→三菱重工コンプレッサにて、現在に至るまで品質保証/品質管理業務に従事。

現在の仕事内容

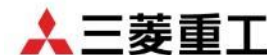
契約図書に基づき検査計画を作成し、お客様の要求事項を満たした製品を出荷できるよう品質保証を行っている。品質保証部であるがゆえに、幅広い工程や製品に関われる点に大きなやりがいを感じている。

職場環境

フレックス勤務により柔軟な働き方が可能である。近年は、男性の育児休暇も取得しやすい環境となっている。

氏名 **岡 寛哲**

【2025/4/1時点の所属】
三菱重工コンプレッサ_カスタマーサービスセンター_技術G



事業分野 工業プラント用 大型コンプレッサ	職種 サービスエンジニア	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2010年
-----------------------------	-----------------	----------	-------------	---------------



顧客のプラント運営を最大限に

顧客のプラント運営を最大化するサービスを提供しつつ、会社の利益も追求するWin Winな関係を築ける人材を目指す。



全体最適を意識し、 潤滑油のような存在に

周囲の声や内容に常にアンテナを張り広く把握し、全体業務が円滑かつ効率的に進むよう心掛けている。

入社動機

- ①働きやすい環境であること
→誰もが知る有名企業であり、社内制度や働く環境への信頼感がある
- ②社会貢献できること
→社会貢献度の高い企業であり、給与水準も高く、福利厚生も充実している

現在の仕事内容

顧客プラントの運営における課題に対し、サービスエンジニアとして支援を行っている。顧客の立場に立った技術提案や、迅速かつ的確な技術ディスカッションを通じて信頼関係を築いている。実際に顧客先を訪問し、対面でコミュニケーションを図れることもやりがいのひとつである。

経歴

- 2010年～2017年
→三菱重工コンプレッサ 技術統括センター タービン設計課。
- 2017年～2021年
→三菱重工コンプレッサ 技術統括センター コンプレッサ設計課。
- 2022年～
→三菱重工コンプレッサ 技術統括センター カスタマーサービスセンター 技術グループ。

職場環境

トラブル発生時には、会社全体が同じ方向を向き、目的を共有したうえで社員全員が一丸となって業務を遂行できる体制が整っている点に魅力を感じている。

事業分野 工業プラント用 大型コンプレッサ	職種 サービスエンジニア	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2012年
-----------------------------	-----------------	-----------	-------------	---------------



世界に通用するエンジニアに

能力を高めて顧客からの信頼を得るだけではなく、海外拠点のスタッフのレベルも上げて組織力の底上げをしたい。



真摯に対応する

どのような状況においても、一つひとつのやりとりを丁寧に行い、常に真摯な姿勢で臨んでいる。

入社動機

- ①給与や福利厚生水準が高いこと
→MCO本社がある広島は、社宅から会社まで自転車で10分程度通勤しやすく、社宅の家賃も安価である
- ②仕事の中で海外の企業と関われること
→海外拠点に勤務すれば、職場の同僚や顧客とのやりとりも英語のため、日常的に英語でのコミュニケーションが求められる環境となる

現在の仕事内容

タービン・コンプレッサの性能、強度、振動特性、製法など、技術に関する業務を幅広く担当。これらの知見を身につけることで顧客への還元を図っている。
特にトラブルシューティングにおいて自ら考案した対策の効果が確認できたときにやりがいを感じる。

経歴

- 2012年～2016年
→現MCO 生産センター 回転体工作課にてインペラ製造用設備の増設・老朽化更新、インペラの生産性向上など幅広く担当。
- 2017年～2024年
→MCO カスタマーサービスセンター 技術グループにてタービン・コンプレッサに関する技術に関して、トラブルシューティング、技術提案、技術に関する問い合わせ対応など幅広く担当。
- 2025年度～現在
→MCO Saudi Arabia Limited (MCOSA)にてタービン・コンプレッサのタービン・コンプレッサに関する技術に関して、設備投資、トラブルシューティング、技術提案、技術に関する問い合わせ対応など幅広く担当。

職場環境

希望を出せば、海外拠点での勤務に挑戦でき、グローバルな環境で貴重な経験を積むことができる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 電気・電子	新卒・中途 新卒	入社年次 2007年
---------------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



原子力発電所設計を 統括するリーダーへ

複雑かつ高度な原子力発電所の設計を不備なく遂行できるよう、必要な技量は習得する他、統括するチームのメンバーの力量向上にも力を入れ、強い組織となるようマネジメント力を培っていききたい。



常に謙虚に 個性と多様性を尊重

個人の特性・特徴を大切にし、個性の違いも多様性の一部と尊重する。

入社動機

- ①配属予約制度が魅力的である
→学生時代を過ごし、実家からも近い距離にある神戸で勤務ができる
- ②事業安定性があること
→過去に赤字となった年度は少なく、経営は堅実と考えた
- ③給与水準・福利厚生が充実していること
→給与水準は高く、寮や社宅などの福利厚生が充実している
- ④社会への貢献度が高いこと
→インフラや防衛に関する事業を展開しており、それらの事業に従事することで、社会に貢献でき、やりがいと誇りをもって働くことができる

経歴

2009年～2022年

→原子力セグメント電気計装技術部にて原子力発電所の中央制御設備の更新工事に従事。国内で2例目の大型工事の主担当として工事計画から詳細設計、現地でのプラント起動支援までを対応。

現在の仕事内容

現在、革新軽水炉向けに新たな中央制御盤の開発に着手しており、進歩が目覚ましいICT技術等も取り込み、これまでにない製品を開発する意気込みで日々検討を進めている。原子力発電所の中央制御盤の開発サイクルは、20年に一度程度であり、そのタイミングが巡ってきたことは非常に貴重なことであり、責任も重い。国内外の技術調査や電力会社からのニーズ聴取の結果からアイデアを着想し、形に仕上げていく過程は、楽しさとやりがいを感じている。

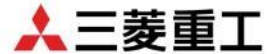
職場環境

職場の風通しはよく、管理者や先輩社員とのコミュニケーションも取りやすい。年間休暇は多く、大型連休は計画的に有給休暇が奨励されており、旅行などもしやすい。原子力発電所のような大規模かつ複雑な製品に携わるため、習得すべき知識は多く、一人前になるまで時間はかかるが、成長しながら製品の設計や製作が進む過程を目の当たりにできる点は、量産品等を扱うメーカーでは味わえない。

氏名 **濱田 圭**

【2025/4/1時点の所属】

原子力セグメント 機器設計部 装置設計課 サイクル装置チーム



事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2008年
---------------------------------	----------	----------	-------------	---------------



なんでも相談される ジェネラリストへ

3～5年周期で様々な装置・機器を担当してきた経験を通じ、製品知識や社内外の人脈を広く培ってきた。この強みをさらに伸ばし、「とりあえず濱田さんに聞いてみよう」と思ってもらえるような存在を目指す。



彼を知り己を知れば百戦殆からず

相手の期待や状況を把握するだけでなく、提供できることや状況を把握し、冷静にギャップを見極めることが大事。潜在的な要求の察知や過剰な期待の抑制にもつながるため、様々な人と「仲良く」接する努力をしている。

入社動機

- ①業界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→国内PWR発電所のすべてを所掌しており、技術力の高い会社である
- ②会社の規模や事業内容から会社の安定性が高いこと
→国内最大手の重工メーカーであり、経営基盤が安定している
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→国内最大手の重工メーカーであり、給与や福利厚生が充実している

経歴

2008年～2011年

→原子力事業本部 原子力機器設計部にて原子力発電所の保全装置開発に従事。人間の滞在可能時間が数分のような極限環境（放射線環境）で働くメンテナンスロボットの設計を担当。

2011年～2016年

→原子力事業本部 原子力プラント設計部にて原子力発電所の1次系ポンプの設計に従事。新規制基準により追加設置が必要となったポンプの設計や既存のポンプのアフターサービスを担当。

2017年～

→原子力セグメント 機器設計部にて日本原燃株式会社殿が建設中のMOX燃料加工施設に収める装置開発に従事。全自動で燃料棒・燃料集合体を製造する装置の設計を担当。

現在の仕事内容

MOX燃料工場の燃料加工建屋に設置する燃料棒の製造装置の担当として、装置の詳細設計や耐震評価を実施するとともに、国への工事認可申請書の作成助成や現地の据付工事の設計SVとしても対応しており、一つの装置のライフサイクル全体を見届ける業務である。装置の設計完了や、お客様の申請が国から認可された時に感じる達成感が大きなやりがい。装置の数も多いことから担当者間の調整も大変だが、関係者で一丸となってプロジェクトを完遂したときの達成感は、担当者の人数倍になるような気持ちである。

職場環境

毎年20日以上の有給休暇を取得しており、17年勤務して一度も持ち越したことがない。職場のメンバー同士の仲も良く、休日には家族連れでお花見やBBQを毎年開催するなど、良好な関係が築かれている。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2015年
---------------------------------	----------	----------	-------------	---------------



何でも屋さんになる

何事にも常にアンテナを高く張り、どの分野でも技術的に会話できる人材を目指している。



大切なのは、疑問を持ち続けること

知識を深めるためには、常に疑問を持ち続けることが重要である。与えられた情報を鵜呑みにせず、自らの視点で考え抜くことが、より深い理解や新たな発見を導くと考えている。

入社動機

- ①取り扱う製品が社会に与える影響が大きい
→原子力発電を通じて世界のエネルギー供給に関わることができ、社会的意義が大きいと感じた
- ②高い技術力を有し、自身が成長できる環境である
→安全性の高いPWRプラントを国内で製造する唯一のメーカーであり、高い技術力の中で自身の成長が見込めると考えた
- ③海外で活躍する機会がある
→海外案件も多数存在し、海外で活躍できるチャンスがあることに魅力を感じた

経歴

- 2015年～2016年
→原子力事業部 プラント設計部にてトルコ向け新設プラントの配管設計に従事。配管仕様合理化によるコストダウン検討を担当した。
- 2017年～2018年
→同部にて、既設PWR/BWRプラントの再稼働支援業務に従事。東海第二の設工認資料作成支援を機に、BWRプラント市場に本格参入した。
- 2019年～2020年
→MHIENG プロジェクト部にて米国ポリエチレンプラント向けの工事進捗管理業務に従事。コロナ禍の中国において、初のモジュール工法による工事を遅延なく完遂した。
- 2021年～2025年
→原子力セグメント プラント設計部にて女川向け特定重大事故等対処施設（新設）の配管設計全般を担当している。

現在の仕事内容

配管解析を実施し、十分な耐震性を有する配管ルートおよびサポート設計を行っている。関連設備が多岐にわたるため、基本設計部門、製造・工事部門、客先、社外メーカーなど、多くの関係者と協力しながら業務を推進している。

職場環境

優秀な先輩方が多く、気軽に相談できる環境が整っている。どんな難題も必ず解決に導くことができると実感している。また、共に働くメンバー全員が、日頃から誠意と責任感を持って業務に取り組んでおり、客先からの信頼も非常に厚い。競合他社が集まる場でも、自社のメンバーとして胸を張れる環境である。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2017年
---------------------------------	----------	----------	-------------	---------------



広い視野を持ったエンジニアに

プロジェクトや組織全体を俯瞰し、状況を正確に捉えて最適な判断を下せるよう、知見と判断力を磨いていきたい。



本質を見抜き、前向きに最適化する

物事の核心を捉えること、相手に伝わる表現を工夫すること、前向きに検討し、全体最適を目指すことを心掛けている。

入社動機

- ①社会インフラを支える大規模製品に関われること
→国内外で発電プラントを提供し、社会の基盤を支える業務に携われる
- ②世界に通用する技術力があること
→高効率なGTCCや原子力など、トップクラスの技術を持つプラントメーカーである
- ③安定した待遇と制度が整っていること
→大手メーカーであり、給与・福利厚生ともに水準が高い

経歴

2017年～2021年

→三菱パワー (旧MHPS) 呉プラント技術部にて、事業火力発電プラントの配置・配管設計に従事。GTCCプラントにおいて、排熱回収ボイラー周辺の配置設計を担当。

2021年～2023年

→三菱重工コンプレッサ技術センターにて、工業プラント用大型コンプレッサの空間設計に従事。主に海外向け案件において、機器の配置調整業務を担当。

2023年～2025年

→原子力セグメント プラント設計部にて、次世代原子力発電プラントの空調基本設計を担当。多岐にわたるインプット情報をもとに、最適な系統構成と仕様を検討している。

現在の仕事内容

原子力発電プラントにおける空調基本設計を担当している。プラント全体からのインプットをもとに、空調系統の構成を検討し、それに必要な機器の仕様を設定している。設計を進めるにあたり、社内との関係部門だけでなく、お客様とも連携・調整を行うことが求められる。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務など柔軟な働き方が可能であり、プライベートと仕事を両立しやすい環境が整っている。特に、家庭や育児と両立するフェーズにおいても無理なく働き続けられる点が魅力である。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2018年
---------------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



**世界のエネルギー業界で、
当社コンセンサスを体現する設計者**

当社の価値観を世界に発信し、グローバルなエネルギー業界でその存在意義を示せる設計者になりたい。



今が大切 つとめてやむな

「今この瞬間を大切にし、全力を尽くすこと」が、業務にも人生にも豊かさをもたらすと信じている。目の前の仕事をないがしろにする人に、良い未来は訪れないと考えている

入社動機

- ① 企業の持続性
→複数事業を手掛けるコングロマリット経営で、事業判断もスピーディーだった
- ② 設計業務の魅力
→設計を通して、社内外の多様な人と広く関われる環境だった
- ③ 社会的影響力の大きさ
→インフラを支えるものづくりに携われる点が大きな魅力だった
- ④ 福利厚生の充実
→機械メーカーの中でも、給与や福利厚生が比較的良好だった

経歴

2018年～2022年
→エナジードメイン GTCC事業部 プラント技術部にて、新設火力発電所向けプラント設計（GT補機設計）を担当。仕様選定、設計指示、発注、メーカー・客先対応、据付支援など幅広く経験。

2022年～
→原子力セグメント プラント設計部にて、国内既設原子力発電所向けのポンプ保全業務を担当。保全計画、客先提案、保全遂行まで一貫して対応している。

現在の仕事内容

国内既設原子力発電所に納入している当社製ポンプについて、保全計画の立案から提案・実施までを担当。安定稼働を支える重要な役割を担っている。安定した電力供給に貢献できることに大きなやりがいを感じている。定期修繕や新規取替提案を通じて、社会インフラを支えている実感がある。また、設計のみならず社内の多部門や客先、メーカー、EPCなど、多くの関係者と協力しながら仕事を進められる点も、自身の成長につながっている。

職場環境

出社が基本だが、家庭の事情に応じてフレックスや時間単位休暇も柔軟に取得できる。育休・産休取得率100%を目標に掲げ、実際に自身も取得済み。議論が活発で、にぎやかだが楽しい職場環境。

氏名 **西脇 良**

【2025/4/1時点の所属】
原子力セグメント機器設計部装置設計課保全2チーム



事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2019年
---------------------------------	----------	-----------	-------------	---------------



装置設計のスペシャリストになる

より高度で困難な作業を達成できるような装置の設計・開発が担える人材を目指す。



成功は失敗の積み重ねである

失敗は成長のための貴重な経験と捉えるべきだと考えている。小さな失敗にとどめる工夫や周囲との連携を重視し、起きた失敗から学びを得て次に活かす姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①挑戦的なものづくりができること
→多種多様な新しい製品の開発を常に取り組んでいる企業である
- ②スケールの大きい仕事ができること
→携わる製品は社会インフラとしての重要な役割を担っている。
- ③将来的に必要とされる事業に携わる企業であること
→原子力発電プラント事業は、カーボンニュートラルやエネルギー供給の安定化の面で今後も必要とされる

現在の仕事内容

新設計の遠隔水中ボルト取替装置の設計・開発取り纏めを行っている。全体システムの計画、各種要素試験から構造の検討、アクチュエータ・各種部品の選定までの幅広い内容を行っており、ビジネスパートナーや総合研究所を含む社内関係者から協力を得ながら設計・開発を進めている。装置の設計・開発を一から行うので、担当した装置が無事動作するようになると達成感を感じる。また、ものづくりの中心的な役割を果たすので、ものづくりが好きの人にとってはやりがいがある。

経歴

2019年～2025年
→原子力セグメント機器設計部にて、原子力発電所の廃止措置・定期検査で使用する遠隔装置の機械設計を担当。

職場環境

責任感を持って業務に取り組む人が多く、課題に対して協力的な雰囲気である。フレックス勤務や在宅勤務に対する理解がある。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2019年
---------------------------------	----------	-----------	-------------	---------------



地震PRAの第一人者になる

地震PRAといえば、自分の名前が社外関係者にも知れ渡るように貢献していきたい。



Do not go where the path may lead. Go instead where there is no path and leave a trail. (by R.W. Emerson)

自分の強みを活かし、先人のいない業務に積極的にチャレンジし、経験を培うことを重視している。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
→大学で経験した原子力の安全解析の知識を原子力セグメント（炉心・安全技術部）で活かすことが可能と感じた
- ②勤務地が関西であること
→勤務地が神戸であり、転勤も少ない点が魅力だった
- ③給与や福利厚生の高水準なこと
→給与水準が高く、さらに福利厚生が充実していることに安心感があった

現在の仕事内容

発電所の地震時のリスク評価を担当。客先との調整、社内研究開発による新規評価手法の開発、学会での公知化を実施。革新軽水炉SRZ-1200の開発にも従事し、地震時のリスク評価を活用した設計要求検討等にも対応。

リスク評価はシステム全体を対象にし、脆弱点を特定できる。リスク評価は注目されている分野であり、議論の最前線で仕事ができている点にやりがいを感じる。

経歴

2019年～
→原子力発電所のリスク評価に従事。特に地震時のリスク評価を担当。2023年からは地震リスク評価チームの取り纏めや学会委員対応も担当。

職場環境

家賃補助があり、有給休暇が1年目から22日間付与される点が魅力。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2020年
---------------------------------	----------	----------	-------------	---------------



なんでも相談される技術者に

自らの専門分野を突き詰めた上で、他分野の基礎知識も習得し、あらゆる相談に応えられる技術者を目指す。



チーム一丸！

互いの経験を活かし合い、困ったときは相談する。互いにコミュニケーションをとることで、助け合いながら高いパフォーマンスを発揮でき、仲良く仕事ができる。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有していること
→数々の製品を持ち、それらにおいて世界トップクラスの技術力を有する企業である
- ②社会貢献につながること
→製品を通じて社会の発展や人々の暮らしに貢献しており、社会的意義のある仕事ができる

現在の仕事内容

プラントの電計計装工事において、設計部門として顧客・プロジェクト部門・現場部門等と連携し、工事を完遂させる役割を担っている。顧客や工事部門に対して自らの考えを提案し、合意を得られて進められることに大きなやりがいを感じる。

経歴

- 2020年～2023年
→モビリティ事業本部技術2部にてETC用車両検知器の設計開発を担当。
- 2024年～2025年
→原子力セグメント電気計装技術部にてプラントの電気計装の工事設計を担当。

職場環境

神戸造船所構内や寮に併設されている体育館やジムが無料で利用できる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2021年
---------------------------------	----------	-----------	-------------	---------------



原子力分野のプロフェッショナル

幅広い業務経験を通じて専門技術を深め、課題解決に貢献できる一流の技術者を目指し、柔軟に対応できる力も磨いていきたい。



真摯・誠実

責任ある対応と丁寧な連携を心がけ、記録を徹底しながら業務を推進。「後世に残る製品を作りたい」という思いで、日々真摯に、誠実に取り組んでいる。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
→原子力技術のコアな分野について、専門性の高い業務に取り組める
- ②社会貢献に繋がること
→カーボンニュートラル実現に向けた、既設・新設プラントの安全・安定運転や福島安定化の事業は、社会貢献度が高い。
- ③世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→原子力事業のリーディングカンパニーであり、加圧水型炉の再稼働対応や沸騰水型軽水炉にも取り組み、原子力業界から高い評価を得ている。

経歴

2021年～現在

→原子力セグメント炉心・安全技術部にて、既設加圧水型炉の取替炉心設計、炉物理検査に従事。定期検査の工程短縮に向けた炉物理検査の合理化手法の研究開発を担当し、客先提案中。

現在の仕事内容

炉物理検査合理化の技術開発に携わり、ツール作成や実機データによる精度検証を実施。訓練や新型検査装置の開発も担当し、炉物理分野で専門性を深めている。複数プラントの取替炉心設計を通じて、客先ニーズに応じた装荷パターンを提案し、プレゼンスキルを磨いている。原子炉物理の知識を活かしながら、電力の安定供給や新規業務の創出に貢献できることに、大きなやりがいを感じている。

職場環境

総勢約200名の技術者集団が、若手からベテランまで常に闊達な議論を行い、明るく自由な雰囲気職場。
原子力のコアな技術を担っているとの自負心を持って、皆が意欲的に生き生きと働いています。また、仕事だけではなくスポーツ、宴会等の各種レクリエーションも盛んで、公私両面で充実した生活を送ることができる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 化学	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
---------------------------------	----------	----------	-------------	---------------



信頼される技術者になる

社内外問わず「一緒に仕事をしたい」と思われるような、信頼される技術者を目指す。



誠実さと責任感

仕事に対して誠実であり、自分の行動に責任を持つことは、信頼関係を築くための基本であると考えている。

入社動機

①社会貢献度の高さ

→PWRのトップメーカーとして高い技術力を有しており、そのような企業で原子力事業に携わることで、持続可能な社会の実現に大きく貢献できる

②給与や福利厚生の水準が高いこと

→大手メーカーであり、給与や福利厚生が充実している

現在の仕事内容

設備の健全性を維持するため、現地部門・製造部門・プロジェクトチームと連携し、定期的なメンテナンスを実施している。また、長期間使用されている設備に対しては顧客へ更新提案を行い、最適なソリューションを提供する。提案・見積から現地工事・試験まで、幅広く携われることができ、設備を顧客に引き渡した際には達成感を強く感じる。

経歴

2022年～2025年

→原子力セグメント電気計装技術部にて、六ヶ所再処理工場の計装制御設計に従事。メカ設備（クレーン、ITVカメラ等）の保守、更新に係る設計を担当。

職場環境

職場の目の前に病院があるため、業務の合間に眼科や歯科を受診できる点は便利だと感じる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 その他	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
---------------------------------	----------	-----------	-------------	---------------



臨界安全設計の第一人者を目指す

客先対応に加え、審査などの対外折衝を通じて、電力担当者から技術者としての貴重な経験を積む。



「分からないことは聞く」をモットーに

自分の中で違和感を少なくしながら業務に取り組むことで、手戻りを減らすことができていると感じている。

入社動機

- ①業界トップの技術力を有すること
→業界トップの技術力を持ち、新たなことに挑戦し続ける姿勢に共感した
- ②社員から活力を感じたこと
→インターンシップを通じて、社員が前向きに仕事へ取り組んでいる様子から活力を感じた

現在の仕事内容

次世代炉やマイクロ炉といった新型原子力発電所の設計に携わっており、社会のニーズやエネルギー政策の転換に応える最先端の技術開発に関わることに、大きなやりがいを感じている。これからの20年は、原子力の新たな価値を築いていく重要な期間であり、その一端を担えることに誇りを持つと同時に、原子力業界の未来のために、必ずやり切らなければならないという強い使命感も抱いている。

経歴

2020年～2022年
→大学の研究室にてBNCT治療の基礎研究に従事。主に重粒子線（ α 線、C12）が人体に多く含まれる元素（炭素やリチウムなど）に入射した際の影響評価を行っていた。

職場環境

若手には学会発表などの海外出張の機会が多くある。また、若いうちから責任のある仕事を任されることもあり、そのため責任感を持って業務に取り組むことができる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 設計	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2023年
---------------------------------	----------	-----------	-------------	---------------



原子力安全技術の プロフェッショナルに

原子力の安全設計に熟知し、安全性を追求した原子力プラントを設計することで、日本のエネルギー供給を支える誇りを持ったエンジニアになりたい。



全力で満足した人生を送る

今しかできないことを大切に、一瞬一瞬を全力で生きる。休むときはしっかりと休み、ここぞという時には全力で頑張る。おごることなく、誇りを持ったうえで、自分にできること、自分しかできないことに全力をかける。

入社動機

- ①自分の思い描く社会貢献をすること
→エネルギー供給の観点で社会貢献したいと思っており、原子力などのクリーンエネルギー開発に携われる理想的な業務ができる
- ②リーディングカンパニーとして高い技術力をもつこと
→新設炉の中核企業に選定され、業界シェアを拡大しており、原子力分野でリーディングカンパニーとして蓄積された高い技術力を有している
- ③社内の雰囲気が良いこと
→インターンや職場見学での印象が良く、気さくで話しやすい社員が多く、安心して働ける環境だと感じた。入社後もそのイメージは変わっていない
- ④給与水準が高いこと
→大手メーカーであり、人材投資に重きを置いているため、給与や福利厚生が充実している

経歴

2023年~2024年
→原子力セグメント炉心・安全技術部で、炉心内部の伝熱・流体設計に従事。未来の日本の電力供給を担う革新的軽水炉の、炉内構造物の設計及び、その設計の安全性を検証する大規模試験の解析評価を担当。

現在の仕事内容

革新的軽水炉の炉内構造物が安全な設計を確保するため、大規模な流水試験により取得したデータをもとに、解析評価を行なっている。安全性を証明するにはどのようなデータが必要か、より安全な構造にするためにはどうすべきかを関係部署と連携・検討し、“安全な原発”を実際のモノに作り上げていく。自分の提案した安全性向上の設計案が上司や専門家によってレビューされ、ブラッシュアップを経て採用された時、日本の未来の原発設計に貢献できたと感じた。

職場環境

自分のキャリアビジョンに合った研修制度が充実。自身もMGT (Mitsubishi Global Training) 制度を活用して米国での業務経験を積む予定である。基本的に私服勤務で、堅苦しさのない落ち着いた職場環境。コーヒーメーカーも充実しており、抹茶ラテを片手にリラックスしながら業務に取り組める点も魅力である。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 生産技術・管理	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2014年
---------------------------------	---------------	----------	-------------	---------------



世界の「ものづくり」をリード

最先端設備を開発し、世界の「ものづくり」をリードする！
という夢に向かって前進していきたい。



人生のプラスとなっているか

判断に迷ったときは、「人生のプラスとなっているか」という点を考えて判断するようにする。

入社動機

- ①現場に近い生産技術職になりたい
→社員と話をし、想像していた生産技術職に魅力を感じた。
- ②ものづくりを実感できる大型機器製作に携わりたい
- ③社会インフラを支える仕事につきたい
→発電用設備という大型機器構造物を製作しており、社会インフラを支える製品に携わることができる。

現在の仕事内容

現在はフランス向け取替用蒸気発生器の製作工法検討および溶接管理を担当。機械・材料・電気など大学で学んだ知識を活かし、製品の製作工程を自ら考案し、素材から完成品まで一貫して関わるのが特長。製品のQCDSを満たすため、客先や作業員、品質保証部門等と協議し、最適な製作方法を模索する中で高いやりがいを感じている。多くの関係者との連携が求められる業務に大きな責任と達成感がある。

経歴

- 2014年～2015年
→原子力工作部にてロボット溶接の開発/設備導入を担当。
- 2016年～2018年
→原子力工作部にてITERや宇宙向け製品の製作工法検討に従事。
最先端溶接設備（世界最大級の電子ビーム溶接設備）の高度化検討も行った。
- 2019年～現在
→原子力工作部にて、仏国向け取替用蒸気発生器の製作を担当。

職場環境

フレックス勤務への理解があり、子供を保育園に送迎してから出社し、家族との時間を確保できる。
また、自身も利用しましたが男性の育児休業も取得しやすい。

氏名 **河野 広**

【2025/4/1時点の所属】

原子力セグメント 原子力工作部 大型機器工作課 生産技術チーム

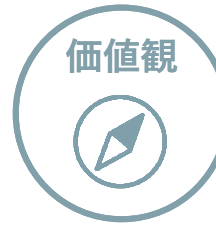


事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 生産技術・管理	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2016年
---------------------------------	---------------	-----------	-------------	---------------



技術者であり、会社人であること

ものづくりの技術を学び実践する一方、小さな経営者目線で原価管理や工場経営に関する知識も身に付ける。



人間万事塞翁が馬

人生や仕事において、何が幸いで何が不幸かはすぐには分からない。失敗は貴重な経験となり、成功のきっかけになることもある。一方で、成功に油断すれば次の失敗を招く可能性もある。だからこそ、失敗には反省と前向きな切り替えを、成功には謙虚さと学び続ける姿勢が重要だと考えている。

入社動機

- ①自身の専攻・経歴を活かせる
→原子力事業を持ち、プラント全体の計画から設計・製作・建設まで対応する国内大手企業である
- ②ものづくりに直接携われる
→大規模工場があり、製作工程を間近に見られる
- ③規模が大きく多様な業務選択肢がある
→原子力以外にも多様な製品分野でトップを走り、異なる経験が可能

現在の仕事内容

製品のつくり方を計画・実現し、製作が困難な場合は新技術や設備の研究開発を行う。設計者の理想を忠実に、かつ低コストで実現することが求められる。製品が日々形となって完成し、出荷される姿を見るときに大きなやりがいを感じる。

経歴

2016年～2018年

→原子力工作部 生産技術課で原子力製品の生産技術に従事。レーザー溶接の施工検討・管理を担当。

2018年～2025年

→原子力工作部 大型機器工作課にて生産技術職を継続。溶接技術全般の施工検討・管理を担当し、原子炉容器や核融合炉、海外向け原子力製品など幅広く手掛ける。

職場環境

ゴールデンウィークや年末年始など長期休暇が多く、旅行などでリフレッシュできる。メリハリをつけて業務に臨める環境が整っている。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 品質保証	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2020年
---------------------------------	------------	----------	-------------	---------------



大きなプロジェクトを
完遂する上で
なくてはならない存在になる



できない理由よりもできる
理由を探す

どのようにしたら、現状の課題を乗り越えることができるかを考えポジティブな姿勢でいれるように心がけている。

入社動機

- ①携わる製品のスケールが大きいこと
→自らの裁量で大規模な事業を動かすことができる
- ②社会貢献につながること
→日本を代表するリーディングカンパニーである
- ③自身の専攻に近いこと
→大学で学んだ内容と近く、これまでの経験を活かせる

現在の仕事内容

原子力プラント向けに納入される機器の品質管理業務に従事。お客様（電力会社）の原子力規制検査対応の助勢や、工場内検査の設備導入や人員の計画を行っている。
自らの裁量で多くの人が動くため、影響力が大きく責任が伴う。その分、成果を上げた際の達成感が大きく、やりがいを感じている。

経歴

- 2020年～2024年
→国内向け原子力設備の改造や新設備導入に向けた内作品質管理業務に従事。
- 2025年～
→原子力プラント向け調達品の品質管理業務に従事。

職場環境

若手でも大きなプロジェクトに携わることができる。働いている人の意見や意志が尊重される職場なので、大きなことにチャレンジしたい人にとっては良い環境であると感じる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 品質保証	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2021年
---------------------------------	------------	-------------	-------------	---------------



渦電流探傷検査 (ECT) の 専門性を磨く

非破壊検査の一種である渦電流探傷検査 (ECT) に関しては自分に相談が来るような存在を目指し、専門性を磨いていきたい。



次の世代にツケを残さない

業務上のやりにくさや非効率に気づいたとき、次の担当者が困らないように改善に努めている。

入社動機

- ①社会貢献につながること
→安定したエネルギー供給の一翼を担う原子力業界の中でも、特に信頼されているリーディングカンパニーである
- ②業界トップクラスの製品・技術力を有し、競争力があること
→実質的に寡占状態であり、社会へのインパクトも大きい

現在の仕事内容

既存プラントの定検検査業務に加え、新設プラントにおける新たな構造に対する検査手法を検討する業務を行っている。不明点の多いことに対し、適切な前提条件を設定し、適宜試験実施して検査性評価をしている。従来の手法にとらわれず新しい知見も取り入れながら新設プラントの検査手法を検討することで、従来困難と思われた課題も少しずつ乗り越えていける点にやりがいを感じている。

経歴

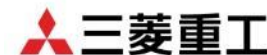
2021年～
→原子力セグメント 品質保証部 原子力サービス品質管理課に所属。原子力プラントの主要機器に対する定期検査業務を担当し、非破壊検査工事のとりまとめを行っている。

職場環境

原子力関連のより現場に近い部門らしく、陽気で気さくな人が多く、風通しの良さを感じる。仕事上の相談もしやすく、肩の力を抜いて自分らしく働ける環境が整っている。

氏名 **濱谷 大地**

【2025/4/1時点の所属】
原子力セグメント 品質保証部 機器品質管理課



事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 品質保証	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
---------------------------------	------------	-----------	-------------	---------------



国内向け蒸気発生器工事の
専門性を磨き、
当該工事の第一人者になる



一路邁進
一度やると決めたら最後までやる。

入社動機

- ①ものづくりができること
→自らのアイデアや技術が製品となり、世の中に送り出されていくプロセスに関われるのが、メーカーで働く醍醐味のだと感じている
- ②多くの人と協力して働けること
→大企業であり、より多くの人と協働することができる
- ③社会貢献ができること
→原子力事業の品質業務に携わることで、多くの人々が安心して原子力発電を利用できる社会を提供できる

経歴

- 2022年～2023年
→原子力セグメント品質保証部機器品質管理課にて、海外向け蒸気発生器工事業務を担当。
- 2023年～2025年
→原子力セグメント品質保証部機器品質管理課にて、国内向け蒸気発生器工事業務を担当。

現在の仕事内容

国内向け蒸気発生器工事業務を担当し、品管業務を取り纏めている。検査に対する規格要求がお客様要望を工程に落とし込み、その要領を決め、実際に検査していただく検査員に資料等を用いて周知する。
以前は上司や先輩など誰かに相談して進めていた業務が、今では自分の判断で進められる場面が増え、自身の成長を実感することができたときにやりがいを感じる。

職場環境

工事業務に携わる中で、全国各地への出張機会が多く、さまざまな場所での業務を経験できる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 プロジェクト管理	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2011年
---------------------------------	----------------	-------------	-------------	---------------



技と術でQCDの合理化を実現

多くの製品・技術の専門性（技）を深めるだけでなく、それらを有機的に組み合わせ、従来にないQCDの合理化・効率化（術）を実現したい。



安全はすべてに優先する

SQCDの優先順位はS（安全）>Q（品質）>D（納期）>C（コスト）と明確に定めている。安全には作業・製品・コンプライアンスも含まれ、客先に自信をもって引き渡せる品質を作り込むことを重視。納期は妥協せず適正な工期を確保し、コストもPJ進捗に応じて適切に請求する。

入社動機

- ① 世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→原子力分野では世界トップクラスの技術と実績を有する
- ② 給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、待遇面が非常に充実している
- ③ 勤務地が大阪（実家）に近いこと
→勤務地が神戸の都市部で利便性が高く、実家から通いやすい

現在の仕事内容

原子力セグメントの代表として、NRA（原子力規制委員会）、電力会社、各種ステークホルダーと業務調整を行い、大規模なプロジェクトを推進している。社内の人員や資金、設備などのリソースを適切に動かし、チーム全体をマネジメントする役割に大きなやりがいを感じている。業務を通じて、社会的にも重要なインフラ整備に貢献していると実感できることがモチベーションにつながっている。

経歴

2011年～2023年

→原子力工作部にて溶接担当として水圧鉄管、洋上風車、アトラクション施設、海外原子力プラントの大型改造工事などに従事。2016年からは工事担当として、配管・機器・構造物など多岐にわたる原子力工事の部内取り纏めを担当。

2024年～

→軽水炉保全プロジェクト部に異動し、日本初の使用済燃料乾式貯蔵施設のプロジェクトを担当。許認可対応、施設建築、運用・工事における社内調整を推進中。

職場環境

自社株制度があり、1口（1,000円）から積み立てられ、月最大80口（80,000円）まで積み立て可能。また、積立口数に応じて奨励金も支給される。フレックス制度も充実しており、コアタイムもない。在宅勤務も可能で、家族の事情に合わせた柔軟な働き方ができる。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 プロジェクト管理	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2009年
---------------------------------	----------------	----------	-------------	---------------



安全・安定運転の達成

プロジェクト部門で原子力の安全・安定運転を達成出来るように尽力したい。



常に落とし所を考える

先方にメリットが無ければ受注は出来ない。当社のメリットだけではなく落とし所を踏まえた対応を意識する。

入社動機

- ①モノづくりにより貢献できること
→設計から建設まで携わることができる
- ②世の中に無くてはならないインフラ事業で社会貢献できること
→電力会社や鉄道会社等も考えたものの、発電所に魅力を感じた
- ③後世に残るような大きな仕事ができること
→大手メーカーで働くことで社会に貢献したいと考えた

現在の仕事内容

業務は川内原子力発電所のアフターサービスを取り纏めるサービスマネージャ。具体的には、原子力発電所は、営業運転後の安全・安定運転が必須であり、定期的なメンテナンスや修繕が求められるため、アフターサービスの提案や工事窓口として客先とやり取りを行う。客先の窓口部門であり、客先の反応をダイレクトに感じることが多い。自らの提案で、社内を動かして、アウトプットを客先に説明した際に、客先から前向きな反応や感謝を得られると、非常にやりがいを感じる。

経歴

- 2009年～2011年
→原子力プラント設計部にて、回転機器（ポンプ、圧縮機）の設計を担当。
- 2012年～2019年
→原子力プラント設計部にて、原子力発電所の再稼働及び特定重大事故等対処施設建設のための許認可（設工認）対応の取り纏めを担当
- 2020年～2025年
→川内原子力発電所のアフターサービスに係るマネージャを担当

職場環境

職場の環境は、部長室含めて上司に相談しやすい雰囲気があり、もちろん個人の努力も必要であるが、チームで取り組むことが出来る。

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 プロジェクト管理	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2010年
---------------------------------	----------------	----------	-------------	---------------



決めることができる人間に

社外、社内、周辺環境など、様々な状況を踏まえて、その場その場で最善の判断をし、物事をスピーディーに決めることができる人材を目指したい。



全体最適

完璧な判断は難しくとも、多角的な視点で状況を捉え、その都度最善を追求する姿勢がプロジェクトマネージャーには重要と考えている。

入社動機

- ①社会貢献に繋がる仕事がしたい
→日本トップの重電会社であり、国のインフラ等、大きな仕事ができる。
- ②多くの人とコミュニケーションを取りながら、一人ではできない大きな仕事を成し遂げたい
→たくさんの人と関わり刺激を受けつつ仕事ができる。
- ③幅広い知識を活かしながらプラント建設に携わりたい
→初任配属先を決められるマッチング採用であり、入社後もその事業分野でキャリアを積むことが出来る

経歴

2010年～2021年

→原子力セグメントプラント設計部で原子力発電所の非常用電源に関わるプラント設計、基本設計、機械設計、電気設計、調達設計を担当。プラント設計の幅広い知識を身に着けた。メーカーとの調整や海外業務担当した。

2022年～現在

→原子力セグメント軽水炉保全プロジェクト部で中国電力島根発電所のプロジェクトマネージャーを担当。客先、社内の多くの関係者と協調し、島根発電所の再稼働に貢献。社内表彰を受賞することができた。

現在の仕事内容

原子力プラントのプロジェクトマネージャーとして、電力会社と社内関係者の間に立ち、Win-Winの関係を築けるよう調整・協議・判断を行う。営業、設計、製造、工事、品質保証など社内の各部門を総括し、状況把握と方針決定、工程・品質の管理を担う。顧客に最も近い立場で技術対応を行うため、感謝の言葉を直接頂ける場面が多く、多様な部門と連携してプロジェクトを成し遂げた時に大きな達成感を得られる。

職場環境

神戸市三宮の近くで仕事ができること。

原子力分野は基本的に神戸での業務となり、繁華街の三宮まで電車で15分と近いので、アフターファイブも充実することができる。新幹線や空港も近く、帰省や旅行する際も便利。

その他福利厚生や職場環境は大企業ならではの申し分なし！！

事業分野 原子力発電 (脱炭素・水素インフラ設備)	職種 プロジェクト管理	専攻 原子力	新卒・中途 新卒	入社年次 2021年
---------------------------------	----------------	-----------	-------------	---------------



大規模事業を 牽引するマネージャーに

会社の規模を活かしたスケールの大きい仕事をコントロールするマネージャーを目指す。社内だけでなく、客先や国を巻き込んだ事業活動に挑みたい。



フラットな関係性と信頼を大切に

フラットなコミュニケーションと良好な人間関係を重視。困っている人がいれば率先して助けることを心掛け、現場の職人との信頼関係も大切にしている。

入社動機

- ①実物に触れることができる商材を扱っている会社、メーカーであること
→製造業のため、実物に触れることができる商材を扱っている
- ②製品のスケールの大きさ
→船やロケットだけでなく、原子力発電所の機器のスケールが大きい
- ③勤務地
→原子力関連の業務はほぼ神戸勤務であり、希望に合致している

現在の仕事内容

PWR1次系の主要機器の修繕工事を担当し、工事計画から現地工事の施工管理まで一貫して取り組んでいる。
机上業務だけでなく現場で実際に製品に触る機会も多い。また、多くの関係者と連携しながら現地工事を完遂したときは非常に大きなやりがいを感じる。

経歴

2021年～
→原子力発電所のアフターサービス工事の工事計画および現地施工管理に従事。

職場環境

誰でもいつでも相談に乗ってくれる雰囲気がある。また、「とりあえずやってみよう」と挑戦を奨励する風土もあり、新たな取り組みに前向きになれる環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
船舶・海洋（商船）	設計	船舶	新卒	2008年



安心・安全・快適な船舶を 社会に送り出す

安全性を最優先に、快適で省エネ性能にも優れた船舶を設計し、社会に貢献し続けたい。



「なぜ」を大切に自己成長を続ける

日々の仕事で湧いてくる「なぜ」という疑問を放置せず、一つひとつ向き合い解消することで、自己成長に繋げることを大切にしている。

入社動機

- ① スケールの大きなモノづくりに携わりたい
→全長約200mの大型船舶を建造するスケールの大きさに惹かれた
特に下関造船所ではフェリー建造が盛んで、自ら利用できる製品に関われる点に魅力を感じた
- ② 給与・福利厚生が充実している
→造船関連企業の中でも給与や福利厚生の高水準が高く、安心して長く働けると感じた

経歴

2008年～2021年

→下関造船所にて船体構造設計を担当。安心・安全を基本に、省エネ・軽量化・快適性にも配慮した設計を行った。

2022年～

→所属課の課長として、課内メンバーの業務管理を中心に従事。管理職としてチーム全体の成果を支えている。

現在の仕事内容

現在は課長として課内の管理業務に従事しているが、設計実務に携わっていた時期は、下関造船所で建造される船舶の構造設計を担当していた。船の安心・安全を最優先に、軽量化や快適性向上、省エネにも意識を向けた設計を行っていた。自ら設計に携わった船舶が図面から実物となり、実際に海に浮かび、航海している姿を目にしたとき、大きな達成感を味わうことができた。下関で建造したフェリーはテレビや旅行先で目にすることも多く、自分も実際に乗船できるため、社会への貢献を身近に実感できる。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務制度が活用しやすく、柔軟で働きやすい職場。ワークライフバランスを保ちながら、長く安心して働ける環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
船舶・海洋（商船）	設計	船舶	新卒	2011年



ニーズを捉え提案できる 技術者に

社会の変化に伴い顧客ニーズは多様化する。設計技術者として正しくニーズを掴み、顧客に喜ばれる製品を提案できる人材を目指す



部署間での調整を重視し、 広い視野で設計に取り組む

船の設計は多様な技術者が関わり、自部門だけで設計が完了しないため、綿密な擦り合わせが必須。視野を狭めず全体最適を目指すことを大切にしている。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
→自身の専攻を活かせる事業分野である
- ②社会貢献につながる事
→商船・官公庁船分野で多様な製品を市場に供給し社会貢献している
- ③高い技術力と競争力があること
→船舶海洋分野のリーディングカンパニーとして技術力が高い

現在の仕事内容

引合い業務で顧客ニーズを把握し概念設計を行う。契約後は基本設計を進め、建造完了後は試運転で所定性能を満たしているか確認する。自分の設計図面をもとに自社工場で作られる過程を間近で見られ、顧客への引き渡しまで担当できることにやりがいを感じる。

経歴

2011年～2025年
→マリンエンジニアリングセンター造船設計部にて商船・官公庁船の基本設計に従事。

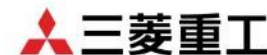
職場環境

フレックス勤務や在宅勤務が認められており、柔軟な働き方が可能。非常に働きやすい環境だと感じている。

氏名 **浅田 凌**

【2025/4/1時点の所属】

三菱造船株式会社 マリンエンジニアリングセンター 造船設計部 船殻設計課 構造チーム



事業分野

船舶・海洋（商船）

職種

設計

専攻

機械

新卒・中途

新卒

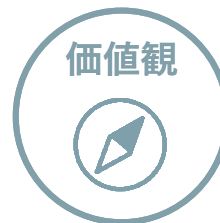
入社年次

2017年



ビジョン 船殻構造の専門家に

構造・強度・振動に関して広く知識を身に着け、瞬時に判断できるような人材になりたい。



価値観 まず理解に徹し、そして理解される

スティーブン・R・コヴィー氏「七つの習慣」の中でも特に大事にしている価値観。

入社動機

- ①陸・海・空の様々な分野に携わっていること
→交通システムや船舶、航空機など幅広い分野に関わっている
- ②世界トップクラスの製品を世界に提供していること
→海外にも多くの製品を展開しており、世界トップクラスの製品を世界に提供している
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与・福利厚生ともに充実している

現在の仕事内容

船体の構造設計を担当。強度・振動・重量などを考慮し、構造を決定する。また、番船担当として他課やチームとの調整業務も担っている。一隻の船を船主に引き渡し、感謝の言葉をもらえた時や、自分が設計した船がニュースに取り上げられた時などにやりがいを感じる。

経歴

2017年～2025年

→船殻設計課にて、船体構造の設計業務に従事。海上保安庁向けの船や特殊用途の船を主に担当。

職場環境

職場として育休を取得しやすい雰囲気があり、自身も実際に育休を取得する予定であることから、若い世代にとっても働きやすい環境であると感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
船舶・海洋（商船）	設計	機械	新卒	2019年



海洋脱炭素の最先端へ

船舶海洋業界でも急務となっている脱炭素への対応について、国内をリードできる存在になりたい。



和而不同

他者と和する一方で、考えることなく同じることは無いようにしています。前例にとらわれず、自分達で考えて物事を決めるように意識しています。

入社動機

- ①自分のやりたい業種(船の設計)に携われること
→船舶の設計開発においてトップクラスの技術力を有しており、客船や液化ガス運搬船の建造経験がある会社である。
- ②業界の中で影響力があること
→造船業界の中でも先進的な技術開発を行っている。
- ③広い領域の仕事ができること
→他の製品と比べて、一人の設計者が関われる仕事範囲が広い。

現在の仕事内容

船舶の脱炭素化に向けて、代替燃料の供給装置の新規開発と、実装可能性の検討（フィージビリティスタディ）を担当。計算や資料作成、部品の手配、客先へのプレゼンまで幅広く対応している。世の中にまだ存在しないものをゼロから生み出す業務は課題も多いが、その分大きなやりがいを感じており、製品が実際に世に出たときには大きな達成感が得られると信じ、日々挑戦を楽しみながら業務に取り組んでいる。

経歴

2019年～2022年

→船舶技術部管内艀設計課で、LPG運搬船の貨物配管設計に従事。
低温で運搬されるガスを運ぶ配管やポンプなどの機器を設計した。

2022年～現在

→環境技術部開発グループで、アンモニアを船舶の燃料として使うための燃料供給装置の開発、船上でのCO2回収装置の開発に従事。
(日本国内の船舶関連では最先端領域)

職場環境

就職活動をしている時には意識していなかったが、福利厚生はしっかりしていると思います。他業種と比べて、お盆やGWなどにしっかり休めるのは良い点。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
船舶・海洋（商船）	システム開発	船舶	新卒	2011年



造船業界全体のDXを推進したい

造船のシステムエンジニアとして、当社だけでなく、日本の造船業界全体のDXを牽引する存在になりたい。



歩みをとめない

価値観をひとつに決めず、日々模索しながら考え続けている。仕事も人生も、悩みや失敗を繰り返しながら、止まらずに一歩ずつ前に進むことを大切にしている。行動と思考を続けることで、少しずつ良い未来が見えると信じている。

入社動機

- ① 世界トップクラスの製品・技術力に惹かれた
→世界有数の製品と高い技術力を持ち、グローバルで戦える競争力がある点に魅力を感じた。
- ② 自身の専攻を活かせる環境
→大学で学んだ船舶の知識を直接活かせる業務に携われると考えた。
- ③ 福利厚生が充実している
→大手メーカーとして給与や福利厚生が整っており、安心して働き続けられると感じた。

現在の仕事内容

造船の設計・工作の効率化を目的に、独自開発した造船用3DCADの改良・保守を担当している。社内での利用はもちろん、社外への販売も進めており、製品開発から営業まで幅広い業務に携わっている。造船業界が抱える課題に対して、自らのシステム開発を通じたソリューションを提供でき、ユーザーから感謝されることに大きなやりがいを感じている。

経歴

2011年～
→造船システムの開発に従事。造船業界の効率化を目指し、独自開発の造船用3DCADのバージョンアップや保守を担当。社内利用に留まらず、他社への外販にも取り組むなど、営業活動にも携わっている。

職場環境

職場メンバーは全国に点在しており、リモート会議が日常的に活用されている。家庭との両立も考慮され、在宅勤務が認められており、柔軟で働きやすい環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
GX (化学プラント・脱炭素・交通システム)	設計	機械	新卒	2011年



空間設計のスペシャリスト

各種化学プラントにおけるレイアウトや配管に精通したスペシャリストを目指すと同時に、プロジェクトをけん引できるマネジメント力も磨いていきたい。



好奇心を忘れない

設計していると、多くの疑問が湧く。業務と直接関係しないことでも、疑問に向き合い、好奇心をもち疑問に向き合い納得するまで調べる。その積み重ねが知識として深く定着する。

入社動機

- ①海外の企業・パートナーと仕事ができること
→化学プラント事業のほとんどが海外案件であり、海外出張の機会も多い
- ②日常では体験できないような規模の大きな製品に関われること
→化学プラント事業は地図に残るようなスケールの大きな仕事ができる

経歴

- 2011年
→化学プラントの空間設計グループに配属。OJTや新入社員論文を行う。
- 2012年～2014年
→マレーシアやロシアの肥料プラントで配管設計や資材調達業務を担当。
- 2015年～2018年
→トリニダード・トバゴのメタノールプラントで配管設計および海外グループ会社の設計取り纏めを担当。フィリピン、中国、トリニダードトバゴへの長期出張も経験。
- 2019年～2021年
→シンガポールのごみ焼却プラント、ロシアのメタノールプラント、国内COPプラントなどの基本設計業務や見積業務を担当。
- 2022年
→千代田化工建設(株)へ出向し、マレーシアの銅精錬プラントで配管設計取り纏めを担当。
- 2023年～
→米国ブルーアンモニアプラント、国内フッ化水素プラント、国内PFA樹脂プラントなどの基本設計業務や見積業務を担当。

現在の仕事内容

化学プラントの配置設計や配管設計を行い、3Dモデルを使って空間全体を設計する。空間設計のみならず、配管の系統設計、材料選定、各種強度計算、資材調達、現地建設まで幅広く業務を担当。プロジェクトごとにプラント機種も建設地も異なるため、毎回新たな設計へのチャレンジとなる。前例のない挑戦を行い、無事プラント完工に至り、地図アプリの航空写真で自分の担当したプラントを確認できたときは、大きなやりがいを感じる。

職場環境

縦割り組織をイメージするかもしれないが、GXセグメントは海外案件を多いためか、人間関係も割と欧米気質でフラットな組織。都心の田町タワーという新しいオフィスビルで設計業務に取り組める点も魅力の一つ。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
GX（化学プラント・脱炭素・交通システム）	設計	機械	新卒	2015年



鉄道システムの オールラウンドプレイヤーとして

信号に限らず鉄道システム全般を総合的にカバーできる技術者として活躍する



常にチームの一員として行動する

鉄道システムは多様な技術の集合体であり、全体最適のためには各分野の連携が不可欠。対立が生じやすい状況でも、相手を理解し、関連部門の業務や技術を学びながら提案・行動することを心がけている。

入社動機

- ①生活の基盤となる製品を提供していること
→鉄道は地上設備と車両を組合せた総合的なシステムであり、社会に欠かせない存在として魅力を感じていた
- ②部品ではなく大きなシステムを完成品として作っていること
→元々乗り物が好きで、特に鉄道は地上設備と車両を組合せた総合的なシステムである
- ③海外で積極的にビジネス展開し活躍のチャンスがあること
→国内で完結するのではなく、海外で活躍したいという思いが強まり、海外向けに鉄道システム一式を納入する三菱重工のビジネスに、自身の志望が重なると感じた

経歴

- 2016年～2018年
→米国向け自動運転システムを主担当として出荷試験～現地試運転～開業まで担当。現在に至るまで開業後の現地運行会社のサポート業務を継続。
- 2019年～2021年
→中東向けおよび東南アジア向け信号システムの試運転の支援に従事。アラブ首長国連邦、カタール、シンガポール、タイのプロジェクトを渡り歩く。
- 2022年～2023年
→新型信号システムの開発を担当。
- 2024年～
→米国向け新規案件を初期設計から担当中。

現在の仕事内容

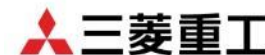
海外向け鉄道の信号システム設計を担当。特に無人の自動運転列車の設計に携わることが多く、受注前の応札対応から、受注後の設計・製作・出荷・試運転・開業後の運行支援まで全般的にカバーしている。自分の意図通りに車両が走行した時は、純粋に技術者としての達成感を覚える。営業運転が始める時にやりがいを感じる。試運転を完了し万全を期していても漠然とした不安が入り混じるが、それ以上に自らのが作り上げてきたものが人々の役に立っている様を見て感無量となる。

職場環境

若手派遣制度により、入社間もない時期から海外プロジェクトに参加し、試運転などを経験するチャンスがある。年に1回は5連休を取得することを推奨している。この制度のおかげで閑散期に長い休暇を満喫できるため、私生活の満足感の向上につながっている。在宅勤務を柔軟に運用しており、プライベートと両立しやすい環境である。

氏名 **土門 太**

【2025/4/1時点の所属】
GXセグメント GX事業推進部 基本計画グループ



事業分野 GX (化学プラント・ 脱炭素・交通システム)	職種 設計	専攻 電気・電子	新卒・中途 新卒	入社年次 2017年
------------------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



何を聞かれても道筋を示せる人に

さまざまな機器に関する知識を身につけ、どんな問いにも答えや方向性を提示できるジェネラリストを目指す。



面白き事もなき世を面白く

「世の中を面白く変えてやろう」と解釈している。新しいことに挑戦する原動力となる言葉であり、自分次第で社会は変えられるという気概を持って働いていきたい。

入社動機

- ①社会に与える影響が大きい仕事に携われること
→発電は人々の生活の根幹に関わる領域であり、電気を届けることで多くの人々に影響を与えることができる
- ②スケールの大きな仕事、多様な業務に関われること
→地域に関係なく世界中に影響を与えられる点に加え、主機の製造からEPCまで幅広く手掛けられる
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与や福利厚生についての不安はない

経歴

2017年～2020年

→GTCC事業部 高砂プラント技術部 高砂プラント設計課にて、国内GTCCプラントの基本設計から試運転・性能計測までを担当。

2021年～

→電力プラント管理部 エンジニアリング戦略グループ (現) にて、プラント設計用のエンジニアリングソフト開発や、エンジニアリングデータの有効活用に従事。

2022年～2024年

→新事業・開発推進部 国内エナジーソリューショングループにて、産業用顧客向けの容量市場提案・実行、工場内エネルギーバランス最適化などを担当。発電プラント案件の創出・計画業務を行った。

現在の仕事内容

GXに関するプロジェクトにおいて、技術的な側面から推進。水素・アンモニア・合成燃料の製造やハンドリング等、サプライチェーンを構築する上での性能や機器仕様等を検討を行っている。

誰も答えを持っていないGXの世界で、新しいことを考える楽しさと難しさがある。全く新しい技術を生かせないか考えることや、既存技術の組み合わせでどうにかできないかといった検討もあり、四苦八苦することも多いが、新たに切り開いていく楽しさがあると感じている。

職場環境

田町タワーは開放的で明るく、テレビで見るとような最新のオフィス空間。家庭の事情に応じてフレックスや在宅勤務も柔軟に活用でき、働きやすさを実感している。

事業分野

GX（化学プラント・
脱炭素・交通システム）

職種

設計

専攻

土木・建築

新卒・中途

新卒

入社年次

2020年



プラント設計における
特定分野の専門家全分野の
基礎を幅広く知るエンジニアに

土木・建築における特定の分野で専門性を高め、プラント
の土木・建築設計に必要な基礎知識を幅広く習得する。



常に学び、悩み、考え、
自分なりの答えを出していく

自分はどうか考え、どう進めたいのかというスタンスを明確に持つ
ことが大切。正解はつくっていくという価値観で取り組んでいる。

入社動機

- ①大規模なモノづくりに携われること
→プラントエンジニアリング業界の中でも自社工場を持ち工場製品からEPC業務を展開できる可能性があり、競合他社と比較し、事業の多角化などに強みを持っていること
- ②設計・施工の両方に携われること
→プロジェクトを通して、土木・建築系の設計・施工の両方に携われること
- ③海外で働くことができること
→グローバル展開している
- ④自分の専攻分野が活かせること
→大学で学んだ土木・建築の知識を業務に活かせるフィールドである

現在の仕事内容

プラントに係る土木・建築設計を担当している。業務の幅とても広く、国内・海外の両方の仕事に携われる。挑戦の連続である日々やりがいを感じている。

経歴

- 2020年
→海外化学プラントにおける電気室建屋の最適設計の検討を実施（新入社員論文）。
- 2021年
→原子力セグメントに応援派遣。原子力再生処理施設にて、新規制基準に対応した鉄骨工場の工事を担当。
- 2022年
→国内化学プラントの設計に従事。小規模建屋、機器基礎の設計を担当。
- 2023年
→バングラデシュにて海外化学プラントの現場工事の監理に従事。建屋の空調や補修工事等に関する客先との調整や交渉、サブコンに対する指示などを行い、現場工事を遂行。国内化学プラント設計に必要な標準図の作成に従事。
- 2024年～
→標準図の作成を継続し、CO2回収プラントの設計補助などに従事。国内化学プラントの設計に従事し、標準図の作成、機器基礎、土木構造物の設計を担当

職場環境

社員が皆、謙虚な姿勢で仕事に取り組んでおり、自分も常に謙虚な姿勢で働くことができる。プラントエンジニアリングという業界の性質上、同じ仕事は一つとしてなく、国内外での働き方も異なるし、設計・現場で得られる知識も様々である。常に新しい学びがある。プロジェクトごとに協力しながら、一つのプラントを完成させていく点に魅力を感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
GX（化学プラント・脱炭素・交通システム）	設計	機械	新卒	2020年



MHI全体を俯瞰し 事業開発を牽引する

技術職としての知見を生かし、三菱重工全体を俯瞰できる視点を持ちながら、各事業部の強みを融合させた事業開発ができる人材になりたい。



チームワークと不断の努力

どれほど優秀な人でも一人では仕事はできない。上司、先輩、後輩、部下を問わず、すべての相手に対するリスペクトを忘れず、向上心を持ち続け、日々努力を重ねることが重要であると考えている。

入社動機

- ①航空宇宙産業の日本トップ企業である
→日本唯一のロケットおよび戦闘機組立メーカーであり、当時は国産ジェット機開発にも取り組んでいた。
- ②グローバル企業であり、海外の人々と仕事ができる
→海外関連会社が多く、Boeingをはじめとする海外トップ企業ともTier 1として取引している。
- ③働く人々の雰囲気が良い
→インターンシップで出会った社員が皆、優しく仕事ができる人ばかりだった。

経歴

2020年～2023年

→航空機・飛昇体事業部 航空機製造部にて、F-2およびF-15戦闘機の生産技術に従事。環境や作業者に配慮した新溶剤の適用検討試験を実施し、TO（Technical Order）改訂および改修事業のプランニングを担当した。

2024年～2025年

→GXセグメント CCUS技術開発部 CCSアライアンスグループにて、Exxon Mobilとの共同開発に従事。大型CO2回収装置において、回収性能の要となる塔内部品の開発を担当している。

現在の仕事内容

主にCO2回収装置における性能の核となる新規充填材の開発および適用を担当している。ベンダーの新規充填材について机上検討およびパイロット試験を実施し、性能確認を行うほか、他事業部の技術を活用した社内開発品の検討も進めている。シミュレーションツールを用いた性能予測、試験計画の策定、試験解析、改善の立案から設計への適用まで一貫して担当している。性能評価のみならず、材料強度などの機械工学や材料の知識も必要とされ、総合研究所の各部門と連携しながら開発を進めている。

職場環境

チームの結束力が高く、BBQや飲み会などのイベントも頻繁に開催され、出席率も高い。毎日会社に行くことが楽しみになるような職場である。また、田町タワーは非常に綺麗で、働く環境としてもモチベーションが高まる。

事業分野 GX (化学プラント・脱炭素・交通システム)	職種 システム開発	専攻 電気・電子	新卒・中途 新卒	入社年次 2002年
--------------------------------	--------------	-------------	-------------	---------------



創造と変革を実現する企業人

分野や製品を問わず、求められる創造と変革を実現し、三菱重工を進化させるために仕事をする人材として活躍していきたい



どんな役割も楽しむ

持ち場や役割に応じて仕事を楽しむことを大切にしている。新しい分野の仕事を楽しみながら取り組み、現在はグループ長としての組織運営や育成にも全力で楽しみながら取り組んでいる。

入社動機

- ①制御という分野で考えたときに活躍できる企業であること
→機械装置から衛星まで直接・遠隔の幅広い制御に携われる
- ②幅広い製品と技術を有していること
→多岐にわたる分野に大量の製品を有している企業である
- ③自身のキャラクターに合った働きやすい職場であること
→リクルーターが温厚な印象で後輩想いの面倒見の良い人物であり、そういう雰囲気のある企業であることを想像させてくれた

現在の仕事内容

DXをテーマに新しい技術やソリューションを探索・導入し、制御システムや支援システムを開発する部門のグループ長として部門運営をしている。配下の社員を通じて創造と変革を実現していくこと、さらに高度で多くの創造と変革を実現できる組織に成長させていくところにやりがいを感じている。

経歴

- 2002年～2009年
→産業用ロボットの制御設計・開発に従事。
- 2009年～2022年
→交通システム向け制御システム開発と一部海外受注工事設計を担当。
- 2022年～
→鉄道向けセキュリティシステムの開発・自動車自動運転向け支援システムの開発及びDX推進に従事。

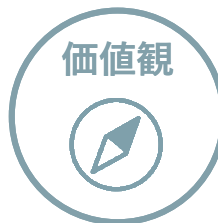
職場環境

若手メンバーを中心に新しいことを積極的に取り入れ、創造と変革を実現していく組織である。カジュアルで仲の良い職場の雰囲気があり、在宅勤務などの新たな働き方にも前向きに取り組んでいる。他部門・他社との交流も活発で、新たな価値や文化の創出を目指している。教育や学びを通じて、個人・組織のレベルアップにも力を入れている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
機械システム	設計	土木・建築	新卒	2021年



鋼構造設計のスペシャリストへ
煙突設計に限らず、鋼構造工作物全般の設計に精通したプロフェッショナルを目指す。



**視野を広く持ち、
何歳からでも挑戦する**

専門にとらわれず他分野の視点を取り入れることで、固まった価値観も崩せる可能性がある。他分野も積極的に取り入れる。また、何歳からでも挑戦をすることは恥ずかしいことではない。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
- ②単なる建築物ではなく、機械と建築の間のような大規模構造物を設計できること
- ③大手メーカーであるため、福利厚生は充実しており、技術も世界トップクラスであること

現在の仕事内容

煙突の設計には、構造設計・耐震設計・耐風設計・振動設計など、多岐にわたる構造設計の知識を用いながら、企画からアフターサービスまで設計は一貫して関わっている。ゼネコンなどでは考えにくいですが、プロジェクト1つにつき基本一人での設計になるため、自分が設計したという思いが大きくなる。

経歴

2021年～2022年

→工作物の設計方法にて研究開発を担当。

2022年～2025年

→製鉄会社の煙突設計を担当。

2024年～2025年

→2022年に考案した設計方法にて、発電会社の煙突の解析を担当。

職場環境

自由に仕事ができる環境である分、自ら考え行動する姿勢が求められる。ただし、技術力は確かであり、自分自身の成長に繋がる非常に良い環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
機械システム	設計	機械	新卒	2022年



機械装置設計のスペシャリストに

単一の製品にとどまらず、装置全体の構造・機能・動作原理まで深く理解し、幅広い技術を身につけた設計者を目指している



我以外皆師

どんな立場の人からでも学ぶことはあるという姿勢を大切にしている

入社動機

- ①スケールの大きなものづくりに携われる
→防衛やインフラといった分野で、大型かつ高精度な製品を扱える点に魅力を感じた。社会に与えるインパクトが大きく、誇りを持って働けると考えた
- ②製品全体に関われる設計職
→受注生産が多いため、設計の業務範囲が広く、見積からアフターサービスまで製品のライフサイクル全体に関われる点が入社の決め手。また、マッチング制度により配属先の上司・職種が明確な点も安心材料だった

現在の仕事内容

タイヤ試験装置や搬送装置などの設計を担当。構想設計から詳細設計、現地での試運転対応に加え、見積作成や引合対応といったフロント業務にも携わっている。装置全体を一貫して見ることができるとしての視野が広がる実感がある。

経歴

- 2022年～2023年
→設備インフラ事業本部機械技術部にて、タイヤ試験装置の設計業務を担当。
- 2023年～
→設備インフラ事業本部精密メカニクス技術部に異動。タイヤ試験装置やウチスキー樽の搬送装置といった機械装置全体の設計業務に従事している。

職場環境

フレックス勤務制度があり、自身の業務進捗やライフスタイルに合わせて柔軟に働くことができる。若手にも業務の幅を持たせて任せてもらえる環境で、主体的に成長していける風土がある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
機械システム	設計	電気・電子	新卒	2022年



多種多様な製品に 対応可能な設計者を目指す

幅広い製品に携わり、どんな製品でも対応できる設計者になるため知識を積み重ねていきたい。



業務に真摯に 取り組み周囲に頼る姿勢を持つ

若手のうちは判断が難しいことも多く、未熟さを隠さず周囲に頼りながら着実に業務を進めることが重要だと考えている。

入社動機

- ① 社会人として成長できること
→試験装置等を通じて社会に貢献できると感じた
- ② 社会インフラに関連し社会貢献につながる事業であること
→多様な製品に携わることで技術者として成長できると考えた
- ③ 給与や福利厚生の水準が高いこと
→大手メーカーで給与や福利厚生が充実している点に魅力を感じた

現在の仕事内容

既存の制御方式や新機能の仕様検討を行い、BPと連携しながら制御盤の設計開発を担当。未経験の業務もこなし、社内関係者から評価されることに大きなやりがいを感じている。

経歴

2022年～
→三菱重工機械システム 設備インフラ事業本部 制御システム技術部システム設計課にて、風洞加熱器温度予測システムのソフトウェア設計開発や新規事業のPoCを担当。

職場環境

有休の取得がしやすく、フレックスや在宅勤務制度も利用しやすい環境で働きやすいと感じている。

事業分野

機械システム

職種

設計

専攻

機械

新卒・中途

新卒

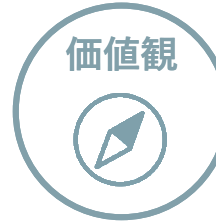
入社年次

2023年



一步先の発想・ 提案ができる技術者

一步先の発想、一步先の提案ができる技術者を目指している。
常に現状に満足せず、先を見据えた視点を持ち、顧客や社会
に新たな価値を提供できる存在になりたいと考えている。



Think Globally, Act Locally

常に広い視野で物事を考え、目の前の課題には地に足をつ
けて真摯に向き合うことを大切にしている。グローバルな
観点を持ちながら、日々の業務を丁寧に積み重ねていく
ことを意識している。

入社動機

- ① 自身の専攻を活かせる
→機械メーカーであり、学生時代の専攻の知識を活かすことができる
- ② 魅力的な製品に携わることができる
→製品群が幅広く、魅力的な製品が沢山ある
- ③ 給与・福利厚生の水準が高い
→給与水準も比較的高く、各種手当も充実している
- ④ 教育制度が充実している
→社内の教育制度が整っており、研修の種類も豊富である

現在の仕事内容

将来機開発に用いる試験設備において、機械品および構造品の検討・設
計を担当している。製作、試験、現地据付まで、社内の他部門と協力し
ながら一連の業務を遂行している。

経歴

2022年～
→三菱重工機械システム株式会社 設備インフラ事業本部 機械技術部
にて、将来機開発に用いる試験設備の機械設計を担当。

職場環境

積極的な有給取得の雰囲気があり、フレックス勤務や在宅勤務への理解
も高く、非常に働きやすい職場環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
機械システム	設計	機械	新卒	2023年



車載製品のプロになる

車載製品と言えば自分に相談が集まるような人材を目指し、専門性を高めていきたい



積極的に挑戦し、経験を積む

失敗を過度に恐れず、積極的に挑戦することで成長につなげていく

入社動機

- ①仕事内容が自分に合っていること
→内定前に配属先が課単位に定まり、配属先や上司の雰囲気、入社後に担当する仕事のイメージがつかめる
- ②仕事の中で海外の企業と関われること
→シンガポール政府からの案件に数十年携わっており、出張・駐在の機会が多い
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与水準や福利厚生が充実している

経歴

2023年～2025年
→モビリティ事業本部 技術1部にて、シンガポール道路課金業務に従事。世界で類を見ない都市部での高精度GPS道路課金を実現。

現在の仕事内容

シンガポールにおける道路課金システムのハードウェア（車載器）設計を担当。次期車載器のスマホ代替可能性を検討するとともに、現地シンガポールにてGPS性能評価試験を実施。ハードウェア仕様決定も行なった。海外出張を含め、広範な経験が積み、数百万台の量産車載機の仕様決定に携われる点にやりがいを感じている。

職場環境

フレックスタイム制度が活用でき、非常に働きやすい。有給休暇も積極的に消化する風潮があり、気兼ねなく取得できる。人間関係も良好で、困った際には上司に相談しやすい雰囲気がある。製品分野が広く、社内の手挙げ式の異動制度も機能しており、異動先の選択肢が多い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
エンジン・エナジー／ターボチャージャ	設計	機械	新卒	2020年



様々なエンジン開発に携われるエンジニアに

従来燃料であるディーゼルに関する深い知見をベースに、現在拡販中のガスエンジンや水素などの新燃料にも対応できるエンジン開発者を目指したい



初心を忘れず、謙虚に粘り強く

目的や使用者を意識することは、業務のモチベーションにも成果にも直結すると考えている。驕らず学ぶ姿勢を持ち、最後まで粘り強くやり遂げることがあらゆる場面で大切である。

入社動機

- ①社会貢献につながること
→非常用発電機など、人々の生活インフラを支える製品を扱っている
- ②世界に広く売れている製品に携われること
→国内にとどまらず、世界各国に製品を供給している
- ③事業規模が大きいこと
→会社としての規模が大きく、安定性がある

現在の仕事内容

総合研究所と協議しながら性能予測を実施し、改善策を検討。試験後は実データをもとにパラメータ調整を実施。強度計算や解析を通じて問題の有無を確認。バックアップ案を含めた設計検討やトラブル対応も手がける。効果検証を行い、実機への適用可能性を検討。関係部署と協議のうえ、提案を行う。

経歴

2020年～
→旧・開発2グループ（現・ディーゼルエンジン開発課）に所属。入社以降、非常用発電機向け中～大型ディーゼルエンジンの開発に一貫して従事。当社最大出力かつ電子制御燃料噴射システムを初搭載した中大型機種の開発に関わり、製品化に至る。主に、電子制御エンジンの性能設計、構造設計、要素技術研究を担当している。

職場環境

有給休暇が取りやすく、連休も多いため、オンオフのメリハリをつけて働ける職場です。集中して働き、しっかり休むという好循環が実現できていると感じます。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
エンジン・エネルギー／ターボチャージャ	生産技術・管理	金属・材料	新卒	2013年



あらゆるエンジンに精通する人材に

エンジンの分類を問わず、マテリアルコントロールの領域であらゆる質問に応えられる存在を目指す。



仕組みで人を助ける

現場の困りごとを一つずつ丁寧に拾い、仕組みとして解決することを大切にしています。

入社動機

- ①スケールが大きいものづくりに携われる
→他社を圧倒するシェアと技術力に惹かれた
- ②配属拠点先／場所
→地元九州に拠点があり、希望する勤務地で働けると感じた
- ③給与や福利厚生水準が高い
→大手メーカーならではの待遇があり、安心して長く働けると感じた

現在の仕事内容

民間航空エンジン向けの素材購入計画の策定、および棚卸資産の管理業務を担当。計画の簡素化や属人化の排除に取り組み、改善点があればERPシステムに反映させ、全体の業務効率向上を図っている。

経歴

- 2013年～2016年
→原動機事業本部 熱エネルギー製造部にて、火力発電ボイラの過熱器／再熱器の製造に従事。現場スタッフとして小日程管理や設備導入・修理・保守を担当。
- 2017年～2018年
→エンジニアリング本部 ボイラ製造総括部 生産技術部 生産統括課にて、福島復興IGCC向け圧力容器の生産管理を担当。中日程や出荷スケジュールの調整を行う。
- 2019年～
→三菱重工航空エンジン株式会社 小牧北製造部 生産サポート課に所属。航空エンジン素材の購入計画立案に従事し、ERPシステムの改修による業務効率化も担当。

職場環境

寮や社宅といった住環境が整っており、遠方からの配属でも安心して働ける体制がある。福利厚生も充実しており、長期的にキャリアを築く環境が整っている。

事業分野 エンジン・エネルギー／ ターボチャージャ	職種 生産技術・管理	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
---------------------------------	---------------	-------------	-------------	---------------



エンジン部品生産技術のなんでも屋

現在は機械加工を担当しているが、将来的には組立や運転も含め、エンジン部品に関わるあらゆる分野の生産技術に精通した人材を目指したい。



実践躬行

口先だけではなく、実際に行動することを最も大切にしている。

入社動機

- ①社会貢献度の高い事業に携われること
→幅広い事業・製品を取り扱っており、社会に大きく貢献している
- ②高い技術力と商品企画力があること
→長い歴史の中で培われた高い技術力に最先端の知見を取り入れており、業界の中ではトップクラスである
- ③福利厚生と給与水準が高いこと
→大手メーカーの中でも、給与・福利厚生が非常に充実している

現在の仕事内容

新機種エンジンの製造や増産に向けた設備投資・工法開発に対して日々取り組み、社内の関連部門だけでなく、設備メーカーや工事会社など社外の関係者とも密に連携しながら推進している。
数十年後の工場レイアウト体系を決めるような業務に携わるため責任も大きいですが、非常にやりがいがある。

経歴

2022年～
→生産技術課 エンジン技術チームに所属し、新機種エンジンの立ち上げや、増産対応に伴う工法開発・設備投資業務に従事。関係部門や設備メーカー・工事会社と連携しながら、生産現場を支える技術開発を推進している。

職場環境

結婚・引っ越しなどライフイベントが重なる時期でも、上司やチームの理解があり、休暇も取りやすい。プライベートと仕事を両立しやすい、働きやすい職場環境。

氏名 **湯浅 隆祐**

【2025/4/1時点の所属】
高砂品質保証部 試験課 技術チーム



事業分野 エンジン・エネルギー／ ターボチャージャ	職種 品質保証	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2023年
---------------------------------	------------	-------------	-------------	---------------



信頼される技術者を目指して

当社の発電プラントについて理解を深め、トラブルが発生した際にも迅速かつ的確に対応できる技術者になりたい。



やらない後悔よりやって後悔

通常業務に加え、さまざまな活動の機会が与えられることが多い。上司から提案された仕事にはまず挑戦することで、多くの学びが得られ、必ず良い経験になると考えている。

入社動機

- ①製品・技術に魅力があること
→水素を用いた発電技術により火力発電事業をけん引しており、またメンテナンス技術にも注力することで高い信頼を得ている
- ②職場の雰囲気が良いこと
→社員同士の雰囲気が良く、働きやすい環境であると感じた

現在の仕事内容

お客様が運転しているガスタービンでトラブルが発生した際には、迅速に原因を調査し、報告および改善提案を行っている。世界各地のお客様の発電所が安定して運用できるよう支援することが主な役割。また、より良い運用を実現するために、アップグレードのご提案など、お客様のニーズに応じた対応も手掛ける。
時間をかけて調査・検討した報告書や提案内容を、お客様に直接説明し、感謝の言葉をいただいたときにやりがいを感じている。また、世界中のプラントの運用を支える一因となれていると実感できる点にもやりがいを感じる。

経歴

- 2023年～2024年
→高砂サービス技術部 海外プロジェクト推進グループに所属し、香港・バングラデシュ・中国のサービスプロジェクトを担当。
- 2025年～
→高砂品質保証部 試験課にて、試運転業務に従事予定。

職場環境

寮費や家賃補助制度が充実していることで、遠方からの転勤や就職でも住居面の不安が軽減され、安心して新しい環境に馴染める。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
エンジン・エナジー／ターボチャージャ	サービスエンジニア	金属・材料	新卒	2019年



インフラの安定稼働に貢献する

技術、営業、法務、財務などの知識を幅広く身につけ、国内外の関係者と連携しながら、世界中のサービスインフラを支える存在でありたいと考えている。



成功とは失敗を重ねても熱意を失わないことである。

常に目標に向かって一歩ずつ粘り強く前進し続けることが、自分の仕事において最も重要だと考えている。

入社動機

- ①世界中の社会活動に貢献できること
→エネルギーの安定供給に関わることで、社会基盤を支える役割を果たしたい
- ②技術力によってインフラを支えられること
→自社製品が世界中で稼働しており、ものづくりの力で社会に貢献できると確信した
- ③エネルギー・環境分野への波及力が大きいこと
→持続可能な社会の実現に向けて、エネルギー効率や環境負荷低減に取り組む姿勢に共感した

経歴

2019年～
→三菱重工エンジン&ターボチャージャエンジン・エナジー事業部 サービス部 高速サービス技術課に配属され、現在に至る。

現在の仕事内容

北米や欧州に出荷された自社製エンジンに関するトラブル対応、客先との技術交渉、市場で稼働中のエンジン調査などを担当している。技術面だけでなく、営業、法務、財務など多面的な視点から業務にあたり、社外の目線から自社の改善点を考察する機会も多い。ときに交渉は売上や利益に直結するため責任も大きいですが、成果が得られたときの達成感は非常に大きいと感じている。

職場環境

個人の裁量が大きく、自らの意志や希望に基づいた業務遂行が可能である。業務バランスの調整により、有給休暇の取得もしやすい環境が整っている。福利厚生面では、格安な寮・社宅制度や住宅補助が充実しており、住居選択の自由度が高い点にも満足している。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 設計	専攻 電気・電子	新卒・中途 新卒	入社年次 2020年
-----------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



なんでも聞いてください。 と言える存在に

「なんでも聞いてください」と自信をもって言える設計者に憧れ、自身も豊富な知識と責任感で信頼される存在を目指したいと考えている。



Lose myself (ハマれ)

夢中で追い求める“ハマる”感覚を大切に、好奇心と集中力で知識や経験を吸収しながら、楽しんで業務に取り組むことを意識している。

入社動機

- ①人・職場の雰囲気が良いこと
→人との関わりに魅力を感じ、直感的な職場の相性を感じた
- ②福利厚生が充実していること
→給与・福利厚生が充実し、社会的信用の高さを実感した
- ③他社にない製品力・技術力を有し、充実した知識や経験があること
→多分野にわたる技術や技術者がいるため、学びと刺激になる

経歴

2020～2024年

→三菱重工サーマルシステムズ株式会社輸送冷凍機部設計課にて海外向け小型トラック用電動式冷凍機の新規製品開発に従事。電気系全般の設計開発と量産後の維持品質改善、拡販活動不遇対応の全てを担当。

2025年～現在

→同課にて海外向け大型トレーラ用冷凍機の電気系・制御系全般の設計を担当。

現在の仕事内容

製品の電気系全般の設計を担当し、回路構成だけでなく、放熱性やEMC、強度、制御、重量、コスト、納期、各国法規・規格など多面的に検討し、お客様の要望に適合する製品設計を行っている。やりがいを感じるのは、自分が設計した製品が実際に使われ、人々の生活の「当たり前」を支えていると実感できたとき。また、その製品を「使いたい」と言ってもらえることで、人々の期待に応えているという喜びを感じる。

職場環境

三菱重工サーマルシステムズ株式会社は名古屋駅から1駅という職場の立地と新しくカッコいい社宅・寮が自慢できる。
また、福利厚生の充実さからこれまで入ってくるお金のほうばかり見ていたが入社してから出ていくお金が少ないことの重要性を知ることができ、入社してよかったなと思った。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2021年
-----------------------------	----------	----------	-------------	---------------



高難易度プロジェクトを リードする技術者へ

技術的な専門性を高め、さまざまな人と協力しながらプロジェクトを推進する能力を磨いていきたい。



積極的に新分野に挑戦する姿勢

自分が詳しくない分野にも積極的に関わり、経験を重ねることで専門性を広く深く高めていくことを大切にしている。

入社動機

- ①長期的に需要があり、将来性のある事業であること
→地球温暖化を背景に、冷熱事業は世界的に市場が拡大しており、今後も需要が続くと考えた
- ②世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→トップクラスのシェアを持つ製品があり、高い技術力を誇る企業であることに魅力を感じた
- ③給与や福利厚生、勤務地などの条件が希望と一致していること
→大手メーカーで給与・福利厚生が充実し、勤務地が都市部近郊で生活に便利であることも決め手となった
- ④自身の専攻を活かせること
→機械・伝熱を専攻しており、これを活かせる業務内容だった。また、学生時代の専攻外の分野も幅広く学べると考えた

経歴

2021年～
→空調機技術部ルームエアコン設計グループにて、ルームエアコンの開発業務に従事。

現在の仕事内容

国内外のルームエアコンの新製品開発を担当。コンセプト検討から詳細設計、量産後のフォローまで幅広い工程に携わり、関連部署と協力しながら業務を進めている。製品開発全体に関われることが魅力。製品の開発スパンが比較的短く、新しいことに次々挑戦できる環境があり、常に新鮮な気持ちで取り組むことができる。

職場環境

メリハリのある働きやすい職場。勤務地は名古屋駅から5分程度で、通勤や私生活にも便利。ワークライフバランスも取りやすい環境。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
サーマルエンジニアリング ／冷熱	設計	金属・材料	新卒	2021年



周りに頼られる設計者になる

後輩などからの質問や相談に対し、的確かつ丁寧に答えられるようになりたい。そのために、室内機の製品設計に関する知識を着実に深めている



人を大切にする

各人が持っている考えや価値観を尊重している。異なる立場や経験を持つ人々の意見を取りまとめ、皆が納得できる製品を作ることが設計者の役割だと考えている。

入社動機

- ①社会に対する利益や規模が大きい業務をしていること
→ビル空調など、社会への貢献度の高い製品を扱っている
- ②大学で得た知識・経験を生かせること
→工学系の専門知識を業務で生かすことができる
- ③福利厚生が手厚いこと
→大手のメーカーであり、福利厚生が充実している

経歴

2021年

→全熱交換器を用いた換気空調システムの基礎研究に従事。全熱交換器の導入による消費電力の削減・換気による快適な室内環境を目指した。

2022年～2024年

→新冷媒対応の海外向ビル空調エアコンの室内機設計に従事。

2024年

→新冷媒対応の国内向外調機設計に従事

現在の仕事内容

R32冷媒対応のビルマルチエアコンの室内機の開発・設計を担当。室内機の運転評価については、接続される室外機の担当と連携しながら試験を進める。また、内部に冷媒センサをつけるユニットについては、量産ラインにて問題なく実装できるか製造部と協議しながら進めた。10年以上開発されていなかった機種を担当することになり、当初は知見が少なく苦労したが、現物を確認しながら改良点を検討・実行していく中で理解が深まった。結果として、担当機種に関しては社内で最も詳しいと自負できるレベルにまで成長できた。

職場環境

有休を使いやすい職場の雰囲気。また、年齢や世代に関係なくコミュニケーションが取れる環境が整っており、働きやすいと感じている。

氏名 **石田 竜太**

【2025/4/1時点の所属】
車両空調機事業部 技術部 電子制御設計課

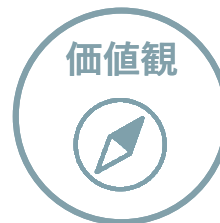


事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
サーマルエンジニアリング ／冷熱	設計	電気・電子	新卒	2021年



インバータ開発を極める

幅広い箇所で使用されているインバータに関する専門性を高めたい。



チーム連携と情報共有を重視

製品は一人で作るものではなく、部署を超えた連携があつてこそ。よって前広な情報共有や報告を大切にしている。

入社動機

- ①グローバルに事業を展開していること
→売上比率の半分以上は海外であり、現在の事業部は海外出張率も（当時）35%程度と高かった
- ②給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与や福利厚生が充実している
- ③今後伸びる事業であること
→カーボンニュートラルに向け各種事業を展開しており、電気自動車向けの空調用コンプレッサを手掛ける現在の事業部は、今後伸びる分野と認識していた

経歴

2021年～2025年
→車両空調機事業部技術部にて、電気自動車用電動コンプレッサの制御基板の開発に従事。特に新構造の開発機を担当し、量産開始までこぎ着けた。

現在の仕事内容

新規構造の電動コンプレッサの開発に従事しており、インバータ部の設計・評価を一貫して行い、量産までの道筋を構築している。MHI製品の中では小さい製品であるため、製品のことは全て把握している点にやりがいを感じる。

職場環境

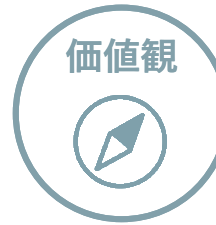
フレックス勤務や在宅勤務がしやすく、柔軟な働き方が可能な環境である。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 設計	専攻 電気・電子	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
-----------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



業務効率化及び 製品の専門家になる

寿命30年の長寿命製品であるため、複数機種が市場に存在しているがそれらに精通した人材は少ない。基板に関しては何でも答えられる人材を目指すとともに、属人化した作業をRPA等で効率化していきたい。



まずはやってみる

初めてのことに反発や手探りがつきものだが、完遂した際の達成感は大い。まずは引き受けてみることで、助けてくれる人や各業務・部署のつながりが見え、次の挑戦のハードルが下がっていく。

入社動機

- ①社会貢献に繋がること
→宇宙事業からエアコンなどの家庭用製品まで幅広い製品を有し、技術力の高い企業である。発電など社会に対しての製品インパクトも高く、世界を変える力がある
- ②給与・福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与・福利厚生がしっかりしている。女性の活躍もアピールしていた
- ③会社の持続性があること
→国の事業や海外の主要メーカーなどとも取り引きがあり、株価も大きな落ち込みがあまり見られない

経歴

2022年～2023年

→大型冷凍機技術部電気グループにて既存製品に使用している基板の部品廃番に伴う改版を担当。

2023年～2025年

→大型冷凍機技術部電気グループにて新規基板開発に伴う、企画・設計を担当。

現在の仕事内容

既存基板に使用する部品の生産状況、改版計画の確立を行う。市場不適合が発生した際には、分析を実施し再発防止策を策定する。新規基板開発では、製品コンセプトの企画から設計、量産化対応を一貫して実施。関係各所との調整や新規基板に対して希望することの聴取を行い、ユーザーニーズに沿った製品の開発を計画している。市場不適合に対して迅速に対応でき、社内外から感謝された時や、今までできなかったことを、新規基板で対応できるように設計ができた時に大きなやりがいを感じる。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務を柔軟に活用できる点は働きやすいと感じている。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 設計	専攻 金属・材料	新卒・中途 新卒	入社年次 2023年
-----------------------------	----------	-------------	-------------	---------------



訴求力のある空調製品の開発

広い視野を持って顧客のニーズ・新たなアイデアを集め、それを実現するための知識やノウハウを培っていききたい。



やらない後悔よりやって大成功

新しいことに挑戦できるチャンスは多く存在し、迷ったときは「やってみる」を大切にしている。やらない後悔より、やった結果の成功や失敗を自身の糧にしたい。

入社動機

- ①ワークライフバランスが確保できること
→比較的休みも多く、有給休暇も取得しやすい環境であると感じた
- ②給与や福利厚生の水準が高いこと
→給与に不満がなく、寮や家賃補助、その他の福利厚生も充実している点に魅力を感じた
- ③業界としてこれから発展の余地があること
→脱炭素化や省エネ、パンデミックによる空気環境への関心の高まりを受け、冷熱事業は今後も発展すると考えた

現在の仕事内容

各国の環境規制に対応し、顧客のニーズを反映した仕様を検討。仕様の妥当性を評価する試験方法や製造性、コストについて担当課・サプライヤーと協議し、仕様を決定する。自身が担当した製品が量産に至った時に達成感がある。街中で自社製品を見かける場面にも誇りを感じる。

経歴

2023年～
→MTH空調機技術部 店舗パッケージエアコン設計グループにて、エアコンの室内機設計開発に従事。天井埋込型エアコンの気流快適性を向上させる新たな吹出機構の研究開発や、低環境負荷冷媒に適應した厨房用エアコンの開発を担当。

職場環境

枇杷島拠点では、寮や社宅が築浅で非常に綺麗。職場敷地内にあり、出勤の数分前に起きても間に合う。繁忙期でなければ有給も取得しやすく、結婚休暇や育児休業に関する制度も充実しており、ワークライフバランスがとりやすい。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 設計	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2023年
-----------------------------	----------	----------	-------------	---------------



一流のトラブルシューター

製品トラブルや難しい要求に対して、的確な解決策を考え提案できるように、知識と経験を積み上げていきたい。



相手の立場になって物事を考えること

コミュニケーションをとる上で一番大切だと考える。相手の状況や背景を考えず一方的に話しても意図は伝わりにくい。言葉選びや話の順序に配慮することで、相手にきちんと理解してもらえるコミュニケーションを心掛けている。

入社動機

- ①規模も製品も大きい仕事に携わりたい
(世の中に与えるインパクトの大きい仕事がしたい)
→国内トップシェアであり、海外シェアも大きく拡大している企業である
- ②製品に広く関わりたい
→開発・引合受注からアフターサービスまで幅広く携わることができる
- ③福利厚生の高水準が高いこと
→福利厚生制度が充実している。
- ④関西勤務を希望していた
→所属する大型冷凍機技術部は神戸造船所であり、勤務地の希望にも合致した

経歴

2023年～
→MTH大型冷凍機技術部にてターボ冷凍機の生産設計業務に従事。お客様のニーズに合わせた冷凍機仕様の設計・提案やオプション対応の検討を担当。

現在の仕事内容

ターボ冷凍機の設計業務に従事。設計課は「開発設計」と「生産設計」に分かれており、私は生産設計を担当している。お客様の要望に合わせた仕様やオプションを、時には直接打ち合わせしながら設計・提案している。また、製品の取扱説明書や技術資料の作成、お客様向けの製品説明や拡販活動も担当。自分が提案した仕様やオプションが採用され、製品が問題なくお客様のもとで稼働したときに大きなやりがいを感じる。

職場環境

同年代の社員同士の仲が特に良く、上下の風通しも良い。困ったときは気軽に相談できる雰囲気があり、働きやすい環境だと感じている。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 生産技術・管理	専攻 船舶	新卒・中途 新卒	入社年次 2022年
-----------------------------	---------------	----------	-------------	---------------



技術を磨き、人を導く技術者へ

まず10年間で基礎知識、法規やルール、己の技術を磨く事に専念し、その後は若手や新入社員を指導・管理できる役割を目指す。20年後にはまわりを纏められる人材となる。



勤儉力行

自分の役割を果たして、責任を持つこと

入社動機

- ①モノづくりメーカー
→様々なジャンルの製品の製造・開発を行っていて世界トップクラスの技術を持っている
- ②海外との関わりがあること
→海外に工場があることや海外進出を多くの製品でしており、働く中で海外と関わる機会が多くある
- ③給与や福利厚生の高水準が高いこと
→社員を大事にする社風及び、大手メーカーならではの充実した福利厚生・給与である

現在の仕事内容

図面変更時のメーカー及び現場との切替調整を行っている。新機種立ち上げ時の製品マスタ作成を担当。Power BIやPower Automate等を使用した業務改善にも取り組んでいる。部品の手配から製品出荷まで製造工程全体に関わることができるため、成果を直接目の当たりにできる点にやりがいを感じる。RPAなどの自動化できるツールを作成により業務改善を行い、それを部署で活用してもらえらることもモチベーションとなっている。

経歴

2022年～
→輸送冷凍機・業務用空調機の生産管理を担当。

職場環境

有休がとりやすい環境である。自分のやりたいことや希望が仕事に反映できる職場であり、新しいアイデアや技術、改善など、失敗を怖がらずに経験できる雰囲気である。

事業分野 サーマルエンジニアリング ／冷熱	職種 知的財産	専攻 機械	新卒・中途 新卒	入社年次 2019年
-----------------------------	------------	----------	-------------	---------------



知的財産の専門家に

設計目線でのアドバイスや対応もできる、知的財産の専門家を目指している。



和を以て貴しとなす

気持ちよく仕事ができる環境を作ることが、良いチームを生むと考えている。意見が対立した際も、相手の真意に耳を傾け、拒絶ではなく対話でより良い解決を目指す姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①一つの製品に対して広く関わること
→冷熱製品は他のメーカーと比較しても、各担当が見れる範囲が広い
- ②業務を通じてさまざまな経験ができること
→開発の初期構想から量産後フォローまで、一貫して携われる
- ③海外と関わるチャンスが多いこと
→生産拠点および販売拠点が海外にもあるため、海外出張など海外と関わる機会が多い

経歴

2019年～2023年

→空調機技術部ルームエアコン設計グループにて家庭用エアコンの国内高級機の開発に従事。当社で初搭載となる機能の初期検討から製品搭載までを担当した。更に、試験研究を通して新制御のコンセプト策定から試作制御の作成を担当した。

2024年～

→空調機技術部 技術管理課 知財・教育チームにて、三菱重工サーマルシステムズの知的財産管理を担当。主に特許出願や他社特許の侵害予防調査を実施。

現在の仕事内容

設計が発明したアイデアを特許化するため、公知文献の調査や審査官とのやり取りを通じて、新規性・進歩性を主張していく。あわせて、他社特許の侵害予防調査も実施し、製品構成と特許内容を比較検討しながらリスクの有無を見極める。

社内で特許の専門家は少なく、また知財に関する法律は難しいため、設計では判断のつかない問題が多々生じる。設計の疑問や不安に対し、知財の専門家としての的確に答えることで、設計現場を安心させられることにやりがいを感じている。

職場環境

有給休暇が取りやすく、他社と比較しても休日数も多い。最近では男性社員も積極的に育休取得を取得している。子育て世代への在宅勤務やフレックスタイム制度も非常に寛容。技術系のオフィスは枇杷島（名古屋駅から1駅）又は神戸にあり、どちらも都会に近く、立地良好。

氏名 **加藤 昌浩**

【2025/4/1時点の所属】

防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部



事業分野

航空・宇宙

職種

設計

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

1997年



信頼される技術者になる

「あなたに頼んでよかった」「またお願いしたい」と思ってもらえる技術者を目指す



広い視野と柔軟な対応力を持って

大規模な製品の扱うため、個人で達成できる目標は限られている。組織で開発・問題解決に取り組み、多様な技術分野との連携を通して、視野と対応力を養う。

入社動機

- ①社会への貢献が実感できること
→多くの事業で最終システム製品を扱っており、直接的に社会貢献が実感できる
- ②スキルを向上させられる環境であること
→社会インフラや防衛など幅広い事業を展開し、多くの分野で業界トップシェアを誇る高い技術力を有する

経歴

- 1997年～2003年
→高砂研究所にて、電子ビーム加速器、固体レーザー、半導体製造装置等、応用物理に関する研究開発に従事。
- 2004年～2005年
→名古屋誘導推進システム製作所 誘導・電子機器技術部にて飛昇体搭載内製電子機器の設計を担当。
- 2006年～2015年
→飛昇体事業部 電子システム技術部にて衛星搭載電子機器の開発に従事。世界最先端の宇宙用センサの実装技術及びデータ処理技術の開発を担当。
- 2016年～2017年
→航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部にて次世代宇宙用デバイスの開発に従事。耐放射線性を有する宇宙用デバイスの開発を担当。
- 2018年～2025年
→航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部で管理職に従事。

現在の仕事内容

防衛航空機・飛昇体・宇宙機器の設計業務を行っています。組織力で製品開発・プロジェクトを推進している。世界トップレベルの技術開発を行っていることから、高度な設計スキルとシミュレーション技術を習得できるところにやりがいを感じる。また、多くの事業で最終システム製品を取り扱っており、実際に世の中で利用・運用される状況を体感できる点も魅力である。

職場環境

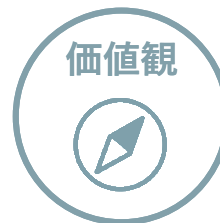
GW・夏休み・お盆休み・年末年始など長期連休が複数あり、まとまった時間を趣味に充てることできる。自身も長期休暇を活用して何度も海外旅行に行くことができた。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2008年



鋳造開発と プロジェクト業務の専門家に

鋳造開発およびプロジェクト業務（PE）の分野で専門性を高め、キャリアを築いていきたい。



Delivery is team sports

一人でできることには限界があり、チームとして行動することで初めて大きな目標を達成できると考えている。

入社動機

- ① 国内でロケットエンジン設計に携われる企業であったこと
→宇宙開発に興味があり、ロケットエンジンの開発・設計を通して貢献したいと考えた

経歴

- 2008年～2012年
→防衛部門に配属。国内ヘリコプターエンジン開発チームにて、二次空気設計および部品試験業務を担当。
- 2013年～2014年
→同部にて、ターボジェットエンジン開発チームに異動し、航続距離延伸のための設計変更業務に従事。
- 2014年～2019年
→民間部門に異動。ターボシャフトエンジンの静止構造部品設計およびエンジン試験を担当。この頃より鋳物開発業務にも着手。
- 2019年～2023年
→MHI Americaに海外駐在し、PW1100Gのプロジェクト業務に従事。
- 2024年～
→帰任後も引き続きPW1100G業務に従事。設計取りまとめおよび部品リーダーを担当。

現在の仕事内容

国内だけでなく海外のサプライヤーやパートナー企業と綿密にやり取りをしながら製品を開発し、設計した通りの製品が完成したときに大きな達成感を得られる。特にグローバルなチームで進めるプロジェクトは、文化や考え方の違いを乗り越え、良い製品をつくり上げることができたときに、チームの力を強く実感する。

職場環境

非常に明るい職場で、上下関係にとらわれず、上司や先輩とも活発に意見交換できる雰囲気がある。自由に議論できる環境が、より良い製品開発につながっていると感じる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2008年



新たな事業のエンジンプロジェクトを牽引するリーダーに

無人機向けエンジン開発など新規事業のエンジンプロジェクトのとりまとめを行えるよう、プロジェクト管理能力を高めていきたい。



為せば成る。為さねば成らぬ何事も

困難に直面しても、強い意志があれば、最終的には何らかの着地点を見出すことができる。常に一人称で業務に取り組むことが大切。失敗も学びや成長の糧だと思い、「転んでもただでは起きない」姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①航空機（エンジン）分野で最先端の技術に関われること
→航空機（エンジン）分野で高い技術力を持ち、かつ機体とエンジンの両方を手掛けている
- ②海外の企業と関われること
→海外メーカーとの共同開発や海外駐在の機会がある
- ③大学で学んだことが活かせること
→設計部門に配属されれば、大学で学んだ知識を十分生かせると感じた

経歴

- 2008年～2009年
→民間向け大型ガスタービンエンジン部品の維持設計作業
- 2010年～2012年
→防衛省向けヘリコプター用エンジンの開発業務。実証試験の主担当として試験準備、立会、客先報告等を担当
- 2013年～2019年
→防衛省向けヘリコプター用エンジンの維持設計。部品の改良設計や試験立会、客先調整等を担当
- 2020年～2022年
→エンジン部品製造プロジェクトに従事
- 2023年～
→防衛省向けヘリコプター用エンジンのプロジェクト管理業務に従事

現在の仕事内容

ヘリコプター用エンジンの量産維持のため、改修・O/H、部品製造といった各契約が遅滞なく進むよう、製造・品証・調達・営業といった関連部門の担当者を取りまとめてプロジェクト管理を行っている。また、電動ハイブリッド推進など、新たな技術を適用した推進システムの客先提案も担当。量産維持では困難な状況もあるが、それを乗り越えた時の客先からの感謝の言葉にやりがいを感じる。さらに、機体側と連携した新しい機体の提案活動等、新たな事業創出に向けた挑戦に手応えを感じている。

職場環境

有給は取得しやすい雰囲気である。また、フレックス勤務や在宅勤務など、個人や家庭の状況に応じた柔軟な働き方ができる環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2009年



全体を理解し見渡せる存在に

ロケットの一部だけでなく、全体を理解し、設計から運用まで関わられるような存在を目指したい。



技術的な裏付けをしっかりと

何事も判断するためには技術的な妥当性を示すことが何より重要。エビデンスを明示し、後世に評価結果を残せるようにしていく。

入社動機

- ①やりたい分野であること
→ロケットや衛星など宇宙関連の事業規模が他の企業と比較して大きい
- ②福利厚生が充実していること
→大手メーカーであり、給与水準や福利厚生制度が整っている
- ③安定性のある企業であること
→事業特性から企業としての将来性・安定性が高いと考えたため

現在の仕事内容

エンジンの設計、試験対応、打ち上げ対応まで一貫して携わる。設計段階では要求に応じた仕様の検討や詳細設計を行い、試験段階では各種データを通じて性能を検証する。打ち上げ時には実機の動作確認や現場対応も含め、関係各所と連携しながら任務を完遂する。これまで積み上げてきた成果が打ち上げ成功という形で結実した瞬間には、大きな達成感とやりがいを感じる。

経歴

- 2009年～2015年
→宇宙事業部、液体ロケットエンジン設計課に従事。2段エンジンを担当。また、射場で打ち上げも対応。
- 2016年～2017年
→JAXAに出向。主にターボポンプの研究に従事。
- 2018年～2025年
→宇宙事業部、液体ロケットエンジン設計課に従事。2段エンジンを担当。また、射場で打ち上げも対応。

職場環境

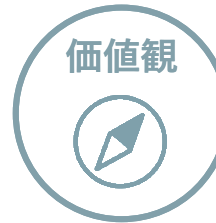
宇宙に強い関心を持っている人が多く集まっていることもあり、仕事に対して真摯に向き合う姿勢が自然と根づいています。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	航空・宇宙	新卒	2011年



国際的な宇宙事業の推進リーダーになる

会社の事業、取り組みに留まらず、宇宙業界という大きな枠の中で新し取組を立ち上げ、育てることのできる事業・組織開発のリーダーになっていきたい。



We can do it! / やればできる

自分とチームを信じてまず動くことを大切にし、行動から学ぶことで成長を加速。挑戦する姿勢が周囲の支援を生むことも実感している。

入社動機

- ①他では経験できない大きなモノづくりに携われること
→他では扱うことのない宇宙分野の大きな製品の開発に取り組める。
- ②チームで楽しく挑戦できる風土があること
→高い目標にチームで前向きに取り組める環境・雰囲気がある。
- ③個人の成長を後押ししてくれる環境があること
→海外研修や留学などの精度が充実しており、かつ実際に活用の事例も多数ある。

現在の仕事内容

宇宙事業の新事業推進担当として、月面インフラや小型人工衛星開発プロジェクトの取り纏めを実施。技術面では全体システム開発に携わりつつ、社内外の仲間との連携を重視しながら事業開発も推進している。新たなビジョンに向けて、チームで自発的に考え行動し、小さな成果を積み重ねながらプロジェクトが認められ成長していく過程に大きなやりがいを感じている。挑戦の積み重ねが未来の宇宙事業を形作っていく。

経歴

2011年～2014年

→ロケットエンジン電気系の設計担当として、圧力センサや技術実証エンジンコントローラの設計開発を担当。

2015年～2020年

→LE-9エンジン電気系の設計担当として、開発全フェーズを経験。

2021年

→会社制度を活用し、米国へMBA留学。

2022年～現在

→宇宙事業の新事業推進担当として、輸送系、探査系、衛星系の新規プロジェクトの推進を担当。

職場環境

宇宙分野に限らず、多種多様な製品の開発実績が集積している、世界的にも珍しい企業・職場だと思います。それらを組み合わせる新しい価値・製品を送り出すことに挑戦できる点は非常に魅力的。

氏名 **村田 洸一**

【2025/4/1時点の所属】

防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 飛昇体技術部 射撃管制システム設計課



事業分野

航空・宇宙

職種

設計

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

2014年



装備品開発の
プロフェッショナルを目指して
日々の業務に取り組んでいる



自身の成長と国家への貢献

入社動機

- ①社会貢献に繋がること
→国防に大きく貢献している。
- ②世界トップクラスの製品・技術を有すること
→航空・宇宙・防衛の分野で社会をリードしている
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与や福利厚生が充実している

現在の仕事内容

誘導弾システムにおける発射プラットフォームの設計を担当している。国防に欠かせない装備品を設計し、具現化することにより、自国の安全保障に貢献できたと思えるときにやりがいを感じる。

経歴

2014年～2017年

→誘導弾システム(機種A)の量産事業および社内研究開発に従事。発射プラットフォームの設計を担当。

2017年～2021年

→誘導弾システム(機種B)の開発試作事業に従事。発射プラットフォームの設計を担当。

2021年～

→誘導弾システム(機種C)の開発試作事業に従事。発射プラットフォームの設計を担当。

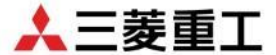
職場環境

国防に欠かせない装備品の開発をしているという自覚を持ち、真剣に業務に取り組む仲間がいること。また、5人家族が生活に困らないレベルの給与や福利厚生が整っている。

氏名 **西村 至人**

【2025/4/1時点の所属】

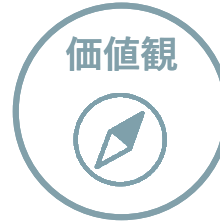
防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部 飛昇体電子装備設計課 支援装備チーム



事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2015年



日本の防衛装備品開発の
専門家に



自分が成長し、その結果、
より良い製品を世の中に送り出す

入社動機

- ①業界トップであること
→実際に仕事にしなければ、見ることも触れることもできないような製品の開発に携わってみたいから

現在の仕事内容

国益に直結する事業に携わることができるという強い意義を感じており、日々の業務に大きなやりがいを持って取り組んでいる。

経歴

- 2015年～2022年
→航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部 ソフトウェア設計課
で指揮統制ソフトの設計・開発に従事。
- 2023年～2025年
→航空機・飛昇体事業部 電子システム技術部 飛昇体電子装備設計
課で飛昇体の電装品設計に従事。

職場環境

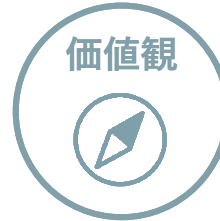
技術的に正しいことであれば、年次や立場に関わらず誰もが認めてくれる風土がある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2015年



戦闘機内部の装備機器の 専門性を高める

空調システムにとどまらず、戦闘機内部の装備機器について専門性を広げていきたい。



見返りを求めない

目先の見返りにとらわれず、自分がやれることを精一杯することで、結果は自然とついてくると考えている。

入社動機

- ①航空機開発に携われること
→国内有数の航空メーカーであり、航空機開発に携われる
- ②社会貢献に繋がること
→インフラや防衛事業など、社会への貢献度が高い事業を展開している

現在の仕事内容

戦闘機の空調システムについて、協業する海外メーカーと連携しながらシステムの設計を進めている。開発では、これまでと同じ問題ではなく、日々新しい問題に取り組むため、自身の成長につながると感じる。

経歴

- 2015年～2016年
→運用中のF-15戦闘機の空調維持設計を担当。
- 2017年～2021年
→戦闘機への搭載実績が数少ない空調システムの研究開発を担当。
- 2022年～
→次期戦闘機の空調システム開発を担当。

職場環境

職場は男性が多い実情はあるが、育児など家庭の事情にも配慮があり、フレックス制度を活用して柔軟に勤務している印象。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	電気・電子	新卒	2015年



H3ロケットによる社会貢献

既存のシステムに加え、新たな電子機器開発やコスト削減などの業務を通じて、世界と戦えるロケット開発を実現し、より広い地域への社会貢献に貢献する。



守破離

先人たちが築き上げてきた偉大な功績を裏切ることなく、また、あぐらをかくことなく、常に新たなアイデアを考案して進化していくことが、事業を成長させるために最も必要なことであると考えている。

入社動機

- ①ロケットに関われること
→H3ロケット開発など、幅広い宇宙機器に関する事業を行っている
- ②宇宙業界の中でトップクラスの企業であること
→宇宙事業においてトップの売上実績がある
- ③社会貢献できること
→ロケット打ち上げによって供給される衛星サービスを通じて社会に貢献できる

現在の仕事内容

H3ロケットの装備品の飛鳥工場や打ち上げ射場（種子島）での機能試験対応およびトラブルシュートを実施しており、現場やメーカーなど多くの関係者ととも問題解決を進めている。H3ロケットのさらなる性能向上に向け、電気系システムの取り纏めを実施。自身の構想がロケットシステムに反映される可能性もあり、責任も大きいですが、その分非常に大きなやりがいを感じる。ロケットの打上げの瞬間は特に感慨深い。

経歴

- 2015年～2024年
→航空機製造部にて戦闘機の生産管理に従事。防衛省向けの製品の生産工程の改善、工期短縮及びコスト削減を担当。
- 2024年～
→宇宙事業部にてH3プロジェクトの開発に従事中。

職場環境

休暇が取りやすい環境である。祝日休みに加え有給休暇や各種休暇制度も充実しており、働きやすい。また、フレックス勤務制度により柔軟な働き方が可能。

氏名 **山田 晋太郎**

【2025/4/1時点の所属】
三菱重工航空エンジン株式会社 技術部 エンジン設計課

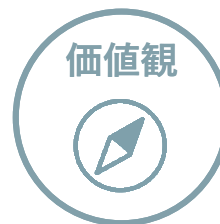


事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	機械	新卒	2016年



設計と熱分野のスペシャリストへ

複数製品の経験を活かし、機械設計・熱システムのプロフェッショナルに



一期は夢よ ただ狂へ

「人生は夢のように短いので、狂ったように頑張りましょう」という言葉。怠けてしまったり、諦めてしまったりすることがあるからこそ大事な言葉と感じている。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→複数の事業分野で世界トップクラスの製品・技術を有しており、技術力の高い会社である
- ②自身の専攻を活かせること
→大手機械系メーカーで多数の製品を設計・製造しており、機械系として幅広い分野に挑戦できる
- ③社員の人柄、社風に魅力を感じたこと
→個性がありながらバランスの取れた社員が多く、幅広い人材を受け入れる度量がある

現在の仕事内容

次世代航空エンジンの部品の製品寿命を割り出すために時々刻々の温度分布を予測している。試験と解析の双方のアプローチすることで、より正確にエンジンで起きている物理現象を再現。想定外の事象が発生することもあるが、社内外の各部署と協力しながら一つひとつ確実に実現象の究明に向けて進めている。航空エンジンの寿命評価は航空機の安全に直結する業務であり、常に緊張感を持って取り組んでいる。担当製品が日々安全に運行できていることにやりがいを感じる。

経歴

2016年～2022年

→三菱重工サーマルシステムズ株式会社 品質保証部にて業務用空調機の品質保証業務、アフターサービス・テクニカルサポート業務に従事。

2023年～

→三菱重工航空エンジン株式会社 技術部にて燃焼器ケースの開発・設計業務に従事。次世代エンジンの構造解析のための熱解析・設計を担当

職場環境

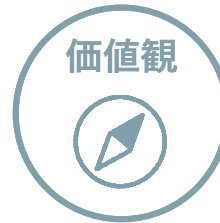
土日祝が休みであり、加えて長期休暇も長く、標準的な休日数が多い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	電気・電子	中途	2016年



開発のオールラウンダーに

社会貢献に貢献できる宇宙開発でロケットだけでなく新規プロジェクトも経験し、幅広いエンジニアになりたい。



信頼が道をひらく

これまでと異なる分野であっても、技術力に不安があっても、信頼関係を着実に築いていけば、周囲と協力しながら業務を進めることができる。

入社動機

- ①社会貢献があること
→宇宙開発を通じて新たな付加価値を創造でき、社会に大いに貢献できる
- ②給与や福利厚生水準が高いこと
→安定した収入、安定した雇用が得られる
- ③ロケット開発に携わることができる
→社会貢献度の高いロケット開発に携わりたいという強いモチベーションがあった

経歴

- 2006年～2014年
→電気機器メーカーS社 入社。パネル設計センター第二開発部にて開発職。主に中小型液晶ディスプレイの新規設計/開発業務に従事。
- 2014年～2016年
→某市役所 入職。営繕課にて公共施設の電気工事における施工監理業務に従事。
- 2016年
三菱重工業入社。
- 2016年～2024年
→宇宙事業部 技術部 電子装備設計課にて開発職。H3ロケット電気系地上設備のシステム設計/開発/射場作業支援を担当。
- 2024年～2025年
→輸送システム設計課に課名変更。業務内容は変更なし

現在の仕事内容

H3ロケット電気系地上設備チームのリーダーとして、種子島宇宙センターにおける設備改修、保全、射場整備作業に従事し、H3ロケット5号機までの打ち上げ成功に貢献。3号機では技術グループ全体のサブリーダーを担当した。さらに、多数機打ち上げ、次期基幹ロケット、運用DX化などのH3新規プロジェクトに参画。チーム員が担当する月面探査研究に関しても支援を行っている。長期間の準備を経て、ロケット打ち上げ成功の瞬間を関係者全員で共有できることが、この仕事の最大の醍醐味である。衛星を運ぶという責任の重い業務をやり遂げられたとき、大きなやりがいを感じる。

職場環境

ロケット打ち上げ前は連続勤務となることもあるが、打ち上げ後には有休をしっかり取得できる体制である。プライベートも大切にしてほしいとの思いから、休暇の希望があれば業務をシェアし、極力取得できるよう調整する。

事業分野

航空・宇宙

職種

設計

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2017年



宇宙事業を牽引する システムエンジニアに

ロケットの設計・製造に関する専門性を高めるとともに、プロジェクト全体を俯瞰できるマネジメント力も習得し、システムエンジニアとして宇宙事業に貢献したい。



視野を広く、志は高く

三菱の枠にとらわれず、世界に通用する技術者を目指したい。狭い価値観に偏らず、常にフラットな視点を大切にしている。座右の銘は“NO GUTS, NO GLORY”。

入社動機

- ①宇宙事業に携われること
→今後の成長が期待され、さまざまな挑戦ができる分野と感じた
- ②宇宙輸送の中核を担っていること
→日本の宇宙輸送の中心として、多様なノウハウを得られると考えた
- ③製造業ならではの実践的な学び
→研究職とも迷ったが、商用化の進む宇宙輸送分野では製造業の経験が活かせると判断した

現在の仕事内容

H3ロケット2段機体の推進系・艦装設計を担当。各コンポーネントの設計や配置検討、トラブル対応などに従事している。加えて、H3の目標であるコスト削減・量産化に向けた設計改善も手がける。自分の判断や設計がロケットの性能や品質に直結するため、常に責任感と緊張感をもって業務に取り組んでいる。成果が目に見える形で現れることに、大きな達成感がある。

経歴

2017年～2024年

→宇宙事業部 品質保証部にて、ロケットの品質保証業務に従事。検査プランの立案や検査技術の研究開発を担当。

2025年～

→宇宙事業部 技術部へ異動し、ロケット2段機体の艦装設計を担当。推進系や各コンポーネントの設計、トラブル対応、量産化に向けた改良業務などを担っている

職場環境

フレックスタイム制や在宅勤務制度が活用しやすく、柔軟に働ける環境が整っている。自分の業務スタイルに合わせた働き方ができる点が魅力。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	電気・電子	新卒	2019年



事業運営のプロに

火器管制システム設計者として専門性を高めるとともに、多様なプロジェクトを提案・管理できる力を磨き、事業に与えられたリソースを最大限に活用できる人材を目指している。



常に自身の成長を意識すること

毎回の業務で必ず前回よりも良い結果を出せるよう、改善しながら取り組むことを大切にしている。

入社動機

- ① 実際に働く社員の人が自身とマッチしていると感じた
→ OB訪問で出会った社員の印象が良く、一緒に働きたいと思った。
- ② 関わる製品がモチベーションアップにつながる
→ MHIでしか開発できないロケットや戦闘機といった製品に魅力を感じた。
- ③ 給与・福利厚生水準が高い
→ 国内平均と比較して好条件であると感じた。

現在の仕事内容

日本の自衛隊のニーズに合わせた戦闘機システム（特に火器管制システム）の検討・提案を担当。システム設計内容について客先と調整し、ニーズとの齟齬がないようすり合わせを行う。システム設計完了後は、詳細なハードウェア設計やソフトウェア仕様の設計も担当している。設計の裁量が大きく、自身の判断が製品にダイレクトに反映される点にやりがいを感じている。また、エンドユーザーであるパイロットから直接フィードバックを得られる機会があり、それが大きなモチベーションとなっている。

経歴

2019年～
→ 戦闘機に搭載する新規開発ミサイルのシステム設計に従事。日本の運用に最適化したオンリーワンのシステムをメイン担当として設計。

職場環境

広くて安価な社宅があり、職場への直通バスも利用できる。自由度の高い在宅勤務やフレックス制により、保育園の送り迎えなどもしやすい。若手ローテーション制度があり、ミスマッチを感じた部署から異動できる仕組みも整っている。有休消化が推奨され、男性の育休取得率も高く、取得しやすい環境である。ライフステージの変化にも柔軟に対応できる。

事業分野

航空・宇宙

職種

設計

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2020年



誘導制御系のプロフェッショナルからプロジェクトマネージャへ

自らの専門分野を極めたのち、幅広く飛しょう体システム全般を見渡せる人材になりたい。



失敗は成功のもと

失敗を恐れず、過去の知見も参考にしつつも自分の頭で考え抜き、自身で決断していきたい。

入社動機

- ①世の中に誇れる仕事内容であること
→すべての人々の幸福な暮らしの前提条件である、平和・安全に貢献できる会社であり誇りを持てる
- ②技術的難易度が高い分野であること
→極超音速で飛しょうする物体のような、技術的に最先端な製品を取り扱っている
- ③プライムメーカーとして設計をドライブできること
→プライムメーカーとしてシステムをとりまとめ、各サブシステムの仕様を取りまとめる活動ができる

現在の仕事内容

弾着精度・射程などのシステムの目標を満たすために必要なサブシステムの仕様を検討し、システムの成立解を探っていく。極超音速滑空弾は、各国がしのぎを削って開発を進めている分野であり、技術的難易度は極めて高い。だからこそ、自らの知恵とプロジェクトメンバーとの協働の成果により事業が進んでいく日々の過程にやりがいを感じる。

経歴

2020年～2023年

→航空機・飛昇体事業部飛昇体技術部にて、島嶼防衛用高速滑空弾の誘導制御系設計を担当。発射試験は初弾から連続で成功し、国力、抑止力の示威に大きく貢献。

2024年～2025年

→島嶼防衛用高速滑空弾の能力向上型について、システム設計を担当。

職場環境

有給休暇が取得しやすく、フレックス勤務など、柔軟な働き方可能である。各人の事情に合わせて調整できる点が素晴らしいと思う

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	航空・宇宙	新卒	2022年



タービン全体の最適化を 考えられるエンジニアに

隣接部品やタービン全体への影響まで見渡し、より俯瞰的な視点から価値ある設計ができるよう知見を広げていきたい。



曖昧な境界に歩み寄る

宙に浮きがちな業務や曖昧な課題にこそ向き合い、周囲と丁寧にコミュニケーションをとることで、組織としての推進力を高める行動を意識している。

入社動機

- ①航空・宇宙分野に関わる製品を扱っていること
→基幹ロケットや次世代戦闘機・飛昇体、航空エンジン部品など、航空・宇宙分野の製品を幅広く扱っている
- ②研究開発・設計・製造・試験と製品開発の流れ全体を扱っていること
→製品開発の流れ全体に大規模に関われる
- ③競争力があること
→プライムメーカーとして他社を先導して開発を進めている製品が多くある

経歴

2022年～
→三菱重工航空エンジン株式会社 技術部 エンジン設計課 次世代エンジンチームに所属。航空エンジンの低圧タービン部品に関する設計・開発業務に従事。タービン性能を左右するシール部品の機械設計、タービンへの新規計測機器の適用検討、将来エンジンのサイクル検討など、幅広いテーマを担当している。

現在の仕事内容

部品に求められる要求機能を整理し、過去事例の吸収を通じて設計の勘所を把握する。要求機能と、隣接部品とのインターフェースなど設計制約を踏まえて新たな構造案を洗い出し、有望な案についてはCAD・解析会社と連携して構造解析を実施する。解析結果に基づき、部品性能の向上量や寿命などの要求を定量的に確認する。
自身の仮説や考えが解析・試験により裏付けられ、設計に反映される瞬間にやりがいを感じる。

職場環境

年末年始、GW、盆休みなどの長期休暇が取りやすく、計画的にリフレッシュできる職場環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	設計	航空・宇宙	新卒	2023年



グローバルに活躍し、 開発の最先端に立つ

上司や後輩からも信頼され、安心して業務を任せられる存在を目指す。



聞くは一時の恥、 聞かぬは一生の恥

必要以上に時間を浪費しないためにも、積極的に周囲に働きかけ、先人の知恵を借りることが大事だと感じている。

入社動機

- ①日本トップクラスのモノづくり企業であり、航空宇宙産業に携われること
→日本を代表する大手企業であり、戦闘機開発やロケット開発に深く関われる唯一の存在である
- ②自分の「好き」を仕事にでき、仕事に誇りをもてること
→モノづくりが好きで、なかでも戦闘機やロケット、車などの設計開発に携われる点。また、国防を担う産業であり、世間からの注目度も高い
- ③チームワークやコミュニケーションを重視していること
→先輩後輩関係なく意見を言える風通しの良さと、コミュニケーションを重視する社風である

経歴

2023年～2025年
→航空機技術部 基礎設計課（旧 FX機体システム設計課）にて次期戦闘機の空力設計に従事。1年次は主にウェポンベイの音響設計を担当。それに加え、2、3年次は機体の荷重解析を担当。

現在の仕事内容

音響設計や機体の荷重解析を担当。音響設計では、機体周りの空気の流れ場によって発生する大きな音に対し、音を低減させる機体設計や、機体構造への影響を解析。荷重解析では、様々な条件下において、機体にどのような力が加わるかを解析し、そのデータを構造設計へインプットしている。
戦闘機の新規開発に初期段階から携わることができ、自分の設計した戦闘機が空を飛ぶことにやりがいを感じている。世界の最先端の技術を駆使してグローバルに活躍し、ここでしか得られない経験を積むことができる。社会からの注目度も高く、国防を担っているという誇りを持って業務に取り組んでいる。

職場環境

非常に低価格で利用できる社員寮や家賃補助制度が整っており、公私ともに充実した日々を送ることができる。また、新人のうちから海外出張の機会もあり、グローバルに活躍できる環境である。

事業分野

航空・宇宙

職種

設計

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2023年



飛しょう体設計のプロに

弾だけではなく、地上装置もわかるオールラウンダーな技術者を目指し、飛しょう体開発全体を見ることができたい人になりたい



意志あるところに道は開ける

入社動機

①国防の最前線に貢献できること

→国防の最前線を守る戦闘機を作れる企業はここだけ。また同じく最前線にて抑止力として貢献できる飛しょう体を最も多く設計している企業である

②同業他社の中で最も技術力があること

→重工系のトップとして国内の他社ではなく世界と戦っていると感じた

現在の仕事内容

現在開発中の飛しょう体の構造設計をしている。主に耐熱構造の設計を担当として行っており、検討した耐熱構造のデータ取得のために加熱試験の計画から供試体組立、試験対応を行っている。自分が設計したものが形になり、将来的に製品として部隊に納められ、国防の最前線で抑止力として活躍してくれることややりがいを感じている。

経歴

2023年～2025年

→航空機・飛昇体事業部飛昇体技術部にて極超音速誘導弾の耐熱構造設計に従事。これまでの機種にはない過酷な熱条件に耐えられるシール手法の検討及び試験を担当。

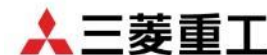
職場環境

若手に経験を積ませようとしてくれる風土があり、成長の機会が多い。また、フレックス勤務や在宅勤務もある程度活用できるため、育児と両立しながらでも働くことができる環境である。

氏名 **北村 則行**

【2025/4/1時点の所属】

防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 航空機製造部



事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2000年



メンバーが個々の能力を発揮し、
チーム力を最大化する組織づくり

皆が楽しくやりがいを持ち、社会に貢献できる環境を目指している。



意味と意義を考え前向きに楽しむ

どんな仕事も一人で成し遂げられない。個々が優れていてもチームとして連携し、総力を高めることが大切だと実感している。

入社動機

①航空宇宙に関わるモノづくりに携われる

→航空宇宙分野におけるリーディングカンパニーであり、他では経験できない仕事や世の中の発展に寄与できる

現在の仕事内容

部内のデジタル推進やシステム開発を牽引。困難に直面してもメンバー全員で知恵を出し合い解決することにやりがいを感じる。開発したシステムが実際に稼働し実用化された際には大きな達成感がある。

経歴

2000年～2004年

→名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工作部で防衛回転翼機の製造ラインスタッフを担当。

2004年～2011年

→同部で部品物流改善や物流システム開発、物流センター立ち上げを担当。

2009年～2011年

→製造部にて部内運営、操業・人員計画に従事。

2011年～2014年

→防衛航空機事業部企画Gで事業企画・管理を担当し、新機種工場のリニューアル計画取りまとめを実施。

2014年～2016年

→同事業部航空機製造部で部内運営や操業・人員計画全般を担当。

2016年～2018年

→航空機・飛昇体事業部航空機製造部でF-15整備部門の課長を務める。

2018年～2021年

→グループ会社企画部に出向し、運営・経営全般に携わる。

2021年～2023年

→航空機・飛昇体事業部航空機製造部でF-35生産・整備部門課長を務める。

2023年～2024年

→同部の生産管理・部内運営全般部門課長を担当。

2024年～

→同部次長としてデジタル推進などを担当。

職場環境

戦闘機やヘリコプターの生産現場や飛行を見ることができる。リフレッシュ休暇や有給休暇も取得しやすい風土が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	機械	新卒	2003年



製造ライン構築の第一人者に

「新しいラインをつくるなら宮原さんに相談しよう」と言ってもらえるような、現場で頼られる存在を目指している。



有言実行と発信の大切さ

言ったことを必ずやり遂げる姿勢が、信頼につながると考えている。また、自分の考えを発信しなければ周囲に伝わらないため、まずは言葉にすることも大切にしている。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術に携われること
→航空・宇宙分野で高い技術力を持ち、グローバルに競争力がある
- ②給与や福利厚生の水準が高いこと
→大手メーカーとして、安定した待遇と働きやすさを備えている

経歴

- 2003年～2018年
→民間航空機エンジンの部品製造に従事。タービンブレードの製造技術開発や、製造ラインの自動化・IoT導入に取り組み、現場の係長として運営管理を担う。
- 2019年～2023年
→長崎の新拠点立ち上げに参画し、現場課長として新組織の運営とライン構築を推進。
- 2024年～
→小牧北製造部 計画課 課長として、生産準備・設備計画をとりまとめる業務を担当。

現在の仕事内容

現在は、小牧北製造部にて、生産準備および設備計画のとりまとめを担当している。これまでに、製造ラインの構想から立ち上げまでを主導した経験を活かし、設備導入や工程設計、進捗管理を実施。各部門との連携を図りながら、効率的で柔軟な生産体制の実現を目指している。構想段階から携わった製造ラインが、実際に稼働し製品を生み出す瞬間に、大きな達成感を感じる。ものづくりの根幹に関わっている実感が、日々の原動力となっている

職場環境

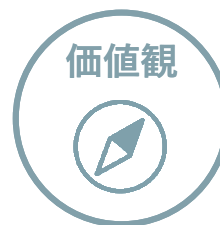
航空エンジンを扱う業務のため、事業全体に「空の安全・安心を支える」という強い使命感がある。全社的にその方針がブレることなく貫かれており、誇りを持って働ける職場だと感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	金属・材料	新卒	2006年



「聞けばなんとかなる」と
言ってもらえる人材に

「MHI防衛航空機のアフターサービスといえは」という存在
を目指し、顧客運用や製品特性及び機体システムと関連法
制への専門性を特化させていきたい。



誠心誠意・世のため人のため

仕事の相手は常に人。相手や組織の利害をくみ取り、最適
解を導く努力を怠らない。与えられた職責を全うすること
で、世のため人のために貢献する。

入社動機

- ①国家を支える大きな使命の下、仕事ができること
→航空業界及び防衛関連製品に関心があり、国内シェアNo.1で多数の
製品群を有している
- ②世界の航空業界の大手企業と協業できること
→世界の航空関連メーカーと協業する機会が多い
- ③転職の機会が少ないこと
→転職が少なく、生活基盤・業務とも安定して過ごせる（希望すれば
転職も可能）

経歴

2006年～2023年

→航空機・飛昇体事業部 プロダクトサポート部において、主に固定翼防衛
航空機のアフターサービス事業に従事。半世紀近く運用される防衛製品
を安全かつ経済的に運用して行くための各種技術提案活動を担当。

2024年～2025年

→防衛航空機の製造修理部門のマネージャーとしてもものづくりの現場を統括。

現在の仕事内容

2023年まで航空機のアフターサービスや安全・経済的運用への技術提案
を担当。顧客への説明と国家予算の取得から始まり、無事MHIと契約さ
れ、実機適用まで実現したときにやりがいを感じる。

現在はものづくりの分野に従事。発生する各種問題にあらゆる知見を投
入し、品質・コスト・スケジュールを損なうことなく製品をお客様へお
届けできたときにやりがいを感じる。

職場環境

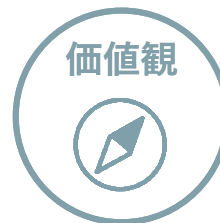
男性社員も育児休業を取りやすい環境で、自身も2度取得した。住宅補
助制度は、单身にもファミリーにも手厚く、かなりの自由度をもって住
まいを選択できる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	機械	新卒	2010年



ものづくり設計の専門家に

さまざまな要素技術を結集し、より良いものづくりを実現できる技術者を目指している。



勇往邁進

これまで新技術の製造プロセス確立に向けた取り組みを通じて、真剣に考え抜き行動すれば、仲間が共に挑戦してくれることを実感した。

入社動機

- ①航空機という魅力的な製品に関われる
→航空機は高度な技術と精緻なものづくりが求められる製品であり、その開発・製造に携われる点に強く魅力を感じた。豊富な経験と高い技術力を持つ会社であることも、入社決め手となった
- ②ゼロからの製品開発に挑戦できる環境
→新機種開発や新技術獲得に向けた研究開発が活発に行われており、自ら企画・検証しながら製造プロセスを構築できる環境に魅力を感じた。ものづくりの根幹から関われる点にやりがいを感じている

現在の仕事内容

新たな防衛航空機開発において、3か国協業による設計・製造エンジニアとの連携業務に従事。関係者と連携し、構想設計段階から量産を見据えた機体開発業務を推進している。

経歴

- 2010年～2015年
→名古屋航空宇宙システム製作所 部品工作部 コンポジット課にて、航空機複合材部品の製造に関わるスタッフ業務に従事。品質・コスト・納期の各種改善活動を担当し、後半は新たな民間航空機開発にも参画。
- 2016年～2023年
→防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 航空機製造部 生産技術課へ異動。新たな防衛航空機の研究開発に従事し、新技術の製造プロセス確立を担当。
- 2024年～
→同部門にて新たな防衛航空機開発に従事。3か国の関係者と連携し、構想設計段階から製造担当として開発作業に取り組んでいる。

職場環境

有休を取得しやすい職場風土があり、メリハリを持って働ける点が良いと感じています。また、部門独自で英会話学習費用を補助しており、スキル向上を後押ししてくれる環境が整っています。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	その他	新卒	2010年



民間機製造のスペシャリストに

調達から部品製造・組立まで、民間機製造に関する幅広い知識を身につけたスペシャリストとして活躍したい。



信頼・全体最適・正確さを重視し、公平かつ責任を持つ

Fairであることを大切にし、丸投げせず自ら付加価値を加える「フィルター役」としての責任を果たすことを意識している。

入社動機

- ① スケールの大きい製品に携われること
→日本のトップメーカーで、スケールの大きな航空機に携われる点に魅力を感じた
- ② モノづくり（生産・製造）に携われること
→モノづくりの中でも生産・製造の現場に携われる部署に、採用時点でマッチングされる点が良かった
- ③ 自身の専攻（機械加工）を活かせること
→航空機製造には多くの機械加工技術が用いられており、専攻分野を活かせると考えた

現在の仕事内容

顧客・製品ともに新規となるプロジェクトの立ち上げに携わっており、方針や役割の設定、部品手配、製造、顧客監査対応など幅広い業務を、関連部署と協力しながら進めている。社内でも前例の少ない案件であるため、自ら道筋を切り開く「先駆者」としての役割を果たしている点にやりがいを感じており、製品の出荷など成果を直接実感できることが大きなモチベーションとなっている。

経歴

- 2010年～2012年
→製造現場スタッフとして鋼材部品の生産改善に従事。現場改善を通じて基礎的な製造技術や現場対応力を身につけた。
- 2012年～2018年
→海外調達を担当。北米のサプライヤからの部品調達業務に従事し、2014年～2018年の4年間は米国に駐在。現地での調達・交渉・品質対応を通じてグローバルな調整能力を磨いた。
- 2018年～2021年
→生産計画・管理業務に従事。航空機特有の生産管理に携わるとともに、MHICAへの生産移管にも関与し、スケジュールや体制構築をリードした。
- 2021年～2022年
→社外へ派遣され、自動車部品の生産計画・管理を担当。異業種での経験を通じて業務の幅を広げた。
- 2022年～現在
→エアバスプロジェクトの立ち上げを担当。新規プロジェクトの方針策定から製品出荷までを一貫して管理し、プロジェクトリーダーとしての経験を積んでいる。

職場環境

民間機セグメントには優秀な人材が多く、風通しの良い職場風土がある。特に現場を持つ工作部では人とのつながりを重視しており、厳しい事業環境下でも個々の業務範囲が拡大し、挑戦しがいのある環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	金属・材料	新卒	2015年



特殊技能・スキルを持つ人が活躍できる職場をつくる

優秀なスキルや能力を持つ人が多いため、その力が最大限発揮されるような職場環境をつくっていききたい。



多馬力

個人の成長も大事だが、一人ですべてをやり切ることはできないため、適宜、得意な人に頼りながら全体の力（多馬力）を使って、事業全体を進めていくことが大事だと考える。

入社動機

- ①製品の魅力があり、各業界でシェアが高い
→航空機関連製品を扱っており、個人的な興味関心に一致していた
- ②公私のバランスがとりやすい
→祝日休みかつ長期休暇、休暇制度などもありプライベートを充実させやすい
- ③職場が極端な田舎でない
→勤務地が愛知県名古屋市であり、終業後のプライベートも楽しめる
- ④専業メーカーでなく、様々な事業体がある
→事業部間の異動も可能なため、入社後も多様な選択肢を見ながら働ける

経歴

- 2015年～2021年
→民間機セグメント工作部部品製造課にて、金属部品の生産ライン立ち上げや業務改善に従事。生産技術面と生産管理面の両方を担当。
- 2022年～2023年
→民間機セグメント工作部工務課にて、業務改善の延長で社内業務のデジタル化推進やシステム改善業務に従事。ハードからソフト関係へ業務幅を広げる。
- 2024年～
→同課にて派生型機開発のプロジェクト担当。設計～製造まで全体を見ながら開発プロジェクトを経験。

現在の仕事内容

客先や製品ごとのプロジェクト全体の生産計画や、プロジェクト全体が円滑に回るように核関連部門とのルール決めや調整をしている。
黙々と作業するよりも対話しながら進めることを好むタイプであり、関連部門との調整を通じて、各部門の良いところを組み合わせたような解決策がでると大きなやりがいを感じる。また、事業の全体感が見渡せるポジションであることも魅力である。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務への理解があり、特に子供ができてからはその柔軟さに助けられている。また、独身寮に加え、一般の賃貸に対しても住宅補助制度が整備されていたり、挑戦したい人に向けて社内公募制度があったりと、良い環境だと感じている。

事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2016年



宇宙分野において新しいものでも
開発できるスキルを習得したい



広範囲な知識

上流部門からのインプットや下流部門へのアウトプットがどうあるべきかが判断するためには、担当業務に限らず、全体を理解することが重要だと考える

入社動機

- ①モノづくりに携われること
→大手メーカーであり、技術力が高い
- ②ロケット等の宇宙分野に関係すること
→基幹ロケットのプライムである

経歴

- 2016年～
→ロケット用バルブ、人工衛星、人工衛星用スラスタに関する生産技術業務に従事。
- 2022年～
→宇宙ステーション向け環境制御生命維持装置のプロジェクト業務を担当。
- 2024年～
→宇宙ステーション向け環境制御生命維持装置および月探査機に関する生産技術業務に従事。

現在の仕事内容

宇宙機器類の組立・試験工程の生産技術業務を担当。設計部門から出てくる図面等の情報を基に工法、治具を検討しつつ、必要に応じて図面修正をしてもらい組立しやすい工法にしていく。実際の組立作業にも立会い、作業者の支援やトラブルシュート塔を実施し、納入に向け、組立を完了させていく。やりがいを感じるのは、計画した手順や治具が狙い通り機能し、製品として形になるなど、自分が考えた方法がうまくいったとき。また、生産トラブルが発生した際、関係者と迅速に対策を講じ、限られた時間内で最適な解を見出し、スケジュールを守り切ったときに達成感を得る。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務への理解があり、非常に働きやすい。また、男性の育児休業取得率も高い点も良いと感じる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	機械	新卒	2016年



日本の宇宙事業の競争力を高める技術を

ロケット打ち上げの低コスト化・高頻度化を実現する新技術の導入・工法開発を通じて、海外に引けを取らない日本の宇宙事業づくりに貢献していきたい。



信頼と挑戦が成長を生む

人との信頼関係を築き、チームでの業務推進を大切にしている。また、失敗を恐れずに挑戦し、そこから得た経験を次の成功につなげる姿勢を大事にしている。

入社動機

- ①宇宙事業に携われること
→日本の宇宙産業を牽引する大型ロケットの開発に関われる点に惹かれた。
- ②ものづくりに関われること
→設計から製造、打ち上げまでを一貫して担う唯一の企業である点に魅力を感じた。
- ③雰囲気
→OB訪問などを通じて、社員の雰囲気の良さを実感できた

現在の仕事内容

H3ロケットの組立工法改善により、低コスト化・リードタイム短縮を図るほか、トラブル対応や手順書・治工具整備を実施。構造組立の生産技術グループリーダーを担当。また、再使用ロケット「CALLISTO」では、組立手法や治工具の構想などを検討。H3ロケット高度化プロジェクトや、次期基幹ロケット開発では、高頻度打ち上げに向けた生産ライン構築や再整備手法の開発を担う。

経歴

2016年～
→宇宙事業部 製造・発射整備部に所属。H3ロケットの組立工程の開発や自動組立ロボットの導入など、新技術開発にも携わる。その後、再使用ロケット「CALLISTO」の開発、H3ロケットの高度化プロジェクト、次期基幹ロケット開発など、複数の先進的プロジェクトをリード。各プロジェクトにおいて、生産技術グループのリーダーを務め、工法開発・組立コンセプトの構築・生産ライン整備などを推進している。

職場環境

有休取得がしやすく、育児との両立にも理解のある職場。自身も第二子の出産に際し、約1ヶ月の育休とフレックス勤務を活用しながら、家庭と仕事を両立できている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	機械	新卒	2018年



目指せ工場長

新しい工場立ち上げのプロジェクトマネージャーになりたい



幸運の女神には前髪しかない

飛昇体事業の増産に伴い、新たな業務が次々と生まれている今こそ成長の絶好のチャンスと捉え、忙しい中でも色んな活動に積極的に参加し、経験を積んでいきたい

入社動機

- ①携わることが容易ではないビッグプロジェクトに関われること
→入社当時はMSJと呼ばれる国産の民間旅客機開発を行っており、旅客機や防衛航空機などの製品開発をTier0として行っている国内で数少ない会社である
- ②空を飛ぶ製品に憧れていたこと
→防衛航空機や飛しょう体を自社開発しており、開発・製造困難な製品の実現に向けてトライしている

経歴

- 2018年～2021年
→航空機・飛昇体事業部 飛昇体製造部にてヘリコプターや戦闘機のエンジン部品の維持プランニングに従事。機械加工や接合工程、表面処理など多様な工程を担当。
- 2021年～2023年
→航空機・飛昇体事業部 飛昇体技術部にて、飛しょう体用ジェットエンジンの開発に従事。主に燃料ポンプの改良設計、圧縮機や燃焼機の要素試験装置を担当。
- 2023年～2025年
→航空機・飛昇体事業部 飛昇体製造部にてジェットエンジン用の新工場の検討に従事。新規導入の機械加工設備や機能試験装置等の設備仕様、レイアウト検討を担当。また、2024年からはDFM活動と呼ばれる製造性を考慮した設計改善との揃えに関わるSCM構築を担当。

現在の仕事内容

DFM活動として、製造目標値と試作結果から推測される量産時の製造実力値の差分を明らかにし、乖離がある作業工程に対しては、重点的に製造性向上の為の設計改善を行い、製造・設計・品証・総研など様々なメンバーと協力しながら進めている。また、SCM構築を担当。飛しょう体増産に伴い、これまでの個別プロジェクト管理型から統合プロジェクト管理型の生産計画の構築、ものの手配方法、物流倉庫構築など関連会社と連携して崇信している。製品開発や新工場の立ち上げ、SCMのデザイン構築など、新しいことにたくさんチャレンジできる。

職場環境

海外研修や越境研修など、自部門以外の分野に触れる機会が多く用意されており、さまざまな経験を通じて成長することができる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	航空・宇宙	新卒	2019年



航空エンジン業界の 一流整備ショップを目指す

エンジン整備の業務を幅広く積み、業務効率化や国内外の相手との技術開発を通して、会社を成長させたい。



"なぜ"を大事にすること

仕事の中で生じた「なぜ？」を考え、上司や同僚との議論によって知見を積むことを意識している。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→航空宇宙のみならず世界トップクラスの技術力のある分野が多い
- ②仕事の中で海外の企業と関われること
→海外の顧客やパートナーが多く、学生時代の留学経験が活かせる
- ③自身の専攻を活かせること
→国内で数少ない航空宇宙製品を扱うメーカーであり、自身の専攻を活かせる

現在の仕事内容

エンジン整備の機種担当マネージャーとして、社内の生産スケジューリングや海外顧客との調整を担当。

経歴

- 2019年～2024年
→三菱重工航空エンジン 整備技術課にて、エンジン整備の技術開発（機械加工、組立自動化、ショットピーニング等）に従事。特殊設備の導入から立上げまでを経験。
- 2025年～
→三菱重工航空エンジン 生産管理課にて、エンジン整備の機種担当マネージャーとして、社内の生産スケジューリングや海外顧客との調整を担当。

職場環境

世間から比較的堅いイメージを持たれている会社だが、特に航空エンジン部門は、上司から後輩まで適度な雑談を交えながら和気あいあいと仕事ができる。また海外出張も多く、多様な文化に触れる機会にも恵まれている。

氏名 **竹内 大**

【2025/4/1時点の所属】

宇宙事業部 製造・発射整備部 生産技術課 宇宙部品チーム



事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2020年



LE-9製造のスペシャリスト

現在、LE-9エンジンの3D造形においては、「竹内に聞け」と言われる状況を確立している。今後は他の製造技術においても同様のポジションを築き、最終的にはLE-9エンジンの製造に関するあらゆる課題について、まず私に相談が来るような存在になることを目指している。



人間万事塞翁が馬

人生における出来事は、一概に幸福・不幸と判断できないと考えている。失敗が別の場面で役立ったり、逆に順調に進んでいたことが油断につながり痛い目を見ることもある。会社においてもミスをした際には落ち込むのではなく、次にどう活かすかを前向きに考えることを心がけている。

入社動機

- ①宇宙事業（特にロケット）に携われる
→宇宙事業、特にロケットの製造技術に携われることに強く魅力を感じた
- ②社員の人柄に惹かれた
→OBOG座談会やインターンを通じて、多くの社員と話す機会があった。他メーカーの社員と比較して、素直に「一緒に働きたい」と感じたことが入社を決め手となった

現在の仕事内容

日々進化する3D造形技術を柔軟に製造へ取り込むため、技術調査と現場導入を担当している。現場作業者と密にコミュニケーションをとり、コストダウン実現に向けた改善活動も推進している。

経歴

2020年～2021年

→LE-9エンジンの生産技術担当として配属。3D造形部品を中心に製造技術改善に従事。

2021年～2024年

→担当部品が年次ごとに増加し、現在はLE-9エンジンの内作部品全てを担当。熱処理、銅電鑄、溶接、機械加工、表面処理など、多様な製造技術において現場対応および改善活動に従事。

2024年～

→LE-9エンジン部品の製造整流化（滞留を防ぎ、スムーズに流す仕組みづくり）にも取り組んでいる。

職場環境

フレックスタイム制度により、出社時間は柔軟である。育児休業も非常に取得しやすく、自身も実際に利用したが、上司からは快く送り出され、「おめでとう」と祝福された経験がある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	生産技術・管理	航空・宇宙	新卒	2021年



世界に通用する ロケット開発の中心に

世界との競争に負けない基幹ロケットの開発に携わり、将来的には開発の中心を担う存在として活躍したい。



信頼される人間であること

仕事の能力や効率も大事なことだが、最終的には信頼できるかどうか大切である。「挨拶・謝罪・感謝」といった当たり前のことを当たり前にできる人であり続けたい。

入社動機

- ①宇宙開発に携われること
→H3ロケットの初度開発という、国内で唯一の大型ロケット開発に関われる
- ②規模の大きいモノづくりに携われること
→H3ロケットは国内最大規模であり、規模の大きいモノづくりに携われる
- ③インターンシップでの印象
→宇宙事業部のインターンに参加した際、先輩社員の熱意に触れた

現在の仕事内容

ロケットの構造組立における生産技術業務を担当。現場作業の工程設計や改善提案を通じて、製造品質の向上と作業性の改善を図っている。設計部門・製造現場と連携しながら、ロケットの完成に向けた技術的支援を行っている。

経歴

2021年～
→宇宙事業部 製造・発射整備部 生産技術課にて、H3ロケットの構造組立に関する生産技術を担当。設計・製造・現場間の調整や作業工程の最適化、改善提案などを通じて、ロケット製造の効率化と品質向上に貢献している。

職場環境

福利厚生制度が整っており、有休取得・在宅勤務・育休など、社員の権利を堂々と行使できる風土がある。宇宙事業部には宇宙に憧れて入社した社員が多く、同じ熱量を持った仲間たちと働けることが日々のモチベーションになっている。

氏名 **古川 歩夢**

【2025/4/1時点の所属】
航空機製造部 F-15課 修理二係



事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2021年



現場からの安心の窓口になる



現場と設計をつなぐ窓口となる

入社動機

- ①安定した企業であること
→長期的に働ける安定性を重視し、大企業である
- ②航空機に携われること
→ものづくりの中でも特に高度な技術を要する分野で働きたいと考えた
- ③防衛産業の日本トップ企業であること
→社会的使命が明確であり、防衛航空機という国を支える重要な領域に携わる意義を感じた

経歴

2021年～2024年

→防衛航空機の生産技術・研究開発に従事。

2025年～

→次期戦闘機に関するスケジュール管理業務を担当。

現在の仕事内容

開発全体の進行を把握しながら各部署と連携し、スムーズな遂行を支えている。実際に自らが携わった航空機が飛び立つ場面に立ち会うことで、大きなやりがいと責任感を実感している。

職場環境

フレックスタイム制が導入されており、柔軟な働き方が可能である。部署内は明るく親切的な雰囲気、相談や連携がしやすい環境が整っている。

事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2022年



整備全体のスペシャリストへ

まずは「エンジン試験と言えば自分」と言われる存在になることを目指し、その後、整備全体を見渡せる専門家として活躍したい。



モノ・ヒトに現場の答えがある

業務で迷ったときは、必ず現場に行きモノを見る、ヒトに聞く。その場で得られる情報が、机上では見えなかったヒントや答えに繋がると考えている。現場に向き合う姿勢を大切にしている。

入社動機

- ① 航空機に関わり、製品全体を見られる
→航空エンジンを通じて航空機に携わり、エンジン全体を見ることができる整備事業に魅力を感じた
- ② 社会貢献に繋がる仕事
→どの事業でも社会を支える重要な役割を担える点に惹かれた
- ③ 福利厚生と働きやすさ
→大手メーカーとして給与・福利厚生が充実しており、安心して働ける環境だった

現在の仕事内容

エンジン試験で発生したトラブルに対し、エンジン構造・制御・性能など多角的な観点から原因を分析し、現場（組立・検査・試験）や他部門と連携しながらトラブル解決に取り組んでいる。また、エンジン試験前後の工程改善にも携わり、生産効率向上に向けたレイアウト変更や治工具設計も担当。過去に前例のないトラブルを自らの判断で解決し、決められた納期内に収めたとき、大きな達成感を感じる。さらに、空港で自分が関わったエンジンを搭載した航空機が飛び立つ姿を見るたびに、この仕事に携われて良かったと実感している。

経歴

2022年～

→整備部にてエンジン試験の生産技術を担当。トラブル発生時のトラブルシュート方針の検討をはじめ、生産台数増加に向けたエリア改善や治工具の検討に従事。現場や他部署と連携しながら、日々エンジン試験の品質と効率向上に取り組んでいる。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務にも柔軟で、非常に働きやすい職場。年齢が近いメンバーが多く、日々活発に議論・相談ができる雰囲気がある。一方で、困ったときにはベテラン社員も頼りになる心強い存在。

事業分野

航空・宇宙

職種

生産技術・管理

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2023年



どんな場面でも対応できる マルチ人材に

生産技術の知識をさらに深めるだけでなく、どのような場面でも柔軟に対応できる、幅広く活躍できる技術者を目指している。



世界基準で業務を見つめる

自分の業務を評価する際は、国内だけでなく世界基準で見つめることが重要だと考えている。航空エンジンの整備業務は、常に海外の整備工場と競い合っており、他工場のやり方や効率的な手法を学ぶことも不可欠。世界に目を向けることで、自社の競争力を高めるだけでなく、自分自身の成長にもつながると感じている。

入社動機

- ①航空・宇宙に関する業務に携われること
→H3ロケット、航空機主翼、各種エンジン部品の製造・整備など、世界トップクラスの技術力を有しており、憧れの業界であると感じた
- ②社会貢献につながること
→航空・宇宙分野にとどまらず、火力・原子力発電所や物流、冷熱分野など、社会インフラを支える幅広い事業を展開している点に強く惹かれた
- ③風通しの良い職場環境
→リクルーターの印象が非常に良く、実際の現場でも上下関係に縛られず、仲間と協力しながら仕事を進める雰囲気があることに魅力を感じた

現在の仕事内容

航空エンジン整備業務において、生産技術として整備指示書の作成を担当しています。分解・組立・検査といった各工程で、現場からの技術的な問い合わせに対応しながら、作業手順や工法の改善を進めています。海外のVendorと連携し、技術的な質問や調整業務も行っています。さらに、修理・検査部品の記録システム構築に関する研究開発、新規設備の仕様検討、既存設備の維持管理にも取り組んでいます。

経歴

2023年～2024年

→三菱重工航空エンジン整備部にて、航空エンジン整備の生産技術業務に従事。分解・組立・バランス作業の現場対応、工法改善、航空エンジン整備指示書の作成を担当。

2025年～現在

→引き続き航空エンジン整備部にて生産技術業務に従事。検査工程の現場対応、検査業務改善、海外Vendorとの技術窓口業務、修理・検査部品の記録システム構築、新規設備導入の仕様検討、既存設備の維持管理、研究開発案件にも携わる。

職場環境

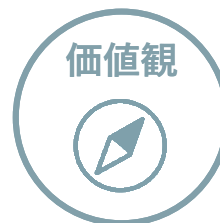
福利厚生が非常に充実しており、住宅補助などの金銭面の制度に加え、男性の育児休業取得率も高いです。フレックス勤務や在宅勤務への理解もあり、柔軟で働きやすい環境が整っています。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	品質保証	情報	新卒	2010年



飛しょう体（ミサイル） 開発の専門家に

ミサイルシステム、品質保証、品質マネジメントシステムの分野で「まずは首藤に相談しよう」と頼られる人材を目指している。



常に目的を意識し、 自ら考え行動する

三現主義を実践し、率先して動く姿勢を大切にしている。「言うだけ」人間にならないよう、目的を明確に持ち、自ら現場に行き、行動することで、信頼を得られるよう努めている。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術に携われる
→高度な技術の結集が求められるミサイル開発に携われる、日本トップレベルの企業であることに惹かれた。子どもの頃から無人制御やロボット技術に興味があり、大学では水中ロボットを研究。その延長線上として空を自在に飛行するミサイルの開発に挑戦したいと考えていた
- ②人に魅力を感じたから
→就職活動中に会った社員の方々が非常に魅力的で、「この人たちと働きたい」と感じた。仕事のやりがいや会社の風土を楽しそうに語る姿、自由に意見を出し合える風通しの良さ、若手にも大きな挑戦の機会があることなど、多くの魅力に惹かれた

経歴

- 2010年～2012年
→入社後、弾道ミサイル対処シミュレーションソフトウェアの品質保証を担当。
- 2012年～2013年
→超音速ミサイル制御用ソフトウェアの品質保証。
- 2013年～2015年
→超音速ミサイル全体の品質保証（装備品・システムの試験・評価）。
- 2015年～2016年
→防空ミサイルの品質保証、発射試験対応（米国）。
- 2016年～2018年
→日米共同開発ミサイルの量産立ち上げ、輸出に対応した品質保証体制構築。
- 2018年～2020年
→加工部品・購入品の品質保証（加工法・測定法・検査法改善、統計的品質管理導入）。
- 2020年～2025年
→事業部全体の品質マネジメント（KPI設定、部門横断の改善活動推進、JIS Q 9100認証対応）。
- 2025年～
→多機種同時開発・大増産に対応する飛昇体の品質保証の取りまとめ。

現在の仕事内容

現在、事業部では前例のない規模の同時多機種開発と大規模増産に直面しています。これを品質面から支えるべく、品質保証体制の最適化に取り組んでいます。高い品質を維持しつつ、数十倍の製品数を製造するには、DXやAI活用による自動化・効率化が不可欠であり、その実現に向けた施策を全社的に推進しています。

職場環境

飛しょう体には極超音速のエンジン、ステルス性、長射程化、制御技術など、あらゆる最先端技術が詰め込まれており、技術者として最高のフィールドです。社内には分野ごとの専門家が多数在籍しており、相談しやすい風土があります。年間休日も多いうえに、有給は20日以上取得できるなど、福利厚生も充実しています。

事業分野

航空・宇宙

職種

品質保証

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2017年



航空宇宙業界の 品質保証の第一人者に

航空宇宙業界における品質保証分野で信頼される存在となり、確かな製品づくりに貢献していきたい。



1つの事象に対し 多様な立場で見る

異なる視点から見ることで、思いがけないリスクや本質的な課題に気づけると考える。

入社動機

①航空宇宙業界の第一線で働ける

→航空宇宙業界の中でも、国内トップクラスの技術力と売上規模を誇る企業であり、ロケットエンジンなどの最先端技術に携われる点に強く惹かれた

②製造業の現場で品質を支える使命

→設計から製造、検査まで一貫してモノづくりの現場に関わることで、品質保証という立場から製品の信頼性を担える点に魅力を感じる

現在の仕事内容

製品の安定供給を実現するため、不適合事象について部品加工から運用の各フェーズを通して分析を行う。設計、生産技術、製造現場と連携し、根本原因の特定および再発防止策の検討・実施を進めている。

経歴

2017年～2019年

→航空機・飛昇体事業部 品質保証部にて、国産飛昇体の品質保証を担当。量産品の品質管理、不適合分析、開発品の品質保証計画作成などに従事

2020年～

→同部署にて、ヘリコプタ用トランスミッションの品質保証を担当。量産・開発品の品質管理業務、不適合分析、品質保証計画立案を継続して実施

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務に対する理解があり、柔軟な働き方が可能。社内の部活動も活発で、業務以外の交流機会も豊富。条件次第では部活動の試合も出張扱いとなるなど、制度面の支援も充実している。

事業分野

航空・宇宙

職種

品質保証

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2017年



組織経営・事業経営に 取り組む技術者を目指して

技術者も最終的には人を動かし、組織や事業を論理的にマネジメントできる存在になることを目指している。



利他の心を育むこと

他者を助け、信頼関係を築くことが持続可能な社会を生み、健全なビジネスの起点となると信じている。

入社動機

- ①航空・宇宙関連企業であること
→ISSでの研究や、液体ロケット技術・与圧技術といった他社にはない独自技術に魅力を感じた
- ②技術者としてモノづくりに携われること
→理系修士として社会的にモノづくりに貢献したいと考えた
- ③誰もが知る企業であること
→国内外で体力のある企業であれば、興味のある分野で幅広い挑戦ができると感じた

経歴

2017年～2020年

→航空機・飛昇体事業部 購入・加工品質保証課 プロセス係／工務技術チームにて、飛昇体・液体ロケットエンジン・官需エンジンの表面処理（めっき・塗装）の品質保証を担当。

2021年～2024年

→航空機・飛昇体事業部 購入・加工品質保証課 工務技術チームにて、戦闘機・ヘリコプターの加工外注部品／購入品の品質保証業務に従事。

2025年～

→加工品・機器品質保証課 プロセス係にて、表面処理・熱処理の品質保証、非破壊検査、係運営に従事。

現在の仕事内容

航空・宇宙分野で扱われる特殊工程（社内・社外含む）の品質保証と管理、その管理組織の運営を担当。社内・社外問わず、航空・宇宙部品に適用されるすべての特殊工程を管理するため、幅広い最終製品に携われることが魅力。すべての製品に熱意と愛着を持ち、モノづくりに深く関与できる点にやりがいを感じている。

職場環境

ロケットエンジン・民間機エンジン・飛昇体の最終製品が間近にある工場で働ける。部品加工と組立工程が一拠点に集約されており、製品理解が深まる環境。春には工場内の桜や近隣の桃の花を楽しむこともできる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	品質保証	機械	新卒	2019年



パートナー会社の品質改善の 専門家に

海外メーカーと積極的にコミュニケーションをとりながら、海外調達品の品質向上に取り組んでいきたい。



ものづくりは一人ではできない

多くの人の協力で生まれる製品を、品質保証部として責任を持って届けることに誇りを持ち、日々業務に取り組んでいる。

入社動機

- ①航空関係の製造に携わることができること
→航空・宇宙業界の大手であり、世界トップクラスの技術を活かせる
- ②社員の雰囲気が自分と合っていること
→会社説明会等で関わった社員の方々の雰囲気に魅力を感じた
- ③仕事の中で海外の企業と関わること
→仕事の中で海外の企業と関わることができ、グローバルに活躍できる

経歴

2019年～2020年

→三菱重工航空エンジン株式会社品質保証部にて、民間航空機エンジン 燃焼器の品質管理業務に従事。工場内で製造している製品の品質向上に取り組んだ。

2021年～2023年

→同部署にて、民間航空機エンジン 燃焼器部品のSCM業務に従事。海外のパートナー会社の指導・品質向上に取り組んだ。

2024年～現在

→同部署にて、燃焼器部品のSCM業務に加えてプロセス改善や業務改善に従事。

現在の仕事内容

民間航空機の安全を支える品質管理業務を担当。社内製品の品質確認だけでなく、海外メーカー製品の品質改善にも携わる。海外サプライヤーや顧客との連携を通じて、チームで空の安全に貢献している。自ら関わった部品が実際に空を飛ぶことに大きなやりがいを感じる。また、海外出張の機会も多く、グローバルな環境で働ける点や、研修・講演会などを通じた新たな学びの機会が多いことも魅力の一つ。

職場環境

しっかり働いてしっかり休むことを大事にしているので、有休をとりやすい点はとても魅力的だと感じている。

有休を希望通りに使えるため、学生の頃より社会人になってからのほうが海外旅行にたくさん行っている。

また、周囲に育児休業を取得している男性が多く、これから子供を持つことを考えている自身としては、育児休業を取りやすい雰囲気がある点もとても有難い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	品質保証	金属・材料	新卒	2021年



周囲を巻き込んで業務を 遂行できる人材になる

協働を生み出す巻き込み力と推進力を高め、プロジェクトを牽引できる人材を目指したい。



真摯に人と向き合う

人との関わりが非常に重要であると考えているため、真摯に人と向き合うことを意識している。

入社動機

- ①社風が自身の価値観や働き方に合致していたこと
→インターンシップを通じて「人」の良さを感じた
- ②給与水準や福利厚生制度が充実していること
→大手メーカーとしての強みの一つである
- ③航空宇宙産業のリーディングカンパニーであること
→取り扱う製品の幅が広いため、幅広い経験や知見を得られる環境である

現在の仕事内容

品質改善の取り組みとして、要因調査から分析、対策、評価まで一連の工程を担う。なかでも要因調査および分析ではレーザー計測技術を活用するケースが多く、検査プランの立案からデータ取得・解析までを一貫して実施。
自身が作成した検査プランに基づいて要因調査実施されるため、活動の中核を担っていると実感できる点にやりがいを感じる。

経歴

2021年～2025年
→品質保証部 主翼品質保証課にてBoeing787の品質保証業務に従事。
品質改善活動やレーザー計測の検査手法プランニング、客先対応や監査対応などを担当。

職場環境

検定取得やTOEIC[®]などの自己啓発活動に対して、積極的に支援する環境が整っており、スキルアップに取り組みやすい。

事業分野

航空・宇宙

職種

品質保証

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2021年



品質改善のプロフェッショナルに

加工方法に精通し、現場での品質調査・原因分析・是正対策をスピーディーに実行できる人材を目指している。特に海外サプライヤの品質改善に貢献し、グローバルに活躍できるエンジニアになりたいと考えている。



スピードを最優先

仕事で最も大切にしているのはスピード。たとえ提出物が50点でも、まずは早く出すことを重視。期限までに修正を重ねることで最終的に100点に上げることができると信じている。

入社動機

- ①多部門と関わりながら進める仕事に惹かれた
→品質保証は多くの部門と密にコミュニケーションを取りながら業務を進める点に魅力を感じた
- ②人の良さに惹かれた
→インターンシップで社員と話す中で、雰囲気自分が合っていると強く感じ、「人の三菱」と呼ばれる理由が分かった。一緒に働きたいと思えたことが大きな決め手。
- ③勤務地と生活環境の良さ
→勤務地（小牧）と寮（大曾根）の立地が良く、名古屋から通って通勤がほぼないことも安心材料。名古屋で生活したいと考えていた自分にとって理想的な条件だった。

経歴

2021年～2025年

→MHI AEL品質保証部 製造品質保証課に配属。ケースの品質保証と品質改善リーダー、課の研究開発案件リーダーを担当。品質改善活動のリーダーとして、過去5年以上不適合が続いていた事象を改善。客先との交渉で図面の公差緩和を勝ち取り、納期短縮を実現。改善成果が評価され、三菱重工全体で「Best Innovation賞」、三菱重工航空エンジンで「社表彰」を受賞。現在は、MHIAEL初のAI量産適用活動を研究開発リーダーとして推進中。新たなシステムを構築する過程で、検討の組み立て方を考える楽しさを実感している。

現在の仕事内容

ケースの品質保証と品質改善リーダー、課の研究開発案件リーダーを担当。品質改善活動のリーダーとして、改善がうまくいき過去5年以上不適合が発生し続けていた事象を改善できたこと、客先から図面の公差緩和を勝ち取って納期短縮できた達成感はかなりやりがいになった。その結果、改善結果が評価され、三菱重工全体として表彰（Best innovation賞受賞）、三菱重工航空エンジンとして表彰（社表彰）を受賞することができた。研究開発のリーダーとしては、MHIAEL初となるAIの量産適用活動を実施中。新たにシステムを作り上げるためにはなにをどのように検討していくのかを考えていく楽しさがある。

職場環境

有給休暇が非常に取りやすく、直前の申請でも取得可能です。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	品質保証	機械	新卒	2021年



各所から頼られる 品証スタッフになる

確かな技術力と、関連部署との牽制と連携の両立を通じてプロジェクトを推進し、誰からも頼られる品質保証スタッフになりたい。



最後の仕上げまで抜かりなくやり切る

ロケット打上げ成功の裏には、部品一つひとつの確かな品質があります。僕たちはその品質を守る最後の砦。細かいところまでしっかり見て、トラブルがあれば逃げずに正面から向き合い、早く解決していく。地味でも地道に、最後まできっちりやり切ることを大切にしています

入社動機

- ① 大きなインパクトを持ち、社会を動かせる事業に携われること
→社会インフラ製品を中心に事業を展開し、社会生活を支える技術で貢献している点に魅力を感じた。宇宙分野でもロケット打上げを通じ、宇宙産業の基盤を支えている。
- ② 福利厚生が充実していること
→多様な働き方が推進され、ライフワークバランスがとりやすい環境であることも決め手だった。

現在の仕事内容

H3ロケット用液体ロケットエンジンの品質保証業務を担当。設計から製造、納入までの全工程において、品質が確保されているかを確認しながら、各関連部門と連携・牽制を行い、品質の維持・向上をリードしている。宇宙機器は「打ち上げたら修理ができない」ため、すべての工程で品質を積み上げ、確かな製品であることを確認したうえで出荷判断をしている。モノづくりのすべてのフェーズに関わることができ、各段階で積み上げた品質の積み重ねが、打上成功に直結していると実感できるところにやりがいを感じている。

経歴

2021年～
→H-IIA/H3用液体ロケットエンジンおよび機体推進系艀装品の品質保証に従事。プロジェクト品証として、設計・開発段階から購買、加工・組立、試験、検査まで、製造全体の整流と品質安定化に幅広く携わっている。

職場環境

品質保証部門として高い品質を求められる中で、各メンバーが主体的に取り組み、階層問わず活発に意見を交わせる前向きな雰囲気。フレックスや在宅勤務など、多様な働き方が実現できる仕組みが整っている。男性の育児休業取得も浸透しており、ライフワークバランスを尊重する風土がある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	サービスエンジニア	航空・宇宙	新卒	2010年



広い視野のプロジェクト マネジメントが行える人材に

今までのキャリア・経験を活かして、幅広い視野を持ってプロジェクトマネジメントを行えるような人材を目指す。



挑戦・忍耐

まずは行動することで新しい知見が得られると考える。困難な課題に直面することもあるが、仲間の支えを得ながら、挑戦し続ける忍耐を持つことで、その先に開けてくる未来・結果があると感じている。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
 →航空機・民間機ともに国内トップクラスの高い技術力を有している
- ②福利厚生水準が高いこと
 →寮・社宅、長期連休、フレックス勤務制度など福利厚生が充実しておりワークライフバランスも図りやすい
- ③自身の専攻を活かせること
 →大学での研究内容・知識をそのまま業務に活かすことができる

現在の仕事内容

海自SH-60K、空自UH-60J、陸自UH-60JAの定期修理用部品等の需給予測業務を実施するチームに所属し、統括を担っている。部品の修理・製造メーカーや、海自・空自・陸自の各顧客と調整を重ね、将来的な部品需要と供給のバランスを検討し、改善提案などを行っている。防衛省の方々のみならず、パートナーや社内他部門とも関われる部署です。特に顧客である防衛省とは密接に連携しながら、目指すべき目的を提案・共有し、共に実行していくことにやりがいを感じている。

経歴

- 2010年～2018年
 →航空機・飛昇体事業部 ヘリコプタ技術部にて、官需ヘリコプタの振動解析、図面作成に従事。
- 2018年～2025年
 →航空機・飛昇体事業部 プロダクトサポート部にて、官需ヘリコプタの整備・補給の将来構想検討やヘリコプタ部品の補給処支援に従事。大規模プロジェクトの提案や客先やメーカーとの折衝などを実施。

職場環境

フレックス勤務など柔軟な勤務体系が整っており、育児や家事の都合に応じて在宅勤務も可能で、非常に働きやすい。リフレッシュ休暇や長期連休なども取得しやすく、家族旅行などプライベートも充実させやすい環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	システム開発	機械	新卒	2007年



業務課題をDXで解決する人材に

モノづくりとシステム導入の経験を活かし、DXで業務課題を解決できる人材を目指している。



全体最適を意識した誠実な対話

個々の立場を尊重し、誠実なコミュニケーションを通じて全体最適を実現することを大切にしている。

入社動機

- ①航空・宇宙製品の開発に携われる
→ロケット、航空機、航空エンジン、防衛機器などに関われる点に魅力を感じた
- ②ものづくりを通じた社会貢献
→宇宙開発、国防、民間旅客需要を支える社会貢献性の高い企業であったため
- ③業界トップクラスの企業
→国内航空宇宙分野のリーディングカンパニーであることが決め手だった

現在の仕事内容

業務支援システムの企画・導入・運用を統括。社内ニーズをもとに最適なシステムを選定・導入し、DX推進やAI活用を戦略的に推し進めている。IT統制やセキュリティ、予算管理も担当し、全社のIT環境を支えている。自ら導入したシステムが業務改善に貢献し、関係者の負担軽減や業務効率化に繋がった瞬間にやりがいを感じる。AI活用によるデータ分析や迅速な意思決定により、企業全体への貢献を実感できることも大きなモチベーション。

経歴

- 2007年～2010年
→名古屋誘導推進システム製作所 工作部にて、宇宙・航空エンジンの組立ショップで生産技術を担当。液体ロケットエンジン製造に必要な水系洗浄装置の導入など、設備企画・実行を担う。
- 2011年～2015年
→同部にて、MSJ搭載航空エンジンの組立・試験の生産技術プランナーを担当。試験装置の近代化や生産管理システム開発に従事。
- 2016年～2021年
→三菱重工航空エンジン（株）IT部門にて、業務システムの企画・導入・運用を担当。DX推進やAI活用をリード。
- 2022年～
→同社 IT部門 部門長として、DX・業務システム推進に従事。

職場環境

フレックス勤務や在宅勤務が柔軟に活用でき、男性の育児休暇取得も増加傾向。フリーアドレス制を導入し、日々の業務に合わせて自由に席を選べる。自然に整理整頓が保たれ、コミュニケーションも活発な職場環境。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
航空・宇宙	プロジェクト管理	機械	新卒	2009年



エンジン設計開発の専門家に

エンジンの設計開発に関わる技術を高め、エンジン分野の専門家として成長したい。



成らぬは人の為さぬなりけり

できないことは、やらないからできないだけ。粘り強く、誠実に取り組むことが成功につながると考えている。

入社動機

- ①製品の一部分ではなく全体に関わることができる
→部品単体ではなく、システム全体を取りまとめ、製品全般に関われる会社であること
- ②設計としてもものづくりに関われること
→多種多様な製品を有しており、設計担当としてもものづくりに関わる機会が多いこと

経歴

- 2009年～2010年
→名古屋誘導推進システム製作所 エンジン機器技術部にて誘導弾用エンジンの設計開発に従事。
- 2011年～2012年
→誘導・エンジン事業部 エンジン・機器技術部にてヘリコプター用エンジンの設計開発に従事。
- 2013年～2016年
→防衛・宇宙ドメイン エンジン・機器部にてヘリコプター用エンジンの設計開発に従事。
- 2017年～2023年
→三菱重工航空エンジン株式会社 防衛システム事業推進部にてヘリコプター用エンジンの設計開発に従事。
- 2024年～
→航空機・飛昇体事業部 飛昇体技術部にて防衛航空機用エンジン修理のプロジェクト管理業務に従事。

現在の仕事内容

防衛用航空機に搭載されるエンジンの修理工事を円滑に進めるためのプロジェクト管理業務を担当。修理工程の各フェーズがスムーズに進行するように、関係部署との調整や進捗管理を行っている。修理工程が順調に進み、エンジンが無事に出荷されたとき。また、そのエンジンが部隊で安定的に運用され、実際に社会や現場で役立っていると実感できたときに大きなやりがいを感じている。

職場環境

社内では「さん」付けが浸透しており、上司に対しても「〇〇さん」と呼ぶのが当たり前。上下関係に縛られず、風通しの良い職場環境だと感じている。

事業分野

航空・宇宙

職種

プロジェクト管理

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2012年



計測技術の専門家から 経営視点を持つ技術者へ

計測技術の専門性を伸ばしてきた。今後はプロジェクト管理を学びつつ、経営戦略を立案・実行し、会社に必要とされる存在を目指す。



改善できないものはない

どんなプロセスでも製品品質でも、周りの人と課題を共有し、共に頭を悩ませ、考えたアイデアを愚直に実行していけば、改善できないものやことはない、と自身の経験から感じている。

入社動機

- ①日本の強みである「品質の高さ」が生かせる分野であること
→品質が重要視される宇宙、航空分野で世界と戦える力を持つ
- ②先輩社員の雰囲気自分に合っていること
→実際話す中で、職場の雰囲気が自分に合っていると感じられた
- ③航空宇宙分野の事業を持つこと

経歴

2012年～2024年

→三菱重工航空エンジン 品質保証部にて、航空エンジン部品の品質管理、寸法計測の技術開発、品質改善の仕組みづくりに取り組んできた。一部品の担当から複数部品、新規開発、工場立ち上げ、海外顧客とサプライヤとの協業と幅広く従事。

2025年～

→米国顧客向け航空エンジンプロジェクトの副プロジェクトマネージャーとして、新規立ち上げとりまとめ、顧客との調整、プロジェクトのQCD向上に従事。

現在の仕事内容

米国顧客向け航空エンジンプロジェクトの副プロジェクトマネージャーとして、戦略検討や顧客との調整を行い、様々な部門のメンバーと協力しながら、プロジェクトのQCD向上を推進している。考え方の違う職場のメンバーや文化も異なる海外の顧客に進みたい方向を理解してもらい、ともに同じ目標に向けて動き、製品品質や仕組みを改善できたときにやりがいを感じる。

職場環境

フレックス勤務・在宅勤務は必要に応じて柔軟に活用できる環境であり、男性の育児休暇取得も増加傾向にある。航空エンジン部門では全社員が年齢問わず無料で人間ドックを受診可能。加えて、専門知識に限らずAI・英語・マネジメント研修や選抜研修など、研修制度も充実している。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
特殊車両	プロジェクト管理	電気・電子	新卒	2000年



周囲に貢献できる人材であること



- 一、顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する
- 一、誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする
- 一、世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める

入社動機

- ①社会に貢献できる、無くてはならないと仕事に携われること
→発電や安全保障といった、社会に必要不可欠な技術を提供する企業である
- ②規模の大きい仕事に関われること
→予算・期間・地域といった点でスケールの大きい事業を展開している
- ③エネルギーに関わる仕事ができる
→発電や安全保障といった、エネルギー分野に関する事業の企業である

現在の仕事内容

プロジェクトマネージャとして車両開発に関わる工事を推進している。工事を通じて社会に貢献ができること、一緒に働く仲間の役に立てたと実感できる瞬間に大きなやりがいを感じている。

経歴

- 2000年～2011年
→車両用電気駆動システムの研究開発に従事。設計を担当。
- 2011年～2014年
→車両開発に従事。設計を担当。
- 2015年～
→車両の研究開発に従事。プロジェクトマネジメントを担当。

職場環境

育児と両立できるよう、フレックス勤務や在宅勤務の制度が整っており、非常に助かっている。

事業分野

艦艇・特殊機械

職種

設計

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2015年



水中の防衛製品の専門家

水中の防衛製品で重要な流体力学、音響工学、制御工学を駆使し、水中製品のシステム設計能力を磨き続けたい。



一発必中のものづくり

魚雷は限られた数しか搭載できず、撃てば必ず命中させなければならない。少しのミスも許されない製品を手掛ける誇りと責任を胸に、日々「一発必中」の精神で製造に向き合っている。

入社動機

- ①日本で一番の技術力を持っていること
→防衛製品、特に魚雷は日本ではMHIのみが製造しており、世界を相手に競争している点に魅力を感じた
- ②自身の専攻や学生時代の経験が活かせること
→魚雷は比較的コンパクトでシステム全体を俯瞰でき、流体力学の知識を生かして性能全体に責任を持てると感じた。入社後、若手のうちから重要な設計に携われると実感
- ③給与や福利厚生の水準が高いこと
→寮の制度を利用し効率的に貯金ができ、同僚との交流も深められると考えた。給与水準も高く、やりがいにもつながっている

経歴

2015年～

→入社から約4年間、艦艇・特殊機械事業部特殊機械部にて魚雷や魚雷防衛システムの機体構造設計を担当。その後、新規開発機種システムの設計を担当し、水中無人機や新時代の魚雷の開発に取り組む。現在は入社11年目、チーム統括業務も担っている。

現在の仕事内容

顧客ニーズの調査、会社内シーズとの調整、実現可能性の検討、システム設計、システム試験計画、試験実施まで幅広く担当。世の中にまだ存在しない水中防衛製品を概念設計から構築し、試作品設計、海上試験を経て製品化する、日本でも非常に珍しい経験ができる。水上艦や潜水艦に乗艦して海上試験を実施する非日常的な体験も魅力。官民一体となって苦楽を共にしながらものづくりを進める過程にやりがいを感じている。

職場環境

工場は諫早にあり、長崎市内から有料道路を使って通勤可能。通勤時間は最短で20分弱。新設の工場と新しいオフィスで気持ちよく働ける。有休やりフレッシュ休暇も積極的に取得でき、長期休暇も取りやすい。長崎市内の商業施設で各種割引を受けられる点も魅力。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	設計	機械	新卒	2016年



海洋無人機事業の経験を活かし 応用性のある知識の引き出しを増やす

初期から海洋無人機事業に携わった経験を活かし、新規事業における設計業務全般に対応できるよう、応用性のある知識の引き出しを広げていきたい



物理に反したことをしない

周辺事情によって楽な方向に進めなくなる時もあるため、物理（技術）的根拠ではなく、事情によって判断していないか、を常に意識している

入社動機

- ①製品に愛着が持てそうなこと
→他社ではあまり製造していない一点ものの製品に携われるため、製品に愛着が持てると感じた
- ②主業務以外でのストレスが少ないこと
→大手企業のため、ある程度社内システムが整っており、主業務以外でのストレスが少なそうな印象である
- ③比較的大都市の近くで働けること
→神戸造船所は大阪までのアクセスが良い

現在の仕事内容

防衛用水中無人機にどのような機能・性能が必要とされるかを検討し、実現するためのアイデアを出して具現化していく。使用方法の運用検討から、製造後の実海域までの試験まで一貫して携わる。防衛用水中無人機というまだ実用化されていない製品をゼロから考えられることにやりがいを感じている。まだ実績のない製品であるため、実績に縛られず技術を追い求められることが、基礎となる学びを続けるモチベーションにも繋がっている。

経歴

- 2016年～2018年
→艦艇・特殊機械事業部潜水艦技術部にて潜水艦の艤装品の設計に従事。たいげい型潜水艦1番艦の設計に携わる。
- 2019年～2023年
→艦艇・特殊機械事業部海洋無人機技術部にて大型の防衛用水中無人機の機器設計、システム設計を担当。

職場環境

目の前の事象に興味を持ち、関連知識を学びながら技術に対してフラットに議論することが好きな人が集まっており、入社年次に関係なく活発に議論できる雰囲気がある。

事業分野

艦艇・特殊機械

職種

設計

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2018年



水中機器のジェネラリストに

機械系の知識にとどまらず、水中機器設計に必要な幅広い専門知識を高め、あらゆる課題に対応できる技術者を目指している。



為せば成る

会社の仕事は必ずしも自分が想定していたものではなく、時に自分の専門外の業務に携わることもある。しかし、社内には解決につながる多くの材料があり、社外のパートナーからも知見を得ることができる。専門外の分野でも挑戦し続けることで新たなスキルを習得し、自身の専門性を広げていくことが重要だと考えている。

入社動機

- ①自身の専攻である機械工学を活かせる
→水中機器を取り扱っており、機械系技術が集約された製品設計に魅力を感じた
- ②防衛分野で継続的な技術発展が期待できる
→防衛分野で世界的に継続した発展が進んでおり、将来性を強く感じた
- ③安定した業績と充実した福利厚生がある
→大手メーカーとして業績が安定しており、給与や福利厚生も非常に充実している

経歴

2018年～2019年

→艦艇・特殊機械事業部 特殊機械部にて水中無人機の量産初度設計を担当。試作品の量産化に向けた課題分析と改善設計を実施した。

2019年～2021年

→水中無人機の構造装備班長として、初度設計、初号機製造、初回試験を完了した。

2021年～2024年

→従来業務に加え、日仏共同研究による水中無人機能力向上事業に参画。AIによる自動搜索技術の開発を進め、海外協力企業と連携し、洋上での試作品評価試験を完遂した。

2025年～

→海外での最終評価試験に向け、器材輸出および試験計画を担当している。

現在の仕事内容

水中無人機の能力向上を目指し、国内外の新技术を調査しながら研究開発を進めている。客先への提案活動を通じて、事業化へと繋がる案件も実現している。継続的に新技术開発に携わることができ、設計業務では自身に与えられる裁量が大きい。自分の設計したものが製品となり、試験で目標を達成した瞬間に最も大きなやりがいを感じている。

職場環境

有給休暇やフレックス制度は非常に活用しやすく、働きやすい環境である。住宅補助など福利厚生も充実しており、残業も多くなく、無理なく働き続けることができている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	設計	情報	新卒	2022年



システムの造船所に

鉄板や部品から船を作り上げるように、様々なソフトウェアを艦内システムに統合し、最終的に潜水艦として機能させるシステムの造船所として成長していきたい。



常に一步前進すること

成長していくために重要にしている奮い立てる価値観。一歩でも前に進む姿勢を忘れず、挑戦と継続で課題を乗り越えることを大切にしている。

入社動機

- ①社会に貢献し、やりがいを感じられること
→防衛製品を通じて国防に貢献できる
- ②特別な人生経験を積めることができると感じたこと
→世界でも限られた、国産潜水艦の設計製造に関与にできる
- ③大手企業で会社が安定していること
→防衛ひいては重工業という業界においてリーディングカンパニー

現在の仕事内容

新規装備品開発において、ソフトウェア設計を担当。運用を分析し、隊員の要望を踏まえて設計図書を作成。関連装置とのインターフェース設計や、使いやすい画面デザインも実施。引渡し時に自身の設計が潜水艦を動かすと実感でき、大きなやりがいを感じる。また、ユーザインターフェースや設計資料への高評価や、ユーザと直接関わる機会も、責任とやりがいを強く感じる。

経歴

2022年～現在
→艦艇・特殊機械部潜水艦技術部にて、戦闘システムのインフラ構築に従事。各装備品を統合したシステムを構築。
また、新規装備品の開発に従事。分野をまたいで開発を行い、事業を成功に向けて検討中。

職場環境

有給が使いやすい。新しく更新された建屋が多く綺麗。ある程度、おやつを食べたり等のリフレッシュ時間が認められている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	設計	航空・宇宙	新卒	2023年



業務と私生活の両立

効率的に仕事を進め、業務も私生活も充実させられるよう努めていきたい。



小人の学は耳より入りて口より出ず

新しいことを学んだ際、表面上を知って他人に知識をひけらかすのではなく、本質を捉えて自身の糧にしたいと心がけている。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→重工業界で日本首位の実績を誇り、防衛製品など唯一無二の技術も多く保有している
- ②給与や福利厚生水準が高いこと
→同業他社と比較して給与や福利厚生水準が高い
- ③自身の専攻を活かせること
→航空・宇宙分野の専門知識を生かせる数少ない企業である

現在の仕事内容

開発品の形状設計において、従来機種の実績や基礎的な流体力学の理論をベースに検討を行う。これらの手法では必要な性能が達成できない際は、他部門の実績などを調べ、部内では実績のない手法も活用する。製品の性能を大幅に向上させるため、新たな手法を活用し、苦勞しながらも目標としていた性能を達成したとき、大きなやりがいを感じる。設計した製品の試験やシミュレーションで、狙い通りの性能を得られたことは大きな達成感がある。

経歴

2023年～2025年

→艦艇・特殊機械事業部にて防衛製品の開発に従事。流体力学・航空力学の知識を生かして製品の流力形状設計を担当。

職場環境

長期休暇を取りやすい点は非常に魅力的である。ゴールデンウィークやお盆、年末には一斉休業日が設けられており、連休が飛び石になる場合は有給推奨日が設定されることが多い。また、フレックス制により、役所や病院などに無理なく通うことができる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	設計	電気・電子	中途	2024年



専門性を高め、 問い合わせが集まる存在に

専門性を高めて、ある分野においては他部署からも問い合わせが来るような専門家になる。



協調性をもって業務に取り組む

一人ではできない業務ばかりですので、周囲と良い関係を保ちながら業務を行っていきたいと考えています。

入社動機

- ①コストよりも性能重視の製品づくりに携われること
→防衛産業というコストよりも性能重視の製品を製造しており、その中でもトップの企業である点に惹かれた。
- ②自身の専門性を活かせること
→これまでの電気・電子分野での設計経験を活かせる環境が整っていると感じた。

現在の仕事内容

潜水艦に搭載される電子機器の仕様について調整し、実際の潜水艦に搭載できるように設計を行う。潜水艦がお客様に引き渡されたときに、達成感とやりがいを強く感じる。

経歴

- 2019年～2024年
→自動車部品メーカーD社にて自動車部品の回路設計に従事。
- 2024年～
→艦艇・特殊機械事業部 潜水艦技術部 電武装設計課 電子チームにて、潜水艦に搭載される機器の設計を担当。

職場環境

携わる方全員が一つの潜水艦を作っているのので、一体感があると感じる。全体として忙しい部署だが、有休はいつでも取りやすい環境。

事業分野

艦艇・特殊機械

職種

生産技術・管理

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

2015年



あらゆる工法検討の スペシャリストに

困難な製造であっても、多様な工法や手段を用いてモノづくりを実現できるスキルを持つ人材になる



今を大事に、継続は力なり

都度、理想に対する達成度合を顧みて反省し、次に改善できることはないかmore betterを追及していくことで、少しでも理想に近づいていきたいと考えている。

入社動機

- ①チャレンジングな会社であること
→最先端技術の開発に携わり、積極的な物作りの姿勢を持っている
- ②有数の固有技術を持っており、競争力があること
→国内においても有数の防衛産業という固有技術を有している
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→大手企業として、給与や福利厚生水準が比較的高い

経歴

2015年～2020年

→特殊機械部生産管理課にて量産・開発製品の工事計画、治工具計画を担当。担当製品の機械加工から溶接、試験まで、設計図面からどのようにして形にしていくかを検討・計画・実施。

2021年～2023年

→特殊機械部生産技術開発グループにて開発製品に特化した工事計画を担当。特に機械加工の生産技術者として、様々な工法を計画・開発。

2024年～2025年

→特殊機械部工作課機械係にて管理業務に従事。社内のコアな製造技術を維持しつつ、安全な職場環境の構築、品質維持向上に向けた活動推進、工作機械の設備計画、人員計画（適切は配置と人材育成）等を担当。

現在の仕事内容

コスト低減や自動化・省人化を目的として、最新トレンドを踏まえた工作機械の導入を計画している。また、DX推進をはじめ、各種IoT機器から取得したビックデータの活用を検討。過去にない困難なパーツであっても、先人が培ってきたモノづくりのベースと独自の工法を採用し、最終的に製品として試験が成功し納入されたとき、に成長を実感し、やりがいを感じる。通常の工法より簡単・安全・安価で実現できる方法でうまくいったときは特に達成感がある。

職場環境

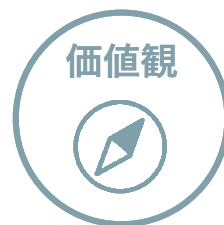
専門性を高められる環境が整っており、積極性さえあれば様々なことに挑戦できる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	生産技術・管理	機械	新卒	2016年



自分しかできない仕事を、 誰でもできる簡単な仕事に

困難で専門的な業務でも、引き継ぐときには今よりも簡単に遂行できるよう効率化・単純化する。手間を惜しまず、未来の負担を減らす工夫を重ねる。



五省

祖父から父、そして自分へと受け継がれた考えで、判断に迷った際に思い出し、正しく誠実に対応できるよう心掛けることができる。言葉のルーツが今の仕事と重なることにも強く共感している。

入社動機

- ①技術的な興味・好奇心から
→携わる製品は他の企業にはない技術価値を有している
- ②技術的な興味・好奇心を追求し続けられるか
→一製品でも様々な技術分野があるうえ、製品分野が広いため、会社が続く限り追求し続けられると考えた。また、会社の存続可能性も高いと感じた

経歴

- 2016年～2023年
→防衛・宇宙セグメント 艦艇・特殊機械事業部 品質保証部 潜水艦品質保証課にて新造艦及び研究試作案件における品質管理業務に従事。
- 2023年
→防衛・宇宙セグメント 艦艇・特殊機械事業部 神戸艦船製造部 艦艇課 機関工担チームにて修理艦の生産管理業務に従事。

現在の仕事内容

防衛省向け潜水艦の修理艦工事において、エンジン周りの施工管理、とりまとめを担当。予算元・運用部隊の顧客、自社営業、現場、調達先メーカーと予算・納期・品質にかかる全般的な調整を行なっている。作業従事者全員が「世界一の品質を誇る潜水艦」を造っているという自負がある環境で、工事の方針を決定し計画通りに遂行していくことにやりがいを感じる。お客様の感謝の言葉とともに工事完了後の船を見送ったときは、やり切ったという充実感と安堵の気持ちでいっぱいになる。

職場環境

作業従事者全員、「世界一の品質を誇る潜水艦」を造っているという誇りを持っている。現場で製品を見て、触れて、考え、アウトプットするまで自由度高く業務を進められる環境であり、現場の人も優しく丁寧に教えてくれる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	生産技術・管理	船舶	新卒	2021年



最強の造船自動化エンジニア

造船における事務作業や現場工程の自動化といえば彼、と言われるエンジニアになるため、日々最新技術を貪欲に吸収し、アウトプットしていきたい。



「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も」

とにかくやってみること。そして粘り強く取り組むこと。苦しい時があっても、いつか必ず成功する日がやってくる。

入社動機

- ①船づくりに携われること
→造船分野において戦前から培ってきた技術力と実績を有している
- ②製造に高い技術力を必要とする製品を取り扱っていること
→調査船や巡視船、護衛艦など他の造船会社では扱えない船種を建造している

経歴

2021年～2023年

→立神艦船製造部 船殻課にて、護衛艦の船殻ブロックの搭載～組立溶接～進水までの工程を管理。また、その傍らで各種製造技術の研究開発にも従事。

2024年～

→同製造部 艦艇課 生技チームに異動。工程管理業務からより上流の生産設計・艤装品物流管理業務を担当。技術開発業務は引き続き兼任し、船殻ブロック建造の一部工程を自動化する設備の開発・導入に従事。

現在の仕事内容

護衛艦建造のための各種生産管理・製造技術の開発を担当。コスト評価や導入スケジュール管理を行いながら、社内ST部門の専門家や社外SIerと協力し、設備開発・導入・定着までを一貫して推進している。現場の方々から頼りにされたときに最もやりがいを感じる。現場から頼られるエンジニアでなければ存在価値はない。そのため、常に現場のSQCD（安全・品質・コスト・納期）改善を意識し、業務に取り組んでいる。

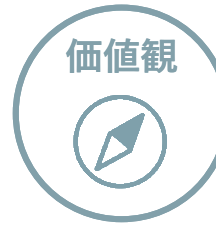
職場環境

非常に歴史がある職場で、先人のDNAを受け継いでいるという実感を持ちながら働ける。また、難しいことにチャレンジしようとする人を皆が応援してくれる環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
艦艇・特殊機械	生産技術・管理	船舶	新卒	2023年



水中航走体製造技術の習得



地道な努力が 自分を支える武器になる

日々の業務や学びの中で気づいたことは必ずメモに残し、繰り返し見返すことで確実に自分の力にしていく姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①会社の規模
→水中航走体製造という国内唯一の技術を持っている大企業
- ②福利厚生
→充実した福利厚生制度が整っている
- ③地元九州
→地元である九州で働ける点に魅力を感じたため。

現在の仕事内容

開発機種製造という未開拓の分野に携わっている。

経歴

2023年
→艦艇・特殊機械事業部 特殊機械部 生産技術開発グループ 配属

職場環境

有給取得の推進やフレックス勤務、在宅勤務などの制度が整っており、公私のバランスを大きく崩すことなく働ける環境であると感じる。

事業分野

艦艇・特殊機械

職種

サービスエンジニア

専攻

その他

新卒・中途

新卒

入社年次

2013年



あらゆる難題に応える調整役に

契約、製造トラブル、客先対応など、社内外問わず多様な課題を柔軟に解決できる「万能な調整役」を目指している。



縁をつなぐ力を大切に

仕事は人と人のつながりで成り立つもの。今の出会いや縁が、将来どこかで実を結ぶと信じ、人との関係性を大切にしている。

入社動機

- ① 社会貢献につながる仕事がしたい
→防衛、発電、インフラといった社会基盤に関わる事業に魅力を感じた
- ② 構造や仕組みに興味を持てる製品を扱っている
→特殊船や防衛装備など、他社では扱えない製品に惹かれた
- ③ 専攻分野にとらわれない採用方針
→理系・文系問わず多様なバックグラウンドを歓迎している点に共感した

経歴

2013年～2018年

→防衛・宇宙セグメント 特殊機械部 品質管理課にて水中航走体の品質管理を担当。開発品に関わり、新製品の評価試験や海上試験などを実施。

2018年～2020年

→艦艇・特殊機械事業部 技術部 水中機器設計課にて構造設計に従事。UUU（無人水中機）の設計も担当し、新規受注を目指した開発に取り組む。

2021年～2022年

→同事業部 品質保証部にて水中航走体の品質保証業務に携わる。

2023～

→営業部 特殊機械グループにて、水中航走体をはじめとする防衛装備品の契約業務を担当している。

現在の仕事内容

防衛省との契約締結や予算確保、仕様調整などを担当。お客様との日々の会話を通じて、技術的な質問や手続き面のサポートなど多岐にわたる対応を行っている。工場との橋渡し役として、事業が円滑に進むよう尽力している。「国をどう守るか」を真剣に考えるお客様と対話する中で、自分の意見が求められたときに、大きな責任とともにやりがいを実感する。

職場環境

フレックス勤務制度を活用しやすく、柔軟な働き方ができる職場。雰囲気は和やかで、日々のコミュニケーションを大切にする文化が根付いている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2012年



燃焼安全の専門家へ

燃焼関連機器の燃焼安全について、リーズナブルな評価と対策を提案できる研究者を目指し、経験を重ねていく



誠実を旨とし、和を重んじる。 社業を通じて社会の進歩に貢献する

社是の一節であり、仕事の進め方や目的が凝縮されていると感じ、日々の指針として大切にしている

入社動機

- ①社会に貢献できること
→最先端の火力発電を有し、環境問題への貢献が大きい
- ②大学での研究が活かせること
→燃焼に関する研究がある

経歴

- 2012年～
→石炭ガス化複合発電の開発に従事。バーナから周辺機器までプラント運転に必要な技術開発を担当。
- 2014年～
→爆発安全性シミュレーション評価に従事。原子力シビアアクシデント時の水素燃焼をはじめ、製品・研究開発での爆発安全性評価手法の開発を担当。
- 2022年～
→火災安全性評価に従事。二次電池による火災など、プラントや設備の火災リスク低減手法の開発を担当。

現在の仕事内容

燃焼炉の熱・流動・反応シミュレーションを用いた燃焼性評価や、粉塵回収装置の特性評価等により、発電プラントの安定運転に必要な要素技術を開発。あわせて、爆発や火災といった燃焼安全性に関する技術開発を進めている。顧客や事業所の困っていることを解決ができた時にやりがいを感じる。

職場環境

多様な製品や技術に関わることが多く、研修も充実しており、さまざまなことにチャレンジできる環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2013年



**脱炭素化社会実現をリードできる
エキスパートになる**
世界的な水素・アンモニアバリューチェーン構築をリ
ードし、脱炭素化社会実現に貢献していきたい



不撓不屈
従来とは異なる分野・手法の開発を少人数で独学に近い形で進め、
理解が得られにくい中でも粘り強く取り組んできた。諦めずに挑み
続けることが成功への道である実感。社内外のステークホルダー
と連携し、可能性を追求していきたい。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→SOFCの製品化間近であった三菱重工長崎研究所でその研究開発に携われる
- ②自身の専攻を活かせること
→大学院で燃料電池の研究をしており、知見を活かし専門性を発揮できる
- ③社会貢献に繋がること
→当時GTCCとSOFCを組み合わせたトリプルハイブリッド発電という超高効率火力発電の実現に
よる低炭素化社会実現という目標に貢献したい

経歴

- 2013年~2014年
→SOFCの起動停止システムの研究開発に従事。熱マネジメントの観点から製品の健全性を維持可
能な起動停止プロファイルの検討を担当。
- 2015年~2017年
→Li電池パック(EV, 定地用)の連爆防止システムの研究、静粛性動力システム(防衛製品)の研究、
LNG船断熱性能向上の研究等熱マネジメントの観点から製品の性能・安全性を向上させるため
の研究に従事。
- 2015年~
→電力・エネルギー市場シミュレーション手法の開発をスタート。市場の自由化・再エネ導入量増加・脱炭
素化の流れにより複雑化する市場の中でMHI製品(火力発電・燃料電池・脱炭素化技術等)の価値を定量的
に評価する手法の開発を開始。電力を起点に水素・アンモニアといった新たなエネルギーのバリューチ
ェーン最適化と、解析結果をベースとした新規事業開発支援のリーダーを担当している。

現在の仕事内容

数理計画法を用いた電力・エネルギー市場シミュレーションを用いて、再
エネ、蓄電池、水素/アンモニア製造・貯蔵・発電装置、CCS、メタネー
ション装置等の多様な脱炭素化技術を最適に組み合わせ、脱炭素化目標
達成に必要なコストを最小化する最適機器導入・運用計画を導出。各機
器を「賢くつなぐ」ことで、脱炭素化コストを最小化すると共に、導出
した計画をプロジェクトのデベロッパー、各国政府等に提示し、プロジ
ェクト実現に向けた支援を実施している。

研究所内での技術開発にとどまらず、成果を実際に活用するところまで
携わることができ日々のやりがいを感じている。

職場環境

2022年にシドニー大学に1年間の留学を経験させてもらった。研修制度
が充実しており、参加への支援策が整っている点は技術者として成長す
る上で非常に良いと感じる。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

2013年



標準化で品質を支える 電気系エンジニアに

幅広い知識をもとに柔軟に対応できる電気系エンジニアを目指す。
また、開発品質向上のため、誰が担当しても同じ成果を出せる標準プロセスや技術伝承の仕組みを整えていきたいと考えている。



研究は一生の学び

一人ですべてを知ることが不可能。知らないことがあっても恥じずに質問し、周囲と共に成長していく姿勢を大切にしている。分からないことに素直になることが、良いチームづくりにもつながると考えている。

入社動機

①多様な製品に関われる電気技術者としての挑戦

→自分の専攻にとらわれず、電気技術者としてさまざまな大型製品に関われる点に魅力を感じた。幅広い領域でスキルを磨ける環境が整っており、自らの成長につながると考えている。

②環境課題への関心と安心できる待遇

→入社当初は風車制御に関心があり、環境問題に貢献できる仕事がしたいと考えていた。また、給与や福利厚生が充実しており、安定した環境で長く働ける点も決め手となった。

経歴

2013年～2021年

→総合研究所 長崎拠点 (部門名は変遷あり) にて、制御システム/パワーエレクトロニクスの研究に従事。電気システムの制御・解析・試験を幅広く担当。

2021年～

→総合研究所 名古屋 パワーエレクトロニクス研究部にて、モータ制御技術の研究開発を担当。MBD (モデルベース開発) 手法を用いた開発プロセスの標準化にも取り組む。

現在の仕事内容

MHIの中でも電気系エンジニアが集まる希少な部門に所属し、各種製品の研究開発案件に対応している。近年は電動化が進む中で、設備の整っていないフェーズから立ち上げに関わることも多く、非常にチャレンジングな環境。幅広い製品を横断して携われることにやりがいを感じている。

職場環境

総合研究所は事業部と異なり社外対応が少ないため、比較的自分のペースで仕事が進めやすい環境。有給も非常に取得しやすく、取得しないと逆に注意されるほど。持株制度では会社から最大15%の奨励金が支給されるなど、福利厚生面でも満足度が高いと感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2013年



社内で頼られる 機構・運動解析の専門家に

解析だけでなく、機構や運動に関する困りごとがあれば、自分に相談が来るような技術力と社内での知名度を高めていきたい。



技術力で会社の競争力を高める

総合研究所は直接利益に繋がる業務は少ないが、複数の製品や技術を横断した効率化や技術向上を実現することで、会社の競争力や社会全体の発展に貢献したいと考えている。

入社動機

- ①自分の大学での研究を活かせる企業であること
→大学で燃料電池の研究を行っており、燃料電池に携わりたかった
- ②業界に影響力のある大手企業であること
→大規模な企業で社会に与える影響が大きい企業を志望していた

現在の仕事内容

機構解析技術を軸に、社内の各製品に対する設計開発支援を行うほか、新規技術の調査や開発も担当している。設計現場の課題解決に向け、解析の知見を活かした支援を行うことを目指している。事業部をはじめ、依頼元から「助かった」「ありがとう」と感謝されることがやりがいにつながっている。研究所の枠を超えて、実際の製品開発に貢献できると実感できる点が大きなモチベーションとなっている。

経歴

- 2013年～2023年
→総合研究所機械研究部（高砂地区）にて、機構解析を用いた社内製品の運動解析や、それに関連する解析技術の調査・効率化に従事。
- 2023年～
→総合研究所機械研究部（大江地区）にて、防衛・宇宙ドメインの製品開発における設計支援や解析評価を担当。

職場環境

有給休暇や大型連休は比較的取得しやすい環境だと感じている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	金属・材料	新卒	2014年



金属材料のプロフェッショナル

耐熱金属材料のキーマンとして社内外から広く認知されるよう、専門性の深化とPRを今後も戦略的に行っていきたい。



守破離

日本の武道・芸術における修行の段階を表す言葉だが、研究開発業務における技術の獲得・活用にも相通じるところがあるため、時々思い起こすようにしている。

入社動機

- ①高い技術力を活かしたモノづくりであること
→他社が真似できない製品・技術を数多く生み出している
- ②設計からアフターサービスまで自社で完結でき総合力が高いこと
→ロケットの打上げサービス受注から運用まで、大型ガスタービンを自社技術で開発・製造・運用できる国内唯一の企業
- ③研究開発費が同業他社に比べて高いこと
→MHIグループ全体の研究開発費は1000億円超、対して川崎重工は400億円、IHIは300億円(当時調べ)。

現在の仕事内容

高速炉や高温ガス炉といった次世代革新炉の実現に向け、高温・耐圧環境で使用される耐熱金属材料の健全性評価を担当。機器の安全運用に不可欠な材料特性データを、社内外と連携しながら漏れなくタイムリーに取得している。新材料を社会実装するプロセスに深く関わり、設計・製造部門に加え大学や研究機関、同業他社など多くの専門家と議論を交わせる点にやりがいを感じる。まさに材料技術者の本懐を実感できる業務。

経歴

2014～2021年

→総合研究所 材料研究部(長崎地区)にて、火力発電用ボイラ向け耐熱鋼の健全性評価や余寿命診断技術開発に従事。

2022～現在

→総合研究所 強度・構造研究部(高砂地区)にて、火力発電システム(ガスタービン、蒸気タービン)、次世代革新炉(高速炉、高温ガス炉)向け耐熱鋼・耐熱合金の健全性評価や材料規格化に従事。

職場環境

- ・家庭の事情に合わせ柔軟な勤務形態が可能
(入社⇒夕方一時帰宅⇒育児⇒在宅など)。
- ・コーヒーコーナーが充実
(有志の活動。コーヒー10種類以上から自由に選択可。)
- ・男性の育児休暇取得割合が近年上がっている。
- ・今年度職場がリノベーションされる予定であり、床・壁・天井・机や椅子などが刷新されモダンな職場に生まれ変わる。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2015年



エンジン燃焼器開発の専門家

エンジン燃焼器開発に係る専門性を特化させるとともに、製品を俯瞰して全体最適となる打ち手を考案できる人材を目指す。



全体の最適化

製品システム全体を見据えて全体最適となるように開発を進めるために、担当分野だけでなく他分野にもアンテナを張り、積極的に情報を取り入れていくことを心掛けている。

入社動機

- ①日本の発展に貢献できること
→明治時代から日本の発展を支えてきた、社会貢献性の高い企業である
- ②技術的に魅力的な製品に関われること
→航空宇宙関連など、国内の他企業では扱えない最先端の製品に携われる
- ③給与や福利厚生の水準が高いこと
→重工最大手メーカーであり、給与水準が高い
- ④自身の専攻を活かせること
→航空宇宙製品を多数扱う数少ない企業である

現在の仕事内容

エンジン燃焼器の技術支援を担当。燃焼数値シミュレーション等を駆使した現象分析などにより、燃焼器性能の向上を目的とした開発支援を行っている。また、エンジンの他コンポーネント部門と協力・調整しつつ、エンジン全体のシステム構築も支援。加えて、最新計測技術などの調査開発も行っている。
世界でも稀有でチャレンジングかつ技術的に面白い製品開発に携われることにやりがいを感じる。

経歴

- 2015年～2018年
→総合研究所燃焼研究部にて、産業用ガスタービンの燃焼器開発試験業務に従事。最先端の光学計測技術開発等に携わる。
- 2019年～
→飛昇体エンジンの燃焼器開発技術支援に従事。燃焼数値シミュレーションや性能計算ツール開発などの業務を担当。

職場環境

育児休暇や在宅勤務に対する理解があり、基本的に申請が却下されることはない。成果を出せば柔軟な勤務形態可能な環境である。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	金属・材料	新卒	2015年



ものづくりに必要な 製造技術・材料評価の専門家に

航空機に求められる製造・材料技術について知見を深めて
いきたい



感謝を忘れない

大型製品の開発は一人では成し得ない。自他ともに感謝を
忘れないことは、当たり前であるが重要と感じている。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
→冶金的な知識を活かせる、金属材料を扱う企業である
- ②航空宇宙分野に携われること
→航空機・ロケットの製造メーカーとして技術力が高い
- ③ものづくりができること
→ものづくりの大手メーカーである
- ④福利厚生に問題がないこと
→大手メーカーであり、福利厚生が充実している

経歴

2015～2017年

→ロケットタンク組立用接合技術開発に従事。世界最大級のタンク製造技術の開発に貢献。

2018～2020年

→Additive Manufacturing(AM)技術を中心に最新の製造技術の調査、製品への適用検討を担当。

2021～2023年

→高砂地区へ異動、ガスタービン等、大江地区以外の製品について知見を得るとともに、溶射・ casting ・セラミックスなどの技術開発に携わる。

2024年～

→航空宇宙製品・防衛製品への製造技術開発を進める。

現在の仕事内容

AM技術をはじめとする新たな造形・製造技術について国内外問わず調査し、興味深い技術を見つけたら、まずは実見評価として実践する。良い結果になりそうと感じたタイミングで対象となる製品の紐づけや概算でのコスト算出を行い、量産化を見据えた具体的な開発を設計や別部署生技と協力しながら進めていく。従来の製造技術では実現できない形状・性能を実現できたときに達成感を得られる。設計から製造・生産・品質保証までを考慮した技術開発ができる点において、他社では得難いやりがいを感じている。

職場環境

長期休暇や有給取得が取りやすい職場である。コンプライアンスも徹底されており、安心して業務に取り組める点も魅力である

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

原子力

新卒・中途

新卒

入社年次

2015年



熱流動関連の可視化計測の専門家に

熱流動の可視化計測技術開発と製品適用を推進し、技術の進展に貢献したい。



多様な専門家との協働で課題解決を実現

多岐にわたる専門家と連携し、適切な相談と情報伝達を重ねることで、難しい課題も解決できると信じている。

入社動機

- ①エネルギーインフラ分野で社会貢献できる
→原子力や火力発電所など、多数のエネルギーインフラ製品を提供している会社であること
- ②複数製品の開発に携われる
→総合研究所で専門技術を軸に、多様な製品開発に関われる環境であること

現在の仕事内容

原子力発電所の安全評価や次世代炉設計に必要な流動試験を計画・設計・実施・評価する。流れ場の可視化計測技術の開発と製品適用にも取り組む。協力会社含む複数人で連携し、計画通りの試験成功時やデータ取得時に達成感とやりがいを感じる。

経歴

2015年～
→流体研究部流体第二研究室にて実験関連業務に従事。原子力発電所関連の流動試験や、金属積層型3Dプリンタ内のガスフロー評価・最適化を担当。

職場環境

家事・育児に合わせ時短勤務を利用し、必要に応じて在宅勤務も活用。時間・場所の自由度が高い働き方ができる点を良い環境と感じている。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2016年

ビジョン



幅広い製造技術の専門家に

国内外の最新製造技術を網羅し、世界最先端の製品のスピーディな開発を可能とする製造技術のキーマンになりたい

価値観



ひとりでは限界がある。仲間と多角的に取り組むことで成功に繋がる

チームで取り組む姿勢を大切にしている。仲間と協力することで、自分では思いもよらぬ解決策が見つかる

入社動機

- ①グローバル市場で、スケールの大きいものづくりに携われること
→ガスタービン、原子力発電、民間機、航空エンジンなどグローバルに展開している事業が多く、MHIでしか実現できない規模の製品開発ができる
- ②人々の生活を支える製品を開発できること
→普段の生活に必要な電力などのインフラ、航空機など無くてはならない必需品の製造・開発に携われる
- ③給与や福利厚生水準が高いこと
→メーカーの中でも高水準の給与であり、住宅手当や有給休暇制度など福利厚生が充実

経歴

2016年～2024年

→総合研究所 製造研究部でガスタービンの高性能化に必要な技術である遮熱コーティングの材料開発と製造技術開発に従事。試験片から実機製品へとスケールアップすることに困難さとやりがいを感じた。

2025年～

→総合研究所 オープンイノベーション推進室で、国内・海外の研究機関やスタートアップ企業の技術探索を行い、MHI製品への適用に向けた共同開発を推進する業務に従事。海外出張も多く、日々刺激を受けながら最先端技術の社内適用を推進。

現在の仕事内容

目まぐるしく変化する社会情勢の中で、当社を取り巻く環境を分析して、どのような製品を開発するべきかを多角的に分析する。企画・営業・設計・製造などの幅広い部門の同僚とコミュニケーションをとり、開発するべき技術を整理して、国内外の研究機関・スタートアップを調査して、有力候補と連携した共同開発を計画・推進する。

やりがいに感じるのは、まだこの世にない技術を、海外の研究者と連携して開発できたとき。国際学会などで研究成果を発表した際には、グローバルに活躍できている実感を強く感じる。

職場環境

若手から責任のある業務を経験でき、のびのびと成長できる職場の雰囲気です。グローバルに活躍できる環境が整っており、若手のうちから国内外の出張に行く機会が多く、異文化体験を楽しみながら業務ができます。福利厚生が充実しているだけではなく、自身のキャリア関する所属長との面談が定期的にあるので、明確なビジョンを持って日々の業務に取り組むことができます。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	金属・材料	新卒	2016年



社会的プレゼンスの向上

研究成果を社業に貢献させるだけでなく、その成果を広く世界に発信していきたい。



You play with cards you're dealt

人生では配られたカードしか使えないが、その中で最善の行動を尽くすことはできる。

入社動機

- ①世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→航空宇宙・防衛分野において国内トップの技術力を有し、ガスタービン発電機など世界トップクラスと競い合える事業も複数あり、魅力を感じた
- ②給与や福利厚生水準が高いこと
→インターンシップで社員の方々から直接話を聞き、給与や福利厚生が十分であることを確認した
- ③自分自身の成長につながる事
→機械製品の製造にはあらゆる技術分野の知識が求められ、業務を通じて広範囲の技術力を身につけ、自分自身の成長につながると感じた

現在の仕事内容

現在は、複合材部品の新規製造プロセスに関する新技術の研究や、新たな複合材部品の設計開発を担当しています。また、Boeing787の主翼製造において、材料や製造プロセス（M&P：Material and Process）の管理・改善にも携わっています。新技術の研究成果を製品開発へとつなげ、実際に世の中に送り出していくことに大きなやりがいを感じています。

経歴

- 2016年～2018年
→Boeing787事業における工程改善・認証支援に従事。
- 2018年～2021年
→AM（Additive Manufacturing）技術の開発と製品適用を担当。
- 2021年～
→防衛事業に関する新部品の設計開発・試作検証を担当。

職場環境

フレックス勤務・在宅勤務への理解があり、男性の育児休業取得者も多いなど、働きやすい環境が整っている。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2017年



ニーズ起点で価値を生む技術者に

研究開発では技術が先行しがちだが、エンドユーザーのニーズに応じた“真に必要な技術”を見極め、提案できる技術者を目指したい。



目的と手段を混同しないこと

日々の業務において、手段が目的化していないかを常に意識し、本質を見失わないよう心がけている。

入社動機

- ①自身の専攻を活かせること
→専攻である燃焼分野を起点に、幅広い製品に関われる重工業で活躍したいと考えた
- ②社会貢献につながる仕事ができること
→社会インフラを支える重工業にやりがいを感じた。三菱重工は国内トップメーカーとして広範に貢献できると考えた
- ③福利厚生が充実していること
→大手メーカーとして給与水準や社宅・寮などの福利厚生が充実しており、安心して働けると感じた

経歴

- 2017年～2018年
→燃焼研究部 燃焼第三研究室（長崎）にて、発電用副室式ガスエンジンの高効率化を目指し、燃焼変動低減に向けた数値解析業務に従事。
- 2018年～2020年
→燃焼研究部 燃焼第二研究室（高砂）に異動し、新型高出力ディーゼルエンジンおよび大型船用水素エンジンの数値解析・開発業務を担当。
- 2021年～
→同研究室にて、数値解析と試験を通じた船用エンジン開発に従事。特に脱炭素燃料を活用した次世代エンジンの燃焼変動抑制技術の開発を担当。

現在の仕事内容

現在は、脱炭素燃料を用いた船用エンジンにおいて、燃焼変動の抑制に関する研究開発を行っている。数値解析と実機試験を組み合わせ、燃焼安定性を確保するための要素技術の検討と評価を重ねている。多くの制約条件の中で効果的な対策を考え抜き、それが実際の試験で成果として現れたときに大きなやりがいを感じている。

職場環境

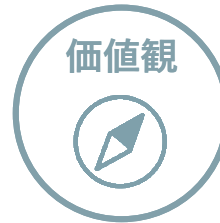
フレックス勤務や在宅勤務など、ライフスタイルに応じた柔軟な働き方が可能。育児休暇も取得しやすく、総研相模原ではフリーアドレスや昇降デスクが整備され、気軽に相談できる風通しの良い職場環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	航空・宇宙	新卒	2017年



世界一の技術者に

ハードルが高いように聞こえるが、製品・分野を絞れば本当に世界一も夢ではない。「この製品のこの技術については自分が世界一」と胸を張って言えるように研鑽を積む。



百尺竿頭一步を進む

60点で成果を出す姿勢も重要だが、120点を目指し、徹底的に考え抜くことで初めてブレイクスルーが生まれると信じている。

入社動機

- ①後世に残る技術開発ができること
→世界初の製品開発もでき、その分野のスタンダードを創出できる。
- ②専攻を活かしながら幅広い製品に関われること
→大学時代の専攻である航空機・宇宙機だけでなく、幅広いフィールドで運用される製品開発に関わることができる。
- ③給与や福利厚生が充実していること
→給与や賞与も多く、大手ならではの福利厚生も充実している。

現在の仕事内容

新規製品や運用中製品の振動・騒音に対する評価・対策を、設計担当者と連携しながら数値解析や試験を通じて実施。必要に応じて対策案を立案する。また、将来製品に向けた要素技術の研究開発にも取り組み、論文収集や学会参加で技術動向を把握し、成果が得られた際には論文発表も行う。試験結果が予測と一致し評価の妥当性が確認された時や、開発技術が社会に貢献した際に、大きなやりがいと達成感を得られる。

経歴

- 2017年～現在
- 総合研究所 振動研究部にて、各種製品の振動強度や騒音の評価に従事
 - ・ ロケットの構造/エンジン部品の耐振評価
 - ・ 宇宙機器/探査機の耐振評価
 - ・ 船舶の海中放射音低減対策
 - ・ 振動低減デバイスの研究開発
 - ・ 振動要求に基づく最適化計算手法の研究開発

職場環境

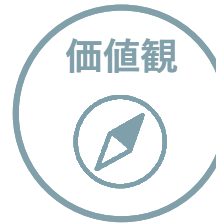
周囲には賢く意識が高い人が多いので、自己研鑽の刺激を受ける。オフィス環境の改善に取り組んでいる事業部も多く、研究所内でもフリーアドレスやカフェのようなおしゃれなオフィスも増えており、フレッシュな気持ちで仕事に取り組める。休暇も多く、GWや年末年始はニュースでよく聞く「最大〇〇連休」の最大日数を休めることも多いので、気分転換も図れる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2018年



航空宇宙製品の 検査技術開発の専門家に

新機種開発時に求められる検査手法で事業部に頼られる存在を目指し、専門知識と実績を積み上げたい。



先を読み、 多様な手を用意する姿勢

最終目標に向けた仮定とリスクを常に先読みし、失敗時の代替案を準備することで、柔軟に次の一手を打てるよう心がけている。

入社動機

- ①興味のある航空宇宙製品に携われる
→国内トップの重工メーカーであり、製品数・技術力ともに優れる
- ②給与・福利厚生が充実している
→業界トップクラスの給与水準、充実した福利厚生が整っている

現在の仕事内容

航空機・宇宙機器の新機種開発において、材料や製造プロセスの変更で検査が難しくなる場面に対応。従来手法の改善にとどまらず、新たな検査手法の提案・検証を行う。既存機種に対しても効率的な検査法の導入やスペック維持に取り組む。航空宇宙分野は安全基準が厳しく、非破壊検査による品質保証は不可欠。ものづくりではないが、設計・製造部門から頼られることが多く、製品開発に貢献できている実感が大きい。

経歴

2018年～
→総合研究所 複合材研究室にて、航空宇宙製品向け非破壊検査技術の開発に従事。特に複合材検査で多用される超音波探傷技術について、試験・シミュレーションの両面から新製品への検査技術開発を担当。

職場環境

福利厚生は全体的に良好。有給休暇の取得や男性の育休活用、住宅補助、持株会などが整っている。四半期ごとのキャリア面談もあり、上司と日頃から相談しやすい環境が整っている。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

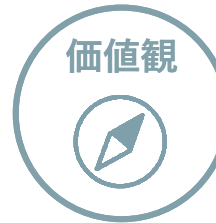
入社年次

2019年



空力弾性解析の専門家となる

空力弾性解析の第一人者として活躍できる人材になる。また、航空機システム全体に助言できる存在になる。



眼高手低とならない

事例を見て評価するだけでなく、自身が手を動かし研鑽することで実力をつけ、経験に基づき判断をしたい。

入社動機

- ①航空宇宙開発を行っていること
→国内企業にて最も航空宇宙開発に力を入れており、シェアも大きい
- ②自身の専攻を活かせること
→航空機周りの流体解析に注力しており自身の専攻と一致していた
- ③社員が楽しんで、そして興味を持って仕事ができていること
→インターンシップの際、所属部署のメンバーが楽しそうに業務の説明をしてくれ、主体的に業務を行っていると感じた

経歴

2019年～2022年

→振動研究部振動第四研究室にて、航空機を対象とした空力弾性解析に従事。社内で適用があまり進んでいない解析手法の試行及び適用拡大を担当。

2023年～2025年

→流体研究部流体第三研究室にて、空力弾性解析に加えて流体解析に従事。上記の解析手法の実機設計適用や、富岳計算機を用いた大規模解析に関する研究を担当。

現在の仕事内容

社内のさまざまな機種を対象として空力弾性評価を行い、特性に応じて設計課に対してフィードバックを行う。並行して最新の解析技術の研究開発を進め、設計に適用できるようツールの評価や適用拡大を進めている。自身が設計適用を進める解析手法が設計担当者の目に入り、新しい機種でその解析手法を使ってみたいと相談されたときに、自身の進めてきた業務が会社の役に立っていると感じる。加えて、開発した航空機が実際に飛行したというニュースを聞くと、自身の業務が航空機開発に役立っていると実感する。

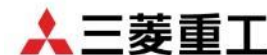
職場環境

チーム内にて活発な業務の横通しや技術交流ができており、メンバー同士でスキルを高めていける職場である。また、プライベートは仕事としっかり分けてもらえるので休暇も取得しやすい。

氏名 **榎 尚也**

【2025/4/1時点の所属】

総合研究所 エナジー研究推進部 エナジーシステム第一研究室



事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2019年



小型航空エンジン開発の専門家に

小型航空エンジンと言えば自分、と言われるような専門性を磨き、相談される存在になりたい。



「なぜ？」を繰り返す姿勢

技術課題に直面したときは「なぜ？」を繰り返し、原因の根本に辿り着くことを大切にしている。

入社動機

- ①航空宇宙分野で世界トップクラスの製品・技術を有する企業
→H3ロケット、Boeing主翼、防衛製品など、世界トップレベルの製品開発を行っており魅力を感じた
- ②海外の関係先と仕事ができること
→海外メーカー、関連会社、海外大学・研究機関と関われる環境に惹かれた
- ③社内・社員の雰囲気が自分に合っていたこと
→インターンやOB訪問で接した社員の雰囲気に共感し、働きたいと感じた

経歴

2019年～2020年

→総合研究所 流体研究部にて、産業用ガスタービンの研究開発に従事。タービン～排気部の新機種形状検討や検証試験を担当。

2021年～2022年

→航空機・飛昇体事業部 飛昇体技術部で設計支援に従事。飛昇体用ジェットエンジン改良のため、エンジン試験の計画・実施・評価を担当。

2023年～

→総合研究所 エナジー推進研究部にて、無人航空機向けターボファンエンジン開発に従事。タービン～排気部の設計を担当し、タービン翼を一から設計。

現在の仕事内容

無人航空機向けターボファンエンジンのタービン翼開発を担当。タービン単品の性能・強度だけでなく、エンジン全体への振動・性能影響も考慮し、総合研究所内の強度専門家や事業部の製品担当者と連携しながらエンジン成立性や性能向上に取り組んでいる。自分が設計し、形状を決めた部品が製品として実際に形になったときに大きなやりがいを感じる。モノづくりが好きであり、PCでの設計よりも、完成した実物を見ることに喜びを感じている。

職場環境

経験豊富な技術者が多く、相談先が多い環境が学びに繋がっている。研修制度や自己啓発制度、社内異動制度も整っており、自分でキャリアを描き、挑戦しやすい職場環境が魅力。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	航空・宇宙	新卒	2019年



空飛ぶ飛行機の リーディングメンバーに

航空エンジンの要素技術開発を進め、エンジン設計をリードできる人材になりたい。



センスはこれから作るもの

入社間もない頃、先輩に言われた言葉。センスは経験と挑戦、失敗を重ねて磨かれていく。今も経験を大切にし、自分を成長させ続けている。

入社動機

- ①航空宇宙分野のリーディングカンパニーであること
→ロケットや飛昇体、航空機など、国内トップレベルの航空宇宙製品を有し、技術力の高い会社である
- ②世界トップを目指し挑戦を続けていること
→航空エンジンは成長分野であり、日本・世界への挑戦を実現できると考えた
- ③海外企業と関わること
→航空エンジンは海外メーカーとの取引が多く、グローバルに活躍できる

経歴

- 2019年～2022年
→三菱重工航空エンジン株式会社民間エンジン事業推進部にて次世代LPTの開発に従事。当社初となる実機エンジン試験に向けた詳細設計・試験を担当。
- 2023年～
→総合研究所 振動研究部にて回転機械の翼振動分野の研究に従事。将来の航空エンジンや産業用発電機に向けた振動制振要素の開発を担当。

現在の仕事内容

回転機械の翼の制振技術に関する調査・研究を行い、興味深い技術を見つけた場合は深掘りし、独自性・商用性を評価。適用可能と判断した場合は、設計部門と連携しながら実用化に向けた開発を推進している。誰も考えたことがない新技術を発想し、実現可能性が評価されたときにやりがいを感じる。技術を磨き、その分野の第一人者として開発をリードできる存在になることを目指している。

職場環境

在宅勤務が柔軟に活用できる。自分の裁量で働き方を調整できる環境が整っている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2019年



製品群を横断できる 燃焼技術のプロに

多様な製品に応用できる燃焼技術を磨き、横断的に活躍できる技術者を目指している。



視点の数を増やす

「視野を広く持つ」ことよりも、「視点をたくさん持つ」ことを大事にしている。ひとつひとつの視点は狭くても、複数の視点を持つことで、製品ごとの違いを深く理解できると考えている。

入社動機

①航空業界に携われる

→航空業界に携われることに魅力を感じた。さらに国内の業界最大手であり、安心して技術を追求できる環境だった

現在の仕事内容

燃焼技術の知見を活かし、安定燃焼が可能な燃焼器の開発に取り組んでいる。まだ製品化されていない新規技術であり、試行錯誤を重ねながら日々チャレンジしている。新しい製品をゼロから生み出す過程に携わることには大きな魅力を感じている。課題に対するアプローチも自由度が高く、新規開発ならではの面白さがある。

経歴

2019年～2022年

→ガスタービン燃焼器の油燃料燃焼方式の開発に従事。

2023年～

→スクラム燃焼器の新規開発に取り組んでいる。

職場環境

福利厚生は非常に充実しており、拠点が多く出張や異動もあるが、それをサポートする制度も整っている。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

航空・宇宙

新卒・中途

新卒

入社年次

2019年



航空宇宙向け複合材の エキスパート

新製品開発や既存製品の競争力向上に複合材技術は不可欠。最先端の研究現場で常に求められるエキスパートを目指している。



地に足つけて夢を追う

三菱重工の製品は開発期間が長く、様々な困難に直面する。常に地に足をつけ、誠実に製品・技術と向き合い、着実に前進する姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①全世界に価値を提供できる製品・技術を有していること
→多種多様な製品群を有し、陸・海・空のフィールドで世界的に価値を提供できる会社であると感じた
- ②社員がいきいきしていること・夢をもって仕事をしていること
→面会した社員が皆、自身の業務に誇りを持ち、完成や世の中に出た姿を夢見て仕事に取り組んでいた
- ③自分が情熱をもって取り組めるフィールドがあること
→製品軸・技術軸の両面で、自分の興味・関心がある分野に挑戦できる会社であると感じた

経歴

2019年～2023年

→製造研究部 複合材研究室にて、民間航空機向けの複合材プロセススペック作成および製造プロセス開発に従事。開発した技術を複合材製品の製造やトラブルシュー트에活用。

2024年～2025年

→製造研究部 製造第四研究室にて、次期戦闘機向け複合材接着プロセスの開発に従事。接着プロセスのリスク低減・工程短縮に貢献。

2025年～

→ファクトリーイノベーションセンター コンポジット開発室にて、複合材接着シミュレーションの研究に従事。海外研究機関との共同研究を通じ、部品変形と接着剤流動の連成解析技術を世界に先駆けて開発。

現在の仕事内容

次期製品に必要とされる複合材成形・接着技術の開発を担当。海外研究機関と連携し、高精度なシミュレーション技術を開発し、複合材製品の製造プロセス開発に適用。試験工程をシミュレーションに置き換えることで、開発・製造コストの大幅削減を図る。開発した技術が製造トラブル解決に繋がり、関係部署から感謝されたとき。自分が計画した試験の成果が設計など他部署の重要な意思決定材料になることにやりがいを感じている。

職場環境

フレックス勤務・在宅勤務・育休など、多様な働き方への理解がある。先輩社員はトップレベルの技術を惜しみなく教えてくれるため、大きく自己成長できる。社内に多様な製品・技術があり、さまざまな分野の専門家から幅広い知識を得ることができる。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2019年



シミュレーションや データ分析の専門家に

シミュレーションに加え、AI・機械学習などのデータサイエンスも対応できる人材を目指す。



巨人の肩の上

弊社は100年以上の歴史を持つため、どの製品においてもこれまで先達が構築してきたノウハウや経験がある。先達の知見を活かし、前進させることが大切と考える。

入社動機

- ①社会貢献に繋がること
→防衛や原子力など、他社では担えない領域に取り組んでいる
- ②世界トップクラスの製品・技術を有し、競争力があること
→国内重工業界のトップ企業である
- ③給与や福利厚生の水準が高いこと
→大手メーカーとして、給与や福利厚生が充実している

現在の仕事内容

事業部（SBU）から製品設計の高度化やトラブル対応などの依頼を受け、機構シミュレーションを通じて設計の改善点や課題などを分析し報告する。また、将来的な設計開発に活かせる技術を開発するため、国内外の大学や研究機関と連携しシミュレーション技術の開発を進めている。シミュレーション結果を通じて自身が検討・提案した改善案が実製品に適用され、改善効果が確認されたときにやりがいを感じる。

経歴

2019年～
→機構解析（Multibody Dynamics: MBD）による製品設計支援やトラブル対応に従事。ST向け蒸気弁や福島第一原発廃炉用ロボットアームなど、MHI製品全般を対象とした機構シミュレーションを担当。

職場環境

有休の完全取得を推奨しているほか、フレックス勤務・在宅勤務への理解もあり、非常に働きやすい環境である。また、自身も取得したが、男性の育児休暇取得率も良い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	航空・宇宙	新卒	2020年



強度・構造の専門家に

製品の信頼性と機能性を両方とも追求できるように、技術力を高めていきたい。



百折不撓

何事も一回でうまくいくことはまずない。粘り強くさまざまなアプローチを試すことが重要。

入社動機

- ①航空宇宙製品に関われること
→航空宇宙関連において国内トップの実績を有している
- ②大学時代の研究が生かせること
→構造強度評価の知見を活かし、多様な製品に関与できる

現在の仕事内容

航空宇宙機の代表的な構造を模擬した供試体に対して、実機で想定される負荷をかけた際の構造強度を試験と解析の両面で評価する。また、それらの結果をもとに設計時の強度基準を作成。設計課や試験課と連携し、試験形態や解析モデルの作成指針を定めている。試験と解析が一度で一致することは稀で、試験結果の詳細分析や解析の見直しを注意深く行っている。そうして試験の挙動を解析で再現できたときに、大きな達成感を得られる。

経歴

2020年～2023年

→発電機器、モータの材料強度・構造・製造性評価やアフターサービス検討に従事。概念設計、破損品の原因分析、信号処理プログラムの作成など多岐にわたる業務を経験。

2024年～2025年

→航空宇宙用材料の強度試験、構造要素試験の計画と結果評価に従事。計画の段階から試験リスクを抽出し潰しこむことで、狙った通りのデータを手戻りなく取得することができた。

職場環境

有給休暇の日数が多く取得しやすいため、平日に旅行に行くこともできる。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

機械

新卒・中途

新卒

入社年次

2020年



事業部と密に連携を行い 社内製品の知能化に貢献する

自分が持つ技術をさまざまな事業部に展開し、社内製品をより高性能にしたい



同僚・事業部との対話を重視

仕事は個人ではなくチームで進めるもの。自分ひとりで抱え込まず、同僚や他部門と積極的に対話し協力することで、より良い成果につながると感じている。

入社動機

- ①エネルギー系（原子力系）の仕事に携われること
→原子力発電や火力発電など、発電分野について高い技術力を持っている
- ②さまざまな製品に携われること
→社会のインフラ基盤を支える多種多様な製品群に携わることができる

経歴

2020年～2022年

→ICT本部CIS部に配属（現在の総合研究所制御システム研究部）。機械学習技術に関する技術調査や製品適用に取り組む。

2023年～2025年

→同部署にて紙工機械（段ボールを生産するコルゲータ）の知能化に関する技術開発に従事。現地試験も担当。

2023年～

→同部署にて工場現場のカイゼンに向けて、画像処理技術を用いた物品管理手法の開発に従事。

2024年～

→同部署にて防衛事業部の支援。

現在の仕事内容

事業部より依頼を受け研究開発を行う。また、事業部のニーズを先取りして制御分野・画像処理分野に関する研究開発を行う。一度仕事をした事業部から、別件の課題について相談を受けることもあり、継続的に頼られている・信頼されている存在であると実感できたときにやりがいを感じる。

職場環境

フレックス勤務制度が整っており、日によって勤務開始時間を柔軟に調整できる点が便利である。有給も取得しやすく、上司からの取得促進の声かけもある。さらに、上司が室員の作業負荷を的確に把握し、負荷が偏らないように適切に業務を分散してくれる点も働きやすさにつながっている。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	化学	新卒	2020年



冷却技術の専門家に

様々な製品の事業部から相談されるような、冷却技術の信頼されるエキスパートを目指したい。



早めの報告で築く信頼の架け橋

些細なことでも早めに報告・相談することでトラブルを防ぎ、信頼関係を築き、円滑な業務推進につながると考えている。

入社動機

- ①給与・福利厚生が充実している
→休暇取得制度、社宅・社員寮などの福利厚生が整っている
- ②社会貢献につながる製品に携われる
→空調から宇宙まで幅広い分野の製品を持ち、多方面で社会に貢献できる

現在の仕事内容

特定の製品分野にとどまらず、複数分野の冷却技術に関する研究開発を実施。各事業部と連携しながら、CFD解析や試験による性能評価を行い、検討結果を製品へ反映している。自分が検討した冷却技術で事業部の課題を解決し、製品に反映されたときにやりがいを感じる。設計担当者から感謝されたときも大きな達成感を得られる。

経歴

2020年～
→総合研究所 伝熱研究部にて、空調機、原子力発電所、防衛製品、宇宙製品の冷却技術に関する研究開発に従事。CFD（数値流体力学）解析および試験による性能評価を担当。

職場環境

フレックスタイム制を導入しており、出勤時間を柔軟に調整できる。自身の生活スタイルに合わせた働き方が可能な点に魅力を感じている。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

化学

新卒・中途

新卒

入社年次

2021年



表面分析の専門家になる

表面分析の学びを深めるとともに、原子力などの製品の構造や特殊性を理解し、議論できる人材になりたい。



学びに謙虚に、業務に主体的に

知らないことが多いと意識し、有識者の意見に耳を傾ける姿勢を大切に。雑務にも主体的に取り組み、常に学びを得ようと心がけている。

入社動機

- ①原子力や火力発電など世の中への影響力の大きい事業に取り組んでいる
→金属材料を活かし、幅広い事業領域で社会貢献性の高い業務に携われる
- ②幅広い分野に研究開発として携われる会社であること
→海外関連会社やグローバルな取引先を持ち、研究開発を通じて海外企業との関わりも多い
- ③給与や福利厚生の水準が高いこと
→大手メーカーとして、給与水準や福利厚生制度が充実している

経歴

2021年～2024年

→化学第三研究室にて化学分析業務に従事。表面分析について、既存の技術を生かした事業部サポート業務に加え、最新技術を取り入れた研究開発を実施。

現在の仕事内容

化学分析業務の中でも表面分析を主に担当。不具合発生時には、該当箇所を詳細に調査し、原因究明および技術的なフィードバックを実施しています。また、原子力分野を中心に、現場での分析作業をより簡便かつ高度に行えるような新規技術の研究開発にも取り組んでいる。事業部からの依頼に対して、表面分析を通じて不具合の根本原因を明らかにし、製品品質の改善に貢献できたときに、大きなやりがいを感じる。

職場環境

自分の業務をきちんと遂行していれば、自分の計画に応じて柔軟に有給休暇を取得できる環境である。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

電気・電子

新卒・中途

新卒

入社年次

2021年



パワーエレクトロニクス 回路技術の専門家に

パワーエレクトロニクス回路（電源やインバータ）の広範な知見を身につけ、新技術の研究・新製品開発・トラブル対応で頼られる人材を目指したい。



克己心

常に自身に打ち勝ち、課題に真摯に向き合い続ける姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①宇宙開発の最前線の現場に携わることができること
→基幹ロケットをはじめとする宇宙開発の最前線を担う会社である。
- ②給与や福利厚生水準が高いこと
→大手メーカーであり、給与や福利厚生が充実している。
- ③自身の専攻を活かせること
→自身の電気・電子の専攻を活かせる部署がある。
- ④社会貢献に繋がること
→社会貢献に繋がる仕事に携わることができる。

経歴

2021年～2022年

→車載エアコン用インバータのノイズ解析技術の研究に従事。回路解析・電磁界解析を活用したノイズの事前予測技術を確立。

2021年～2024年

→H3ロケットのトラブル対応に従事。特に初号機の二段目エンジン着火不良の原因究明において、着火装置の解析・試験を担当。

2022年～2023年

→人工衛星（RAISE-3）の電源回路トラブルシューティングに従事。

2023年～

→燃料電池用空気圧縮機のインバータ開発に従事。最新のパワー半導体を用いた小型・高効率なインバータを実現。

現在の仕事内容

実用化が進んでいない技術の研究や、全く新しい製品の初期検討から量産に至るまでの技術開発を担当。製品トラブル発生時は原因究明にも携わっている。三菱重工グループ内のさまざまな製品を対象に幅広く取り組んでいる。世の中にはない新技術の研究開発ができること、幅広い製品に携わり日々新しい発見があることに大きなやりがいを感じる。また、トラブル対応を通して「人助け」ができることも自身のモチベーションにつながっている。

職場環境

福利厚生が充実しており、特に社宅は築浅で非常に住みやすい。休暇も比較的多く、プライベートも充実できる環境である。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

金属・材料

新卒・中途

新卒

入社年次

2021年



電気化学分野の 国内産業活性化に貢献したい

社会的影響度の大きい当社での製品開発・事業拡大を通じて、国内産業の活性化に向けた技術開発指針や投資指針の策定に参画し、社会に貢献したいと考えています。



利他は最上の利己である

利他（他人のために尽くすこと）が、結局は自分自身の深い満足や幸せにつながるという報徳思想に強く共感しています。

入社動機

- ①事業規模が大きく、かつ、国力に直結するインフラ分野で事業展開していること
→社会に与える影響度が大きく、社会貢献性の高い仕事ができると感じた
- ②取り扱う製品・技術分野が広い総合研究所の体制の魅力
→製品分野にとらわれず、多様な技術者が集まり、研究開発に取り組める点に魅力を感じた
- ③他社比較・決定理由
→他社と比べ、技術的な競争力が高く、挑戦的な研究ができる環境であり、社会貢献と技術力の双方を兼ね備えた企業だと確信した

経歴

2021年～
→総合研究所 化学研究部にて、電気化学分野における新規製品開発に従事。エナジートランジション市場の形成に向け、大規模蓄電池や水素製造装置の要素技術開発・実証試験に取り組み、新製品の展開を目指している。

現在の仕事内容

当社事業に有効と考えられる技術の開発動向を調査し、仮説検証研究を通じて適用性を評価している。新技術や新事業創出にあたっては、社会的ニーズや市場トレンドを調査し、経済的な事業性評価も実施。最終製品像を意識し、必要な技術分野の社内外有識者と連携しながら、技術開発・製品化を進行。技術的難易度が高い場合や、事業展開時期が目先の市場とマッチしない場合でも、事業性が認められれば挑戦の機会が得られること。また、自分だけでは解決できない技術課題でも、社内外の有識者と連携し、解決に向けた体制が築きやすいことに魅力を感じており、製品化が実現した際の、社会への大きな貢献もやりがいの一つ。

職場環境

上司とのコミュニケーションが非常に円滑で、信頼関係が築けています。特別な事情により普段と異なる働き方が必要な場合でも、都度相談すれば柔軟に対応してもらえる環境です。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2021年



振動評価技術で開発を支える

社内外の多数の技術を取り入れ、振動評価技術を向上させ、当社製品の開発に貢献していきたい



未知を恐れず未来を信じる

一步踏み出すことは勇気があるが、恐れず前向きな気持ちを忘れずに進めば大きな成長のチャンスとなる。さまざまなことに挑戦することは大切である

入社動機

- ①社会に大きな影響を与える企業であること
→ガスタービンやロケットなど規模が大きく、社会へのインパクトが大きい企業である
- ②誇りを持って働ける企業であること
→総合研究所があり、自社で技術開発を続けていることから、やりがいを持って働くことができる

現在の仕事内容

社内で保有している技術を活用し、製品開発段階での振動評価を通じた製品設計を行っている。加えて、保有していない新技術を確認するために研究を立ち上げ技術開発も行っている。多くの製品に関われることや、新技術開発時の中で新たな発見や製品開発に使えるアイデアが思いついたときにやりがいを感じる。

経歴

2021年～2025年
→振動研究部振動第三研究室にて、ターボ機械の振動に関する技術開発および製品開発に従事。

職場環境

フレックス勤務制度があり、プライベートの予定に合わせた柔軟な働き方ができる。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2021年



耐衝撃設計の専門家になる

爆破・衝突・貫通などの衝撃強度に関する知見や経験を増やし専門性を高めていきたい。



人とのつながりを大切にしている

入社動機

- ①物理的にも生活への影響力的にも大きなものづくりができること
→ロケットや航空機エンジン、GTCCなど、大きな製品のものづくりができる
- ②世界トップクラスの技術を有していること
→極限の環境で使用する製品を支える高い技術力を有している
- ③給与や福利厚生の水準が高いこと
→機械系企業の中でも平均年収が高い

現在の仕事内容

「軽量」設計と「耐衝撃」設計を両立する構造を、最適化解析と検証試験を行いながら、検討している。
いつか、自分が考案した構造が製品として世に出て、人々の役に立っている光景を目にすることを目標に取り組んでいる。

経歴

- 2021年
→構造第一研究室に入社、特殊車両の耐衝撃構造の開発に従事。
- 2022年～2024年
→同研究室にて、衝撃強度を軸に、製品の性能向上・競争力強化のための研究開発を担当。特殊車両の防護技術、航空機エンジンの耐衝撃設計などを行う。

職場環境

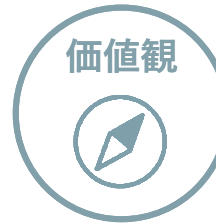
持ち株制度において奨励金の支給率が最大15%と高い。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
総合研究所	研究開発	機械	新卒	2021年



遠心圧縮機の空力を極める技術者に

遠心圧縮機の空力について、社内で最も深く理解している技術者になりたい。



現状に疑問を持ち、常に改善を目指す

古いツールや手作業で行っている業務は、少しの工夫で改善できることが多い。必要だと感じたところから積極的に改善に取り組む姿勢が、会社全体の利益につながると考えている。

入社動機

- ①興味のある仕事内容に携われる
→産業用大型コンプレッサの設計業務に魅力を感じた
- ②給与・福利厚生が充実している
→大手メーカーであり、待遇面に安心感があった
- ③高い技術力を有している
→高度な技術を持つ企業で、専門性を深めたい

現在の仕事内容

製品競争力向上のため、CFD解析を用いた新型圧縮機の設計を行い、試験機を製作し、性能試験を実施している。また、実製品の性能評価をCFD解析ベースで行うほか、大学との共同研究を通じて流体现象の解明にも取り組んでいる。産業用圧縮機の受注は、国内外の競合他社との入札で決まるため、自身が設計した翼型の性能が勝敗に直結する。自分が携わった製品で受注が決まったとき、大きな達成感を得られる。

経歴

- 2021年～2022年
→MCO向け産業用大型コンプレッサのインペラ翼型開発を担当。
- 2023年～2024年
→水エネ向け原子力発電所用冷却圧縮機概念設計を担当。
- 2024年～
→MCO向け産業用大型コンプレッサのディフューザベーン翼型開発を担当。

職場環境

仕事の進め方については上司から細かく指示されることが少なく、自分の裁量で進めやすい。研究予算も十分に確保でき、自由度の高い環境で研究に集中できる。

事業分野

総合研究所

職種

研究開発

専攻

情報

新卒・中途

新卒

入社年次

2022年



組織力を高め価値を 最大化できる人材に

1+1が3以上の価値を生み出すよう、組織力の向上と全体最適を目指して貢献したい。



率先して挑戦し、 組織全体で成果を分かち合う

「義を見てせざるは勇無きなり」を座右の銘とし、誰もがやらないことに自ら挑戦することを大切にしている。「Leave no one behind」の精神で、知識を共有し、全員でゴールを目指す環境づくりを重視している。

入社動機

- ①海に関わる仕事ができること
→水中移動体や艦艇など、海に関わる製品を数多く受注・製造している
- ②海外赴任機会が多いこと
→グローバルに事業を展開しているため、海外拠点での勤務やプロジェクト参加のチャンスが多い
- ③ものづくりに携われること
→最先端のものづくりに携われている

現在の仕事内容

事業部の抱えている課題、実は抱えているが見えていない課題を深掘し、先んじてこれら課題を解決可能な研究を遂行する。研究で得られた成果を製品に導入する際のシステム構成設計やインターフェースの調整を実施する。

考えてもよい解決策・アイデアが浮かばなかった研究課題に対して、ふとしたひらめきや、泥臭い検証作業を経て実装したアルゴリズムが、想定通りの成果を発揮した際にやりがいを感じる。

経歴

2022年～2023年

→DI本部 CIS部にて水中移動体の群制御技術開発に従事。制御アルゴリズムの開発を担当。

2024年～

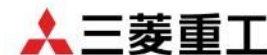
→総合研究所 制御システム第三研究室にて画像処理技術開発、画像処理高速化手法の開発に従事。製品ごとに適した処理アルゴリズムの開発を担当。

職場環境

神戸造船所で勤務しているが、眺望がすばらしい、開放感のあるオフィスで働いている。

氏名 **佐々木 俊也**

【2025/4/1時点の所属】
デジタルイノベーション本部EPI部開発3グループ



事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
デジタルイノベーション	研究開発	機械	新卒	2014年



なんでも屋になる

自分に相談が来れば必ずやり遂げる人材に。アイデアをアイデアで終わらせず、必ず実現させることを目指している。



為るようになる、 為さねばならぬ、何事も

できる・できないを考える前に「どうやるか」を考える。挑戦し、結果を出すことを最優先に取り組んでいる。できれば成功、できなくても一つの成果。

入社動機

- ①社会インフラ・防衛関連製品があること
→ガスタービン、防衛関連など他社にない大規模製品に魅力を感じた
- ②自分で研究提案ができる環境があること
→提案・予算獲得・実行まで主体的にできる点が魅力だった
- ③安定した大手メーカーであること
→雇用や休暇制度が充実している

現在の仕事内容

社内外の課題を調査し、技術開発で解決を目指す。実現可能性を評価した後、ロードマップを策定し、自ら開発を主導。開発した技術は特許化し、製品や実開発に組み込むまでを一貫して担当している。案件をやり遂げた後、共に取り組んだ関係者から「ありがとう」と言われた瞬間に、大きなやりがいを感じている。

経歴

- 2014年～2015年
→総合研究所（当時技術統括本部）横浜研究所にて、産業用発電機向けレシプロエンジンの燃焼解析ソフトウェア開発やガスエンジンの設計支援に従事。
- 2016年～2018年
→総合研究所 燃焼研究部にて特殊車両向けエンジン・熱システムのシミュレーション解析業務を担当。
- 2019年～2023年
→ICTソリューション本部（現デジタルイノベーション本部）EPI部にて、発電オペレーション向け機械学習技術開発などを推進。
- 2024年～
→デジタルイノベーション本部 開発3グループにて、飛昇体の量産支援ソフトウェア開発やエンジン設計効率化技術開発を担当。

職場環境

国内の各拠点に出張する機会が多く、様々な地域の美味しいものを楽しめる点が魅力。職場にはバルミュウダの電子レンジもあり、設備にもユニークさがある。

事業分野	職種	専攻	新卒・中途	入社年次
デジタルイノベーション	研究開発	電気・電子	新卒	2020年



海外駐在者になりたい。

話があればすぐに手を挙げられるように、語学力だけでなく、普段の業務を通じてコミュニケーション能力、調整力を鍛えていきたい。



誰でも出来るを誰よりもやる

やりたくないことほど、本当はやるべきだと心では理解している。だからこそ逃げずに真面目に取り組む姿勢を大切にしている。

入社動機

- ①社員の人間性が良いこと
→社員の人間性が良く、このような人たちの中で仕事がしたいと考えた。
- ②製品にロマン、知名度があること
→製品にロマンや知名度があり、自分の仕事がそのような製品に少しでも貢献できることにやりがいを感じる。
- ③学生時代の研究分野が活かせること
→興味を持って取り組んだ学生時代の研究をそのまま継続できる。

経歴

2020年～現在
デジタルイノベーション本部EPI部にて、ディープラーニングを用いた現場作業分析、自然言語処理技術(生成AI含)の社内応用研究を担当。

現在の仕事内容

製造現場で得られるセンサデータや、各事業部で蓄積された資料データを集約し、それらから業務改善に資するノウハウを抽出する業務を担当している。これまで活用されてこなかった眠っていたデータの中から、有用な知見を見だし、具体的な改善効果につながられたときに大きなやりがいを感じる。データを通じて現場課題の解決に貢献できる点に、分析者としての価値と手応えを実感している。

職場環境

手挙げ式の海外研修制度があり、お金をもらいながら海外業務経験を積むことができる。仕事に支障が無い範囲で、有休、時差出勤ができるため、個人の事情に合わせた業務が行いやすい。また、他事業部門への異動希望についても、社内公募制度を活用し、異動希望を叶えることができる。もし入社後に自分のやりたいことに変化があったとしても、転職をせずとも自身の希望を叶えられる。これは、幅広い事業分野、確立した制度があるからこそ実現できるものである。